Y994
J6157

調第二輯

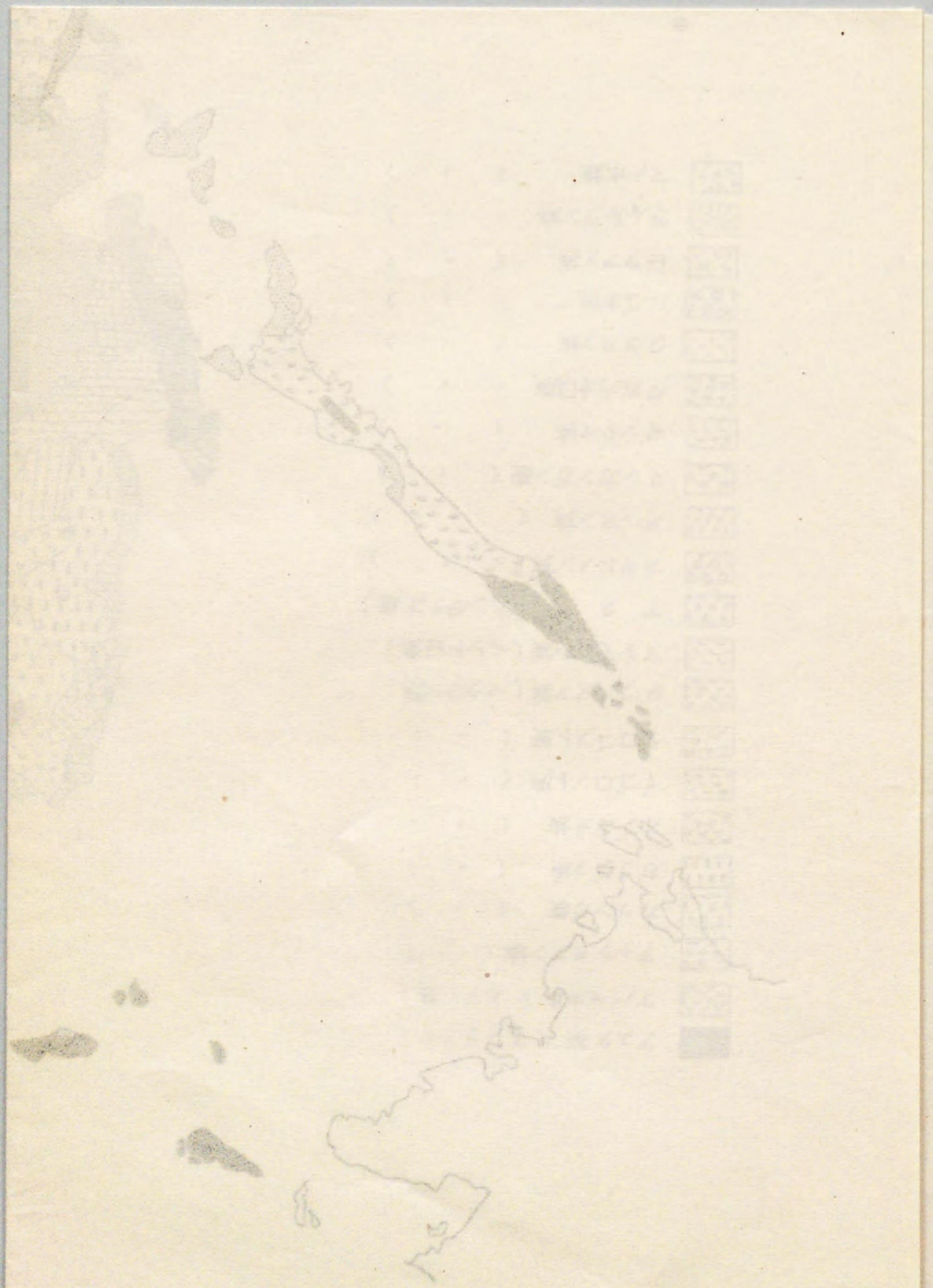
昭和十六年三月

比律賓及ビ比律賓人ノ過去ニ就テ

—古代ヨリ最近世(一八九八年)マデ—

外務省南洋局

貴族院
16.10.13
調和
査課

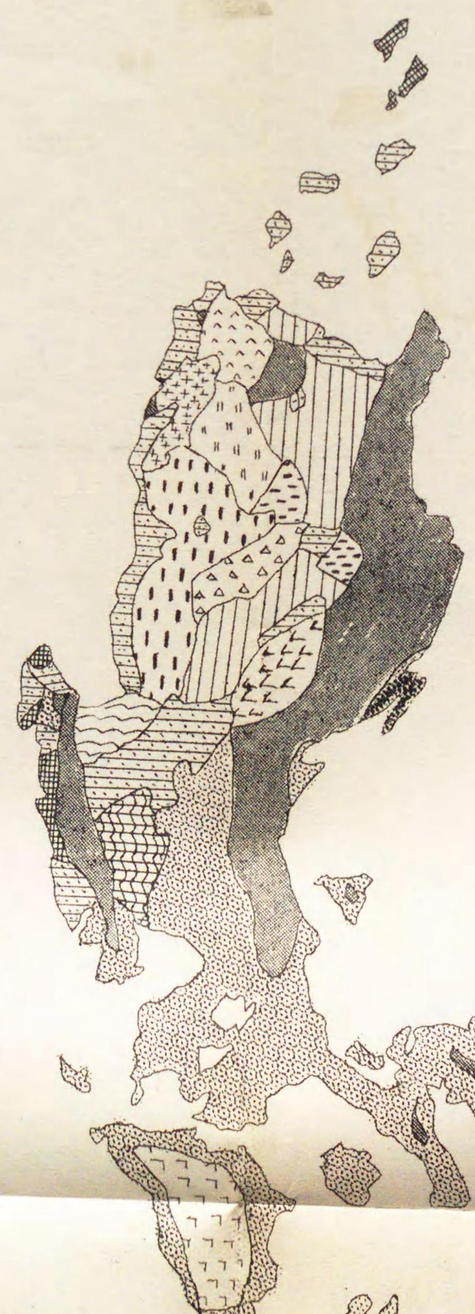


Y994
J615.1

I種
W
1200800618265

比律賓群島ノ人種分布圖

- ダガログ族（キリスト教）
- イロカノ族（〃）
- ヴイサヤ族（〃）
- ヴィコル族（〃）
- パンパンガ族（〃）
- イバナグ族（〃）
- パンガシナン族（〃）
- サンバル族（〃）
- バタン島人（〃）
- モロ族（回教徒）

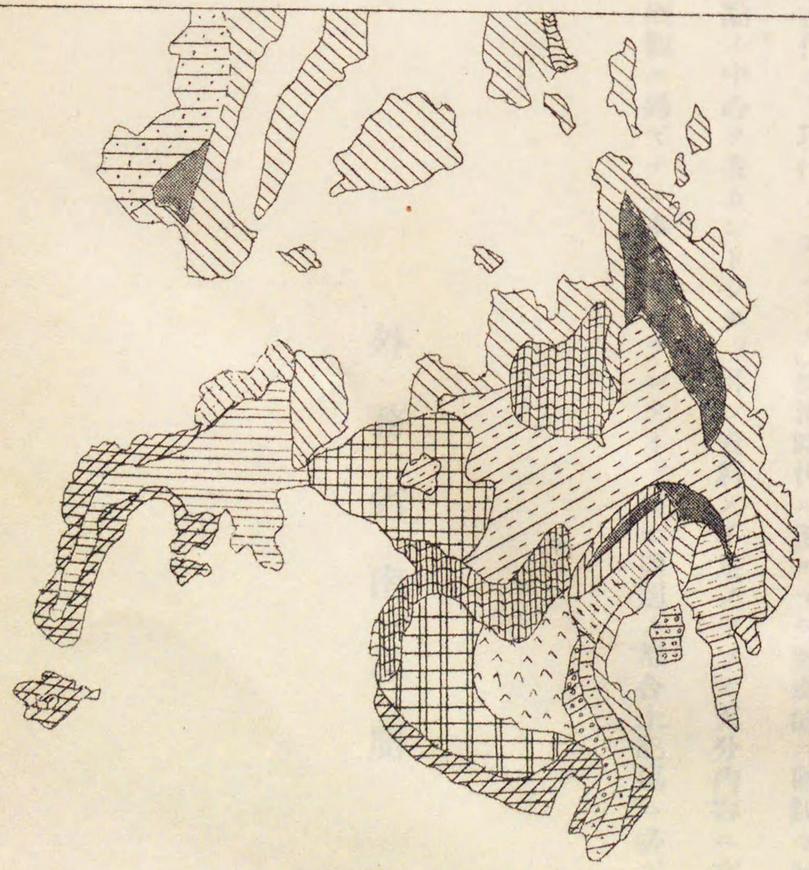


- アユタ族（ネグリート）
- アパヤオ族（ルソン島）
- ティンキアン族（〃）
- カリンガ族（〃）
- ガリダン族（〃）
- イブガオ族（〃）
- イゴロット族（〃）
- イロゴフト族（〃）
- ダグパヌア族（パラワン島）
- マンギアン族（ミントロ島）
- アタ族（ミンダナオ島）
- ブキドノン族（〃）
- スバヌン族（〃）
- マンガンガン族（〃）
- マンダヤ族（〃）
- タガカオロ族（〃）
- クラマン族（〃）
- バゴボ族（〃）
- ビラアン族（〃）
- テルラン族（〃）
- マノボ族（〃）

テルラン族 (〃)
マノボ族 (〃)

ミンダナオ島ノ方言分布圖

セブービサヤ
パネイービサヤ
レイテービサヤ
マノボ
ビラン
マンダヤ
アタ
スルーサマール
スバナン
ラナオ
クラナン
チルウェー
ヤカン
ブキドナン
タガカオロ
バガボ
ネグリートマナヌア



緒言

此ノ小論ハ比島及ビ比島民族ノ過去ノ狀況ヲ古代ヨリ現代ノ「アメリカ」統治時代ニ至ルマデ歴史的ニ概觀セント試ミタモノデアツテ殊ニ社會・經濟方面ニ觀點ノ中心ヲ置カントシタ。併シ資料ノ不足ノタメニ充分內容ニ立入ツテ調査シ得ヌ所モ少ナシトシナイノデ單ニ概觀ニ過ギナイ事ヲ認メラレタイ。尙ホ問題ノ都合上記述ニ必ズシモ年代ヲ追ハナカツタ處モアル。

昭和十六年三月

外務省南洋局

内容目次

一、比島ノ人種構成及ビ比島人ノ古代社會……一　頁——四三頁
二、比島人ノ經濟生活（古代ヨリ西班牙統治時代ニ到ル）……四三頁——五二頁
三、西班牙統治時代ノ比島及ビ比島人　イ、内　政……五二頁——五八頁
　ロ、商業及ビ貿易……五八頁——六五頁
　ハ、日本トノ交渉……六五頁——七〇頁
　ニ、支那トノ交渉……七一頁——七七頁
四、和蘭及ビ英國ノ襲來ト比島ノ國民主義ノ擡頭……七八頁——八四頁
「附」　比島民族ニ關スル主タル參考書名……八四頁——八五頁

一、比島人種構成及ビ比島ノ古代社會

比律賓群島ハ「アジア」大陸ノ東南、南支那海ト太平洋間ニ横ハル四百以上ノ大島ノ大群及ビ三千余ノ小島ヨリ成リ其等相互ガ狹イ「チヤンネル」ニヨッテ分タレテ居ル。全島面積ハ十一萬五千平方哩デ諸小島ノ多クハ單ニ珊瑚礁カラ構成サレ亦タ多クノ島々ニハ火山ノ跡ガアル。

其レ故比律賓群島ハ火山作用ニヨル巨大ナ隆起ノ結果デアルトモ想像サレ亦タ一說ニ臺灣及ビ「ボルネオ」ト嘗テ結合シテ「アジア」大陸ノ一部ヲ形成シテ居タト云ハレテ居ル。

此群島ノ中心ヲ成スノハ北部ノ最大島タル「ルソン」及ビ南部ノ「ミンダナオ」デアッテ、全面積ノ三分ノ二ヲ占メテ居ル。其ノ間ニ「ヴイサヤン」群島ガ存在シ其ノ他ノ諸小島ト共ニ鎖狀ヲ成シテ橋ヲ作リ東印度ノ他ノ部分ニ連ツテ居ル。卽チ一ハ「ルソン」ノ北方「バプヤン」及ビ「バタン」ヨリ成リ臺灣ニ連リ支那ニ關聯シ、他ハ「ボルネオ」、「セレベス」カラ「オーストラリヤ」ニ對スル。

カクテ地勢的ニ見ル時、比律賓史上東印度「アジア」的ナモノ、又ハ「アウストラリヤ」的東印度的ナルモノ（又ハ「アジア」ノ中核）ノ何レカガ優勢デアッタト思ハレルネオ」及ビ「スマトラ」ノ哺乳動物ノ如キハ此處ニハ缺ケテ居リ最モ特徵的ナル「パプアン」型モ同樣ニ缺ケテ居ル。

人種ニ關シテモ比島人ハ大部分「モンゴロイド」的デアルト共ニ特ニ「マレイ」人種デアル。現今「キリスト」敎

民族ノ全部、「マホメツト」族ノ大部分及ビ「ペーガン」族ノ一部ヲ含ム。其ノ特徴ハ褐色ノ皮膚、痩セテ垂レタ毛髪ヲ有シ、ヤヤ低身デ圓頭型デアリ其ノ文化、習慣ハ「ボルネオ」及ビ「スマトラ」ノ奥地ト似テ居ル。外部カラ入リ來ツタノハ印度及ビ「アラビヤ」ノ文化デアルガ「ニユーキニヤ」及ビ「オーストラリヤ」ニ見出セル原始文化ハ其ノ生活方面ノ貧弱サ及ビ社會制度ノ異ツタタメニ全ク比島ニハ再現サレナカツタ。比島ノ歴史ハ普通ニ、「スペイン」人「マヂエラン」ガ世界週航ノ折、「サマール」島ノ南方又ハ彼ガ始メテ「セブー」島ニ上陸シタ四月七日ノ比島上陸日カラ始ツタ如ク書カレテ居ルガ比島ニハ既ニ以前カラ多クノ住民ガ存在シ、「マヂエラン」ノ上陸當時「セブー」島ダケデモ五千ノ人口ヲ有シ、山部人種及ビ回教徒ヲ除外シテモ比島人口ハ五十萬人ニ達シテ居タト云ハレル。其ノ他例ヘバ「アラビヤンナイト」ノ「シンバット」ガ比島ニ航行シタト云フ事、「マルコポーロ」ノ航行、「アレクサンダー」大王ガ「スルー」島ヲ支配シタト云フ傳說、現在ノ「モロ」族ガ「スペイン」人ノ最初ノ到來ノ際、自ラ「アレクサンダー」大王ノ子孫デアル事ヲ誇ツタト云フ事等ガアル。

「スペイン」ノ僧侶ハ比島征服後誤レル目的カラ比島ノ原語ノ文獻ヲ大半燒キ棄テタタメニ現在デハ僅少ノ記錄ガ殘ルノミデアル。故ニ現在、「マヂェラン」到來前ノ比島史ヲ知ルタメニハ近接諸國ノ文書ヲ賴リニスル事ガ必要デアル。更ニ、比島ガ「マレイ」帝國 Skri Vishaya（中心「スマトラ」及ビ「マヂヤパヒツト」）及ビ支那ノ一部デアツタト云フ事ガ一部ニ傳ヘラレルガ之ハ反對者モアツテ不確實デアル。併シ比島ノ「マレイ」人種ハ此ノ帝國ノ時ニ「ジヤバ」及ビ「セレベス」カラ移リ來ツタ者デ現在比島ノ最モ開化セル「キリスト」教徒ヲ形成シテ居ル。

兎モ角以上ノ如ク比島ハ「アジア」及ビ大洋洲ノ往民ニヨツテ古代ニ發見サレタト云ヘルノデアツテ印度ノ影響ハ前述ノ如ク古クカラアリ「マレイ」ノ「ペニンスラ」、「ジヤバ」及ビ比島ヲ通ツテ來リ人々ニ深ク喰ヒ入ツタ事ハ「スペイン」ノ比島發見當時用キラレテ居タ多クノ梵語ニヨツテモ證明サレル。

其ノ他支那トノ商取引ハ支那ノ文獻ニヨレバ紀元前四世紀頃カラ既ニ存シタト傳ヘラレル。例ヘバ南京ノ古陶器ガ南部「アフリカ」ニ於テ發見サレタ如ク古代支那ノ陶器ハ比島ニ於テ發見サレタノデアル。

既ニ十二・三世紀ニ支那ノ地理學者 Chao-ju-kua（趙如活）及ビ Wang Ta-Yuan（汪大淵）ガ比島ニ關シテ詳細ニ記シテ居ル。一三七二年ニハ比島カラ最初ノ使節ガ支那ニ貢物ヲ持ツテ來タ事ガ文獻ニ見エテ居ル。其ノ他日本、「モルツカ」、「シヤム」、「カムボヂヤ」、「ボルネオ」等トノ取引モ早クカラアツタノデ之等ニツイテハ後述シタイト思フ。

以上ノ如ク「マヂェラン」ノ比島發見ハ要スルニ、ソレニヨツテ比島ガ歐洲ノ注目ニ初メテ齎ラサレタト云フ事ヲ意味スルノミデアル事ガ分ル。卽チ彼等ガ比島ノ「セブー」ノ主長ト血的結合ニ入ルズツト以前カラ既ニ以上ノ諸國トノ關係ガアツタノデアル。

次表ハ代表的ナル比島人種ノ分類デ比島人種ハ詳細ニハ七十余族ニ分タレ、言葉ハ種族語、地方語ヲ合セルト七十七・八カラ八十位ニナリ、宗教的ニハ「ローマカソリツク」教新教ノ「キリスト」教徒及ビ非「キリスト」教徒（中ニ、回教徒ヲ含ム）ニ分レル。

一、「モンゴロイド」人種（「マレイ」人種）

(一)「キリスト」教人種

	身長	頭型	鼻型
「カヾヤン」人	一六四	八一	八一
「イロカノ」人	一六〇	八五	七三
「パンガシナン」人	一六三	八四	七三
「ザムバル」人	一六一	八三	八〇
「パンパンガ」人	一六二	八一	七六
「ブラカン」ノ「タガログ」人	一六〇	八五	八二
「リサール」ノ「タガログ」人	一五八	八一	八〇
「キヤビテ」ノ「タガログ」人	一六〇	八三	八二
「ビユール」人	一五九	八三	七八
「パネイ」ノ「ビサヤ」人	一五八	八二	八一
「ネグロス」ノ「ビサヤ」人	一五九	八三	八四
「セブー」ノ「ビサヤ」人	一六〇	八五	八一
「レイテ」ノ「ビサヤ」人	一六〇	八四	八〇
「サマール」ノ「ビサヤ」人	一五八	八五	七九

(二) 同教徒人種

	身長	頭型	鼻型
「タバオ」ノ「モロ」族	一五七	八二	八五
「コタバト」ノ「モロ」族	一六〇	八一	八二
「ザムボアンガ」ノ「モロ」族	一六一	八一	八一
「スルー」ノ「モロ」族	一六〇	八三	八三

(三) 「ペーガン」教族

	身長	頭型	鼻型
「ミンダナオ」ノ「スバヌン」	一六一	八三	七五
同 「タガカオロ」	一五九	八一	八五

二、「モンゴロイド」人種（「インドネシアン」人種）

「ペーガン」教族

	身長	頭型	鼻型
「ルソン」ノ「ボントク」	一五五	七八	一〇〇
同 「カンカナイ」	一五一	八二	八九
同 「ナバロイ」	一五四	八〇	九五
同 「イフガオ」	一五五	七七	一〇二
同 「イロゴツト」	一五六	八二	八九
「ミンダナオ」ノ「マノボ」	一五二	八二	九三
同 「ビラーン」	一五五	八〇	九〇
「パラワン」ノ「タグバナ」	一五五	八一	九三

三、「ネグリート」人種

	身長	頭型	鼻型
「ザムバレス」ノ「アエタ」	一四六	八二	一〇六
「バターン」ノ「アエタ」	一四八	八五	九五
「パラワン」ノ「バタク」	一五〇	八一	九七
「ミンダナオ」ノ「ママヌア」	一五九	八四	一〇三

以上三人種ノ平均値

	身長	頭型	鼻型
「マレイ」人種	一五七—一六四	八〇—八五	七三—八五
「インドネレア」人種	一五一—一五六	七七—八二	八九—一〇三
「ネグリート」人種	一四六—一五〇	八一—八五	九五—一〇六

「キリスト」教徒中

タガログ族ハ「マニラ」市ヲ中心ニ南部「ルソン」島ニ居住シ最モ進歩セル人種デアル。農業特ニ甘蔗栽培ニ従事シ又ハ市街地ノ商業ニ従事シテ居ル。教育アルモノハ農商業ヲ輕視シ法律家、醫師ヲ成功者ノ最タルモノトスル傾向ガアル。

イロカノ族ハ「マニラ」市及ビ北部「ルソン」島ニ居住シ農業ヲ主トスル。教育アルモノハ法律家ト醫師ニ多イ。

ビサヤ族ハ「ボホール」、「レイテ」、「ヴイサヤン」島ヲ中心トシテ南方諸島ニ廣ク分布スル種族デアリ農業ヲ主トシ勞働ニ従事スル。最モ勤勉デ職ヲ求メテ諸所移住スル。

其他、「バンバンガ」族（「ルソン」島「バンバンガ」地方）「ビユール」族（南部「ルソン」島及ビ附近島嶼）「パンガシナン」族（「ルソン」島「パンガシナン」地方）等ノ人種ガアルガ其ノ數モ少ナク特記スベキモノガナイ。

次ニ非「キリスト」教徒中

イロゴット族ハ「ルソン」島北部「バギオ」地方ノ住民デ「ダバオ」洲ガ中心デアル。未開ノ人種デアルガ「タバオ」ノ開拓事業進捗ト共ニ漸次文明ヘノ途ヲ歩ミツツアル。特ニ邦人麻栽培業者トノ密接ナル關係ガアル。其ノ恩惠ニ浴シ經濟的ニモ惠マレタ生活ヲナスモノガ多イ。從ツテ親日氣分ガ最モ濃厚デアル。但シ智能ハ低位デアリ自ラ勞働ニ從事スル如キ風ハナイ。

アタ族　マンサカ族ハ「ミンダナオ」島山地ノ住民デアリ森林ヲ伐栽シテ燒畑農業ヲ營ミ自然ノ懷ニ抱カレテ

原始生活ヲナス半未開人デアル。

其他、ネグリート（「ネグロス」島ノ中部山岳地方ニ居住スル黒色人種）マンダヤ族（「ミンダナオ」島南部住民）マノボ族、カラノカ族等何レモ未開デアル。

以上ニ於テ比島人種分布ヲ一應概觀シタガ更ニ以下之等人種ノ原始狀態ヲ少シク詳細ニ見テ行キタイト思フ。

比島ノ北方傳說ニヨレバ其ノ昔、男女兩神ガ此ノ地上ニ住シ土塊ヲ取ツテソレヲ固メ、燒イタト傳ヘラレル。最初ニハソレガ餘リ長ク燒キスギ、第二回目ニハ充分燒ケナカツタ。併シ第三回目ニハ遂ニ成功シテ之ニ息ヲ吹キ込ンダ結果黒人種ト白人種ト褐色人種ガ此ノ三回ニ於テ生レタ。ソレ故比島人ガ褐色人種デアル事ハ兩神ノ完成セル所產デアル事ヲ意味スルト考ヘルノデアル。

人類學者ヤ考古學者ハ人種的ニ人類ヲ「コーカシヤン」（白人種）、「モンゴリアン」（黄色人）、「ネグロス」（黒人種）ニ分ケテ比島人ハ嚴密ニ云ヘバ此ノ何レデモナイ褐色人種ト考ヘル。

更ニ「ベイヤー」教授（人類學者）等ニヨレバ比島ニハ人種的ニ三種アツテ一ハ「ネグリトス」、二ハ「インドネシア」人、三ハ「マレイ」人種デアツテ第一ニ「アウストラロイドアイヌ」又ハ「ネグリトス」ガ先ヅ來住シテ海岸及ビ低地ニ住ミ現在デハ遠イ山地方ニ殘存シテ居ル。「ネグリトス」又ハ「バルガス」ノ起源ニ關シテ云ヘバ既述ノ如ク比律賓群島ハ曾テ「アジア」ノ一部デアツテ臺灣及ビ「ボルネオ」ト結合シテ居リ比島ハ火山作用ニヨル突起ノ結果デアルト考ヘラレタノデ之等原始民ハ中部「アジア」カラ此ノ島ニ擴ガツテ來タト思ハレタ。

(一)「ネグリトス」ハ「ニューギニヤ」カラ北方ニ流サレ強キ黒潮ニヨリテ「サンベルナディ」ノ峽ヲ通リ「ブンタ

サンチァゴー」ヲ廻ツテ「コレギドール」ノ近隣ノ靜カナ海ニ達シ他方ニハ西方ニ靜カナ「スルー」ノ海ニ運バレ北方ニ移動シツツ「ネグロス」島ニ移ツタト云ハレル。「スペイン」征服後一世紀以上「ネグロス」島ハ之等小部地方民及ビ他島カラ逃亡シタ罪人ノ外、定住者ガナカツタト思ハレル。

現在ハ二萬二千四百人位殘存シ「ルソン」、「パネイ」、「ネグロス」及ビ他ノ群小島ノ山部地方（「ミンダナオ」、「パラワン」）ニ住ンデ居ル。「インドネシア」及ビ「マレイ」人種ガ南方及ビ西方ヨラ來ルト共ニ「ネグリトス」ヲ內部山岳地方ニ追ヤツタノデアル。

「ネグリトス」ノ身體的特徵ハ黒人種デ巾廣キ鼻ヲ有シ、圓頭型デ或ルモノハ「アフリカ」、「ネグロ」ノ如クデアル。大體ニ於テ「ニューギニヤ」ノ「パプアン」ノ如クデアルト居ル。婦人ハモツト低イ。「ミンダナオ」ノ「ママヌア」ガ少シ高イノハ「マレイ」トノ混血ニヨル。

彼等ノ服裝ハ男ハ單ニ腰部ヲ蔽フノミデアリ女ハ腰カラ膝マデ蔽フ。彼等ハ氣甲斐ナク臆病デアリ逃ゲテ行ク敵ニ對シテサヘ木蔭カラ震ヘナガラ矢ヲ放ツ。彼等ノ生活ノ痕跡ハ多少今日デモ比島人間ニ殘ルガ言語等ハ殆ンド失ハレテ居ル。大部分ハ褐色人種ニ依存シテ存在スルト居ル。

彼等ハ各地方ニ散在シ常ニ山ヤ森林地方ニ住ム。雜多ナ種類ニ分レ、「タガログ」語デハ總稱的ニ Aeta ト云フ。

今日「ネグリトス」ノ數ハ三萬乃至四萬デアリ全人口ノ一%位デアル。半「ネグリート」トハ「スペイン」語デMonteses 英語デ Hill-men (Bukidnon) ト云ハレル。現在五十萬以內ノ人口デ純粹ノ「ネグリトス」ヨリ多イ。

「ネグリトス」ガ起源的ニハ比島人ノ殆ンド全部ダッタト云フ事實ヨリ推量出來ル。

「ネグリトス」ハ其他「マレイペニンスラ」ノ奥地ニ居リセマングガ此ノ型ニ屬シ、其他ハ「スマトラ」ノ北、印度洋ノ「アンダマン」島ニ居ル。マタ「ジャバ」、「ボルネオ」及ビ「ニューギニヤ」以外ノ他ノ土地ニモ「ネグリトス」、又ハソレニ近イ人種ノ記錄ガアルガ何レモ議論ノ餘地ガアル。セマングハ幾分舊式ノ「マレイ」人種デアルトモ考ヘラレル。比島ノ「ネグリトス」ハ比島語ヲ語リ、「アンダマン」ハ他ノ如何ナル言語トモ異ナル。

「ネグリトス」ノ生活狀態ハ褐色人種ノソレト全ク異ナルガ、近來デハ褐色人種ノ單ナル省略模倣ニ過ギナイ。「ネグリトス」ハ內氣ニモ係ハラズ近隣ト取引スルノヲ常トスル。籐製品ヤ蜜蠟ヲ布衣、小刀、鐵裝飾品等ト交換スル。

彼等ハ竹槍、椰子ノ弓、毒矢等ヲ持歩キ、足ガ非常ニ輕ク長槍ヲ持ッテ鹿ヲ追ヒカケ猿ノ如ク木ニモ駈上ル。彼等ハ五、六十人ノ「グループ」ヲナシテ共同生活ヲナシ、彼等ノ宗教ハ宇宙信仰及ビ靈魂信仰デアッテ超自然的ナモノヲ想像ニヨッテ神格化スル。彼等ハ亦タ老人ヲ敬ヒ其ノ死ヲ尊ブ。彼等ノ知性ハ極端ニ低ク或ル一部ノ者ハ「ネグリート」山部ニ住ム文明人ニ接スルガ殆ンド影響ヲ蒙ラナイ。多少馴レタ時ニモネグリトスハ判斷ヲ煩ハス事ヲ嫌フ。彼等ハ凡テノ社會秩序ヲ離レテ本來ノ住家ニ歸ラントスルタメ開化ハ出來ナイ。

長イ間、彼等ハ「ルソン」島ノ唯一ノ支配者ダッタ。「マレイ」ノ移民ニ對シテ彼等ハ領主的ナ權力ヲ施行シタ。併シ遂ニ移民ノ人口ハ彼等ヲ山地ニ追ヒヤッタ。「ネグリトス」ガ原始「マレイ」移民ニ課シタ稅ハ物品デ徵收サレ支拂ガ拒マレタ時彼等ハ一隊トナッテ來襲シ違反者ノ首ヲ切ル事ヲ常トシテ居タ。併シ「スペイン」ノ來島以來白人ヘノ恐怖カラ彼等ハ山中ニ逃ゲ入リ爾後徐々ニ減少シッツアルノデアル。

「スペイン」政府ガ彼等ニ文化、風俗ヲ注入セントシタガヤハリ無效ニ終リ、十九世紀ニ至ッテ政府ハ彼等ニ竹製及ビ椰子ノ葉製ノ小屋ノ一村落ト一年分ノ日用品ヲ與ヘテ、土地ヲ耕作シ彼等ノ將來ニ用意スル事ヲ敎ヘタガ補助金ガ絕エ、滿期ニナルト再ビ元ノ昔ニ歸ッタ。

彼等ニトッテ其ノ年間ノ唯一ノ魅力ハ本來ノ怠惰ヲ養ヒ得タ事ノミデアリ元ニ歸レバ其ノ無稅、兵役的義務カラノ解放、社會的抑制カラノ解放ヲ喜ンダ。

彼等ノ結婚風習ニハ掠奪的痕跡ガアッテ十三歲位ノ花嫁ガ故意ニ逃去ラントスル風ヲナシテ花聟ガソレヲ假ノ腕力デ捕捉シ戻サントスル風ヲナス。花嫁ハ逃ゲ再タビ捉ヘラレル。カクテ次ニ灰色ノ髮ヲナシタ老人ガ進ミ出テ花聟ニ竹ノ梯ヲ上ラセル。老婦人ハ花嫁ヲ捉ヘ、二人ハ花聟ニ從フ。

次ニ老父（家長）ガ水ヲ溢エタココ椰子ノ殼デ作ッタ器ヲ彼等ニ與ヘ次イデ皆デ梯ヲ降ル。花嫁、花聟ハ膝ヲ折ッテ坐リ年長者ガ彼等ノ頭ヲ並ベテ夫婦トナル。二人ハ夜明ケマデ山ニ過シ、ソシテ儀式ノ終ッタ後新郎ハ彼等ノ住家ニ戻ルタメニ再タビ逃ゲント焦ル振ヲスル花嫁ヲ連レ戻ス。

「ネグリトス」ノ少女ハ一般ニ健康デ均整ガトレ美シイ卷毛ト漆黑ノ目ヲ持ッ。男ハ美シクナク或ル者ハ健康ナ眞黑ナ容貌ヲ持ッガ多クハ病弱デ痩セテ居ル。三十歲過ギノ男性ハ全ク魅力ガナイ。彼等ハ魚、木ノ根、山米ヲ以テ生活シ、時ニハ隣ノ谷ニ踏ミ込ンデ牧畜ヲ取去ル。「ネグリトス」ノ男ハ森林ヲ伐栽セズ、決シテ土地ノ一片

ヲモ取ラズ其ノ時々ニ偶然ニ住ンダ所デ土地ノ表面ヲ掻イテ種ヲ蒔ク。「スペイン」ノ統治時代ニハ屢々「サンバレス」ノ「コルデリラ」（「ルソン」）島ニ半官ノ探檢隊ヲ派遣シテ盜難ニ關スル彼等ノ處罰ヲ行ツタ。

(二)「インドネシア」人及ビ「マレイ」人

「インドネシア」人ハ「ネグリトス」ト「マレイ」人トノ混合トモ見ラレルガ「インドネシア」人ハ眞黑ナ髮毛デアリ「ネグリトス」ハ縮レテ居ル。（卷毛トモ異ナル）。「マレイ」人ト「ネグリトス」人トノ混血ガ多イ。

シア」人ノ頭型ハ長頭型デアル。故ニコノ二ツノ圓頭型ノ混合ガ長頭型ヲ作ルトハ考ヘラレナイ。

「マレイ」人種ト「インドネシア」人トノ區別ハ前者ガヨリ「モンゴロイド」的デアルト云フ事デアル。印度支那ノ文化的ナ部分ニ多ク住スル事ハ周知ノ如クデアル。支那人トノ混血ガ多イ。

「インドネシア」人ハ人種的ニ見レバ全ク明瞭デナイガ何レカト云ヘバ「モンゴロイド」種ニ屬シ、純粹「モンゴロイド」ニ共通ノ斜メノ目、巾廣キ鼻ハ少ナイ。亦タ「ネグロ」的ナ平面的ノ鼻モナイ。「オーストラリヤ」型トノ結合モ考ヘラレル。

「インドネシア」人ハ「マレイ」人ヨリ早期ニ來タト考ヘラレルガ未ダ想定ニ過ギナイ。

「ネグリスト」以外ノ比島人ハ身體的類型ニ於テハ類似點ガ多イ。

褐色ノ滑ラカナ皮膚、素直ナ少ナイ髮、ヤヤ低身デ痩型、纖細ナ骨格ヲ有スル點等、「ネグリトス」及ビ「コーカサス」人ト異ナル。併シ「モンゴロイド」ノ最モ代表的ナルモノト認メラレ易イ支那人トハ同一視サレナイ。

支那人ハ狹義ノ「モンゴロイド」デアルガ東「アジア」ノ國民ノ總テ及ビ原始「アメリカ」及ビ大洋洲ノ多クヲ含ム「モンゴロイド」ト對照サレ、一般化サレタ「モンゴロイド」ノ特殊化デアル。「モンゴロイド」ノ目ハ彼等及ビ其ノ近隣ニ特有デアリ、「アメリカインディアン」ヤ大洋洲人ニハ全ク見ラレナイ。

「インドネシア」人ハ比島トハ主トシテ「ペーガン」人ノ間ニ存シ北「ルソン」ノ奥地及ビ「ミンダナオ」ノ奥地ニ居ル。「インドネシア」人種ノ一種タル「ガッダン」人ハ（Gaddanes）「ルソン」ノ北西ノ海岸地方ニ住ミ、全ク文化ヲ離レテ居ル。彼等ハ決シテ馴ラサレル事ガナイ。

「インドネシア」人ハ立派ナ風采デ髮ガ肩ニ屆ク程長ク額ヲ半分隱シ漆黑デアル。主ニ木ノ根ヤ陸稻、獵獸、果實等ニヨッテ生活シテ居ル。戰爭好キデ極度ニ野蠻ナ民族トサレテ居ル。

例ヘバ結婚セントスル時男ハ未來ノ花嫁ノ父親ニ先ヲ爭ッテ自分ノ勇敢サヲ示スタメニ他人ノ首ヲ出來ルダケ多ク切ッテ提供スル。此ノ習慣ハ「スペイン」人ノ所謂 fire-tree ノ花咲ク頃最モ盛ニ行ハレル。

此ノ花ノ色ハ火ノ如クデアル。此ノ花ハ戰ヲ止メテ宗教的儀式ヲ祝ヘト云フ徵表ノ如クデアル。

此ノ人種ノ弓ハ恐ロシキ武器デアリ、三又狀ノ槍ヲ持チ、兩側ニ齒ノ付イタ尖端ノ矢ガアッテ之デ魚ヤ獸ヲ殺ス。

イロゴット人ハ「ルソン」ノ大部分ニ擴ガリ一般ニ優レタ種族デアルガ、半バ野蠻デ不潔デアル。彼等ノ或者ハ「レバントー」・「アブラ」等ノ地方ニ住ミ頭及ビ上唇ニ少シノ毛髮ヲ有スル。彼等ノ皮膚ハ鋼黑色デアリ扁平ノ鼻、厚キ唇、顴骨高ク肩巾廣ク四肢ハ力ヲ示スガ體格ハヨクナイ。

比島蠻族ニ共通ナル如ク彼等ハ怠惰デアリ其ノ小屋ハ蜂巢ノ如ク作ラレ四足獸ノ如ク這込ム。甘藷、甘蔗ノ畑ヲ耕ヤシ西歐文化ヲ强制セシメル事ハ出來ナイ。

彼等ノ間ニハ姦通等殆ンドナク偶々アル時ニハ婚資金ハ返サレ離別ガ生ズル。多妻ハ許サレテ居テモ殆ンド行ハレナイ。併シ殺人ハ普通ニ行ハレ若シ家族ノ一員ガ殺サレルト仇ヲ打ツ。十九世紀時代ニ於テモ「ベンゲット」ニ約十萬ノ首切リガアツタ。彼等ハ山ノ深イ所カラ移住民ノ家畜ヤ物ヲ盜ミ乍ラ下リテ來ル。之ヲ最初ニ捉ヘタノガ一七五四年—五九年間デ Pedre de Arandia ノ統治時代デアツタ。一八八一年ニ Primo de Rivéra ノ統治時代彼等ヲ服從セシメントシテ失敗シ遂ニ全滅セシメ得ズ今日ニ至ツタ。

宗教ニツイテモ「キリスト」教ヲ信ズルノハ「ヴィガン」其他「キリスト」教人ノ市街近ク住ム僅少ノモノデ他ハ洗禮ヲ受ケズ、聖「アウグスティヌス」ニツイテ宣教師ガ說イテモ東洋人ガ西洋人種ノ聖人ニナルワケハナイトイツテ耳ヲ傾ケナイ。「カガヤン」洲ノ首府ヲ去ル六十哩ノ地「リオグランド」ノ牢ニハ最惡ノ「イロゴット」ガ居ル。

彼等ハ原始的方法ニヨツテ銅鑛ヲ年毎ニ交換スルノミデナク、臺所用具ヲ作ル。マタ彼等ハ重イ石ノ間ノ石英ヲ取掻イテ極ク少量ノ金塊ヲ引拔ク事モ知ツテ居ル。

カリンガ人ハ「イロゴット」ノ一枝デ「カガヤン」河ノ沿岸ニ見出サレル。彼等ハ首狩リノ他ニ謝肉祭モスル。「イロゴット」ハ其他支那人トノ混血モ多クソレハ海賊「リマホーン」ガ一五五四年「バンガシナン」洲カラ出帆セルト共ニ山部ニ逃ゲタ支那人ノ子孫ト云ハレル、彼等ノ「イロゴット」トノ混姻ハ全ク「ユニーク」ナル性格ノ社會ヲ作ツタノデアル。彼等ノ習慣ハ純粹ノ「イロゴット」ト殆ド同ジデアルガ其ノ猛シイ性格ハ「モンゴロイド」支那人ノ奸智ナ機敏サト混合スル。

ティンギアン人ノ住處ハ主ニ「ルソン」ノ北西海岸ノ「エラブラ」地方デアル。彼等ハ全的ニ「スペイン」政府ノ統治下ニアリ「スペイン」政府デ首領ヲ村落ヤ農場ノ小支配者ニ命ズル。此ノ首領ガ就任スル時、次ノ如ク呪文ガ云ハレル。〃若シ私ガ義務ヲ遂行出來ナケレバ毒風ガ私ニ當ル樣ニ、光ノ焰ガ私ヲ殺ス樣ニ、鰐ガ私ノ眠ツテ居ル中ニ捉ヘル樣ニ〃ト。併シ彼ハ刑罰權ヲ有ツノミデ「スペイン」ノ綱領ガ實際ニハ支配シタ。姦通罪ハ三十比ノ罰金ト離婚ヲ命ゼラレ相方ガナシタ場合ニハ單ニ離婚スル。男ガ否定スル告訴ニヨツテ裁判ガナサレル時ニハ手一杯ノ麥藁ガ面前デ燒カレル。彼ハ陶器ノ小瓶ヲ揭ゲテ次ノ如ク稱ヘサセラレル。〃私ノ小瓶ガ果實ニ變ズル樣ニ、若シ私ガ私ニ歸セラレタ行ヲ犯シタノデアルナラ〃若シ變化ガ直チニ起ラナケレバ彼ハ無罪トナル。

ティンギアンハ「ペーガン」デアルガ寺ヲ持タナイ。彼等ノ神ハ洞穴ニ隱サレテ居ル。多クノ他ノ宗教家ノ如ク彼等ハ其ノ物質的困苦ニ對シテ惡ヲ祈ル人々ノ效驗ヲ信ジテ居ル。若シ雨ノ多少、疾病ノ流行等ノ際、神又ハ聖人ヲ代表スル象徵トシテノアニトスガ運バレル。

アニトスノ祭官ハ子供ノ名付親トモナル。子供ハ森ニ運バレ「ペーガン」僧ガ名前ヲ呼ブ。ソシテ新ラシク生レタ子供ノ頭上ニ僧ガ獵刀ヲ振フ。ソシテ下ス時ニ木ヲ打ツ。木ガ樹液ヲ出セバ最初ニ付ケタ名前ガヨイ。シカラザル時ニハ樹液ガ神ノ意志ヲ示スマデ名前ヲ變ヘル。

「ティンギアン」ハ一夫一婦制デアル。ソレデ靑春期以前ニ兩親ニ結婚ヲ强ヒラレル。併シ花聟又ハ彼ノ父兄ハ花嫁ヲ相方承認ノ額デ買ハナケレバナラナイ。

之等ノ人々ハ棒又ハ木ノ上ニ小屋ヲ作リ地上カラ六、七十呎ノ高サニ住ム。ソシテ傳統的ナ敵 Guinaanes ノ攻撃ヲ防禦スル。併シ「キリスト」教徒ノ住ム近隣ニ於テハ彼等ハ之等ノ人々ト類似ノ住家ニ住ミ入口ヤ窓ニ水牛ヤ馬ノ頭蓋ヲ守護符ノ樣ニ掛ケテ置ク。

彼等ハ美シキ肉體ヲ持チ鼻ハ彎曲シテ居ル。髪毛ハ房ノ如ク垂レ、日本人ノソレノ如クデアル。併シ容貌ハ普通ノ低地土人ト似ル。音樂及ビ入墨ヲ好ミオ齒黑ヲヤル。一說ニ彼等ハ日本人ノ船夫ノ「ルソン」漂流者ノ子孫トモ云ハレル。

彼等ハ弓矢ヲ持タズ狩獵及ビ漁獵ノタメニ槍ヲ持チ歩ク。彼等ヲ「キリスト」教ニ改宗サセル事ハ不可能デアル。一七五八年夏、彼等異教徒ハ「フェルヂナンド」六世ノ命令ニヨッテ献金及ビ勞働ノ支配ヲ免ゼラレタ。洗禮以後ニ生レタ子孫ハ此ノ特權ヲ認メラレナイ。彼等ハ支那人ト「バーター」的取引ヲナスガ「クリスト」教徒トノソレハ一八八六年政府ニヨッテ禁ゼラレタ。

「ティンギアン」人ハ野蠻人デナク家庭生活モ開化人ニ近イ生活ヲ營ンデヰル。「エラブラ」ノ「キリスト」教家族及ビ「イロコス」ノ「スルニ」ハ彼等ニ起源スルモノガアル。

彼等ハ比島人中最モ勤勉デアル。

バサン人ハ内氣ナ人種デ「ミンドロ」島ノ山中ニ住ム。長イ垂レタ髪ヲ有シ白イ顔デ原始土民ノ如クデハナイ。「マンギアン」人ト云フ他ノ「ミンドロ」ノ野蠻土民ガ「バーター」ニ來テ金塊ヲ持參スルタメニ彼等ハ何レモ金ノ飾リヲ纏ッテ居ル。

以上ノ外ニ一七六三年ニ「マニラ」ヲ軍事的ニ占領セル英國軍隊ノ一部ヲナシタ「セポイ」ノ子孫デアルト傳ヘラレル人種ガ居ル。

(三) 「モロ」族（比島ノ回教徒）及ビ「ペーガン」族

「アジア」ノ南東端カラ世界デ最モ男性的ナニツノ宗教ガ生レタ。

ソレハ「キリスト」教ト「マホメット」教デアル。「キリスト」教ハ歐洲及ビ大西洋ヲ越エテ西北方ニ擴ガリ、「マホメット」教ハ「メッカ」カラ北「アフリカ」ヲ越エテ一方向ニ、更ニ南部「アジア」ヲ越エテ他方ニ擴ガッタ。之等二ツノ宗教ハ比島ニ向ッテ競爭シタ。其ノ結果「マホメット」教ハ百年後ニ遂ニ勝チ「アブガニスタン——「バルキスタン」——「インド」ヲ通ッテ流血ヲ見ッツ印度カラ東方デハ殆ンド容易ニ擴ガリ「マホメット」教徒ノ貿易者ハ「マレイ」ノ言語ヲ拾ヒ上ゲ奴隸ヲ購ヒ土人ノ婦人ト婚シ其ノ國ノ首領トナッタ。

「アラビヤ」ノ學者「マクドム」ト云フ者ハ「マラッカ」ニ十四世紀半バニ着キ魔術ト藥ヲ用キテ土人ニ大キナ影響ヲ與ヘ支配者ヲ「マホメット」教ニ改宗サセ更ニ北方「ミンダナオ」及ビ「スルー」ニマデ行ッテ改宗ヲ行ッタ。（一三八〇年頃）以前「スルー」島ノ首府ダッタ「ブアンサ」ノ町ハ彼ノタメニ寺院ヲ建テ首領ハ彼ノ信仰ヲ受ケタト傳ヘラレル。

彼ノ死後十年程シテ「スルー」島ニ「バギンダ」ト云フ王 (Raja) ガ來タ、彼ハ中部「スマトラ」カラ多クノ「マレイ」王朝ノ家ヲ迎ヘタ。彼ハ侵入ニ武器ヲ持來リテ凡テノ抵抗ニ打克ッタ。彼ガ「ブアンサ」ノ土人ヲ征服シ最高ノ首領トナッタ理由ハ彼ガ最初ノ火道具ヲ有シテ居タカラデアルト云ハレル。

「スルー」史上最モ偉大ナル人ハ「アブバクル」(Abu Bakr) デアリ、彼ノ父ハ「メッカ」ヨリ來島シテ「マラッカ」ニ落付キ、「サルタン」ノ娘ト婚シ賢明ナル三人ノ男子ヲ有シ其ノ長男ハ「ボルネオ」ノ「サルタン」ヲ築キ末子「カブングスワン」ハ「ミンダナオ」ヲ征服シ二番目ガ「アブバクル」デアルト云フ。併シ他方ニ彼等ガ兄弟ダッタ事ハ誤リダト云ハレル。

「アブバクル」ハ「モロノ」法律及ビ宗教上ノ權威トナリ「スルー」島ノ「バワンサ」ニ住ミ（十五世紀）「バギンダ」王ノ女「バラミスリ」女王ト婚シ土人ヲ「マホメット」化シタ。「バギンダ」及ビ「スルー」島ヲ治メ自ラ「マホメット」ノ直系ナル事ヲ宣言シ「サルタン」ト稱シタ。彼ハ「アラビヤ」ノ「サルタン」政治ニ倣ッテ法律ヲ作リ「マホメット」教ノ法及ビ「コーラン」ノ戒メト地方ノ習俗ヲ調和シ、三十年間全領土ヲ支配シタ。彼ノ教義ハ土人ノ信仰ニヨク適合シ得タ。

「マホメット」教ハ「モロ」族ノ劫奪及ビ殺掠ノ習慣ニモ宗教的承認ヲ與ヘル様ナ理論ヲ用意シタ。

「スルー」島ニ於テハ當時「ペーガン」信仰ガ保タレ其ノ儀式ガ行ハレテ居タ。故ニ「マホメット」教ノ新宗教ハ古キ此ノ宗教ニ附加サレタモノデアル。

祭日ニハ「モロ」ガ印度カラ受取ッタ神話ノ英雄及ビ「ペーガン」ノ神々ニツイテ歌ハレ其ノ最大ノ英雄ハ「インドラ」ト同一ノバントウガンデアッタ。其他ノ神々モ「ヒンヅー」神ト同一ダッタ。

「モロ」族ハ彼等ノ祖先ヲ尊ビ其ノ骨ヲ非常ニ大切ニシタ。彼等ハ全世界ガ dewas 及ビ hautus ナル靈ト共ニ生キテ居ルト思ヒ「ペーガン」土人ト殆ンド同一ノ遣リ方デ供物ヲ捧ゲテ居タ。「モロ」ハ危險ヤ不幸ニ向フ時ニハ

「アラー」神ヤ「マホメット」ヲモ忘レ自己ノ祖先ノ英雄神タン・バトウガンヲ祈ッタト云フ。

サマールト云フ比島最後ノ移民ハ到着前既ニ多少「マホメット」化シテ居タト云ハレル。彼等ノ首領ニハ有名ナカブングスワンガ居リ彼等ハ十五世紀頃「マラッカ」カラ來リテ「コタバト」ヲ支配シ土人ヲ改宗シタト云ハレル。彼等ハ劍及ビ鐵砲ヲ持ッテ單ニ弓ト木矢ノミノ「モロ」ヨリモ強力ダッタ。

「ペーガン」教徒ハ其ノ當時富裕ナ「コタバト」谿ニ殘リ新宗教ヲ拒ンダ。土人等ハ山奥ニ逃ゲタ。ソレガ今日マノボス・ビラヌス・タガビリス・スバース各種族トシテ知ラレル。

以上ノ如クシテ「スルー」及ビ「マギンダナオ」ノ「サルタン」ハ段々根ヲ深クシ擴張サレテ來タ。其ノ時突如新シキ敵ニ出會スニ到ッタ。卽チ「スペイン」人ガ徐々ニ太平洋ヲ横斷シテ「マヂエラン」ノ指揮ノ下ニ擴ガッテ來タ事ガ之デアル。

其ノ當時「ポルトガル」ハ「アフリカ」ヲ廻ッテ一四九八年印度ニ着イタ。ソレデ一五一二年ニ彼等ハ「モルッカ」諸島ニ行キ更ニ「スルー」及ビ「ミンダナオ」ニ行ッタ。彼等ガ比島ヲ發見シタノデアル。「マヂエラン」ハ當時「モルッカ」ガ發見サレタ時印度ニ居テ「スペイン」海軍ヲ指揮シテ「コロムブス」ノ發見シ得ナカッタ東印度ヘノ航路ヲ求メニ行キ南部「アメリカ」ヲ廻リ太平洋ヲ通ッテ之ヲ發見シ比島ニハ一年八ケ月ノ後到着シタ。

彼ハ其處デ「モロ」族ト戰ヒ「セブー」ノ一町全體ヲ破壞シタ。彼ハ「マクタン」ノ首領ト戰ッテ戰死シ多クノ部下トモ「セブー」ニテ殺サレタ。其ノ時ノ五隻ノ船ノ中一船ノミ「スペイン」ニ歸リ世界週航ヲ王ニ報告シタ。「スペイン」ハ比島ノ處置ニ一五〇五年マデ着手シナカッタ。

「モロ」族ヘノ最初ノ使節モ「スペイン」デハナク「ポルトガル」デアツタ。「ポルトガル」人ガ「モロ」ヲ改宗セントシ努力シタノニ對シ「スペイン」人ハ征服ヲ第一トシ改宗ハ第二義的トナシタ。ソレ故「スペイン」ノ一大艦隊ガ「モロ」ニ對スル戰勝ヲ宣言シタガ改宗モ占領モナシニ立去ツタノデアル。カクテ繼起スルモロ探檢ハ「モロ」族ヲ嘗テナイ程ニ團結セシメタ。

彼等ハ三千人ノ兵士ヲ形成シテ「パネイ」ニ侵入シ家ヲ燒キ住民ヲ殺シタ。ソシテ次年ニハ四千人ノ兵士ヲ形成シ七十艘ノ船デ「ミンダナオ」、「スルー」ノ四方カラ「アレバロ」ノ町ヲ攻メタ。其他「カマリネス」、「カビテ」等ヲ攻擊シタ。「セブー」、「レイテ」、「ネグロス」及ビ「サマール」ハ「モロ」ノ年々ノ競爭ノ犧牲トナリ其時以來今日マデ「ミンダナオ」ノ一部ト「スルー」トハ「モロ」ノ地トシテ征服サレズニ殘ツテ居ル。

併シ比島ノ「モロ」史上ニ最モ顯著ナル事件トシテ擧ゲラレルノハ一七五〇年ニ「スルー」ノ「サルタン」Alimud Diu ガ五人ノ有力ナ部下及ビ二人ノ「ダトス」（封權主ノ如シ）ト共ニキリスト教ニ洗禮シタ事デアル。

彼ハカクシテ「スペイン」政府カラ「モロ」トノ協約ヲ結ブベキ仲介者タル事ヲ命ゼラレ其レ以後彼ノ死迄「モロ」ノ海賊行爲ハ止ンダ。彼ハ「スルー」ノ法律ヲ改正シ「コーラン」ノ幾分カト「アラビヤ」ノ「テクスト」ヲ法律及ビ宗教ニ譯シ、之ヲ守ラヌモノヲ刑罰ニ處シタ。

「フィリップ」五世ハ彼ニ一書ヲ送リ「スルー」ニ「キリスト」教ヲ教ヘル事ヲ許ス事ヲ命ジタ。彼ハ傳導者ヲ送ル事ヲ許シ教會ヲ權威ヅケ傳導者ノ防禦ニ備ヘ要塞ヲ作リ、其ノ代リ「モロ」海軍ヲ養成スルタメ六千比ヲ要求シタ。

併シ此ノ事ニヨツテ「スペイン」人ニ對スル「モロ」族ノ反抗ガ終ツタワケデハナク、「スペイン」政府時代、二世紀以上ニ及ビ、「モロ」族ノ「ジヤンク」船ガ殖民地ノ各海岸ヲ荒シ殖民地ノ幸福及ビ發展ニ敵對シ、更ニ「マニラ」灣ニマデ現ハレタ結果、「スペイン」政府ハ遂ニ之ヲ防ギ得ズ、或ヒハ要塞ヲ築キ或ヒハ獻金ヲ支拂ツタ史實ヲ見ル事ガ出來ルデアラウ。現ニ「ルソン」ノ南方ニハ未ダ多クノ古キ石壁及ビ塔ガ殘存シテ居ル。

亦タ、「ミンダナオ」ノ「ザムボアンガ」ハ堅固ナ要塞ニヨツテ南方ノ「スペイン」ノ本部海軍根據地トナツタ。更ニ要所ニハ「キヤムプ」即チ屯所ヲ設ケ回教徒ノ反亂ニ備ヘ土民兵ヲ配備シタ。一七三八年ニ於ケル「ザムボアンガ」ノ要塞及ビ防備ノ費用ハ一七、五〇〇比デアツタト云ハレル。其他武裝シタ軍艦ノ派遣ニハ大イナル浪費ヲ要シ而モ「モロ」族ノ征服ヲ完遂スル事ハ望ムベクモナカツタ。

最初ニ「マホメツド」族ニ對シテ「スペイン」ノ戰ガ挑マレタノハ一五七〇年ニ始マル七年ノ戰デアル。一五七四年「ミンダナオ」ノ「モロ」ハ一時服從ヲ申出タ。

一五七八年—七九年ニハ Franciso de Saude ト云フ「スペイン」將軍ガ「モロ」探檢ニ成功シタ。一六〇五年ニハ第十二代總督「ペドロ・アクニア」ガ大軍ヲ引率シテ回教徒ヲ征伐シタ事ガ記錄ニ見エル。

次イデ一六一一年ニハ第十七代總督「フエルナンド・デ・シルバ」モ兵力ヲ動カシタガ却ツテ敗北シタ。第十八代總督「ホアンタボラ」ノ時、杏島ヲ遠征シ此ノ後暫ラクハ戰爭ガナカツタ。

一六三四年第十九代總督「ホアンセレソ」ノ時ニハ逆ニ回教徒ノ方カラ北上シテ比島海岸各地ヲ侵シタ。「タヤバス」洲「ビサヤ」群島等ヲ侵シテ多數ノ「スペイン」僧及ビ「キリスト」教徒ヲ殺害シタ。其ノ他十八隻又ノ船ニ千五百人ノ「モロ」兵ガ乘ツテ「レイテ」島ニ來リ比島全群島民ヲ戰慄セシメタ。

第二十代總督「セバスチャンコルクェラ」ハ七百六十人ノ「スペイン」精兵ト多數ノ「パンパンガ」土民ヲ引率シテ一千ノ「モロ」族ヲ攻メ「バシラン」島ノ「ラミタン」城ヲ陷シ、一六三七年ニハ四千ノ「モロ」兵ノ守ル「ホロ」島ヲ略シタ。

更ニ一七四〇年ニハ「ホロ」島ノ酋長「アリ・ムテン」ガ部下ト爭ヒ敗レテ「マニラ」ニ逃亡シ總督ニ救ヲ求メタ。彼ハ此處デ改宗シタ。其後「ホロ」デハ「バンテランガ」城ヲ乘取リ政府軍ヲ破ツタ。

其後ハ「モロ」族ノ勢力ガ益〻强クナリ「マニラ」灣內ノ漁船ハ拿捕サレ、全島ハ襲擊サレ年毎ニ奴隷ニ賣ラレルモノ五百人ノ多キニ上ツタ。

一七七八年—一七九三年ニ政府ハ百五十一萬九千餘比ヲ浪費シタ。「スペイン」政府ハソレ故一七九四年始メテ快速艇ヲ作リ、「モロ」族ノ「ビンカ」船ヲ追擊スル策ヲ試ミタ。

「モロ」ハ「オランダ」人ノ東洋到來ニ促サレ一八四八年ニハ「バランヴィングイ島（「スルー」ノ十四哩東方）ヲ攻メタガ總督「ナルシソ・クラベリア」ハ「モロ」ニ對シテ最モ者ルシキ勝利ヲ示シタ。一八五〇年マントニオウルビストンド總督ハ「トンキル」島ヲ討タシメ、「ホロ」都市ヲ奪ヒ其レ以後「モロ」ノ勢ガヤヤ衰ヘタ。

併シ「モロ」族ノ內亂ハ一八九九年米領トナツテカラモ依然行ハレテ米軍ヲ惱マセタ。一九一三年米國政府ハ「モロ」族ヲ急激ニ米國風ニ敎育セントシタタメニ大戰ガ起ツタ。一九三五年以降ハ米政府ハ獨立法案實行ニ肯ンゼザル多數ノ「モロ」族ヲ捕ヘテ死刑ニ處シタ。今日政府ハ多數ノ「キリスト」敎士人ヲ「ミンダナオ」各州ニ移民トシテ送リ「モロ」族ヲ懷柔セントシ各島內ニ集團部落ヲ作ツテ居ル。

政府ノ出費ハ「ミンダナオ」島ニ二千萬比デアルト云フ。併シ「ミンダナオ」ノ「モロ」族ガ殖民ヲ好マナイ事ハ當然デ米國ヘノ依存ヲ比島ガ脫スル近キ曉ニハ比島寶庫「ミンダナオ」ヲ根城トスル「モロ」族ハ如何ニナルカ問題デアル。

「モロ」族ニ對スル「スペイン」政府ノ根本ノ失敗ハ彼等ガ「キリスト」敎徒西歐人ノミガ權利ヲ有シ高キ使命ヲ有スルト信ジタ事デアル。

「モロ」族ガ腰ニ刀ヲ佩ビ妾ヲ蓄ヘル事ハ敎義ニ許サレタ所デアリ、馬來半島デモ蘭印デモ回敎徒ガ多數ノ妻ヲ蓄ヘテ居ル例ハ多クアル。「キリスト」敎徒ガ「モロ」ノ戒律ヤ敎義ニ容喙シ帶刀ヲ殺人ノ武器トシ一夫多妻ヲ蠻行トスルタメニ矛盾ガ生ズルノデアル。

「スペイン」政府ハ「ミンダナオ」及ビ附屬諸島ニ軍政部ヲ置イタガ之等南部諸島ノ宗敎、言語、習慣ハ著ルシク異ナルタメ文明ノ徐々タル紹介ニ優レタ手腕ヲ有スル 首領ガナカツタ。全領土ハ各〻區分サレ獨立シテ「サルタン・ダトス」又ハ首領ニ統治サレタ。「ラナオ」湖地方ニハ一「ダトス」ガ「モロ」族ノ總轄的統制ヲナシ得タ。

現在「モロ」族ハ「ミンダナオ」島ノ九割マデ擴ガル。自由人及ビ奴隷ヲ含メテ十萬人ニ達シ、二萬人ノ兵士ガ此ノ他「ダトス」ノ命令ニ屬ス。領土ハ「ボルネオ」マデ延ビ「サルタン」ハ「ミンダナオ」島ノ封建主トシテ其ノ枝葉ガ「バラワン」島ノ南半部ニ擴ガツテキル。

「モロ」ニ對スル政策ノ基本ハ「モロ」ノ宗敎ヲ妨害セヌ事デアル。「モロ」ハ公學校ヲ好マナイ。彼等獨自ノ優レ

タ學校ハ「ホロ」島ノ中央ニアッテ「アメリカ」ノ一婦人ニヨッテ建テラレテ居ル。

「モロ」ノ凶人ハ「ザムボアンガ」ノ近クノ刑場ニ閉デコメラレ其處ハ海邊ノ美シイ農場デアル。

一八九九年八月「アメリカ」政府ハ次ノ事項ヲ「モロ」族ニ認メタ。

一、「サルタン」ノ威權及ビ獨占權利ハ「アメリカ」ノ主權ニヨッテ承認サルベキ事。

二、一年三千比ノ年金ガ「サルタン」ニ與ヘラレ彼ニ屬スル八人ノ「ダトス」及ビ一人ノ僧ニハ一八〇九〇〇比ガ拂ハレル。

三、「モロ」ノ犯罪人ハ「モロ」ノ判事ニヨッテ處理サレル。殺人ニ對スル最高罰金ハ百五比デアル。（之ハ此ノ地方ノ生活程度ニ比スレバ非常ナル高額デアル）

四、逃亡犯人（「アメリカ」人又ハ「モロ」人）ハ相互ニ引渡サル事。

五、「アメリカ」人ハ外國人ニヨル「サルタン」ヘノ侵入ヲ防禦スル事。

六、「サルタン」ニ相談セズニハ彼等ニ對シテ戰モ出來ズ彼等領民ヲ他ノ領域ニ移ス事ハ出來ナイ。但シ其ノ領土ノ一部ヲ必要上占據スル事ハ出來ル。併シ「サルタン」ノ住居附近ノ土地ハ出來ナイ。

七、「マホメット」ノ宗教、儀式、習慣ニ係ハラヌ事、亦タ「サルタン」ノ許可ナシニ「スルー」島ヲ旅行スル事ハ出來ナイ。

八、彼等ハ其ノ自然ノ武備ヲナス事ハ自由デアリ、亦タ領土ノ何處デモ自由ニ貢獻スル事ガ出來ル。

比島ノ回教徒ヲ「モロ」族ト云フノハ「スペイン」人ガ渡來シテ後、「ミンダナオ」及ビ「スルー」群島ノ海洋民族ヲ指シテ其ノ容貌ガ「アフリカ」ノ「モーア」人（Moor）ニ似テ居タ所カラ「モロ」ト呼ンダト云フ說ト亦タ他ニハ「ボルネオ」ノ蕃族ニ「ムルツト」ト云フ一族ガアリ蕃舶ヲ繰ッテ東方「スルー」及ビ「ミンダナオ」ニ來タノデ（一三八〇年頃）ムルツトガ轉訛シテモロトナッタト云フ說ガアル。兎ニ角「モロ」族ニハ「ホロモロー」（「ホロ」島）「ミンダナオモロー」（「ミンダナオ」本島及ビ「ラナオ」附近）及ビ「サマールモロー」（「ザムボアンガ」及ビ附近島嶼）ヲ分ツ事ガ出來ル。「マニラ」灣ノ方ニモ行キ、何レモ人種的ニハ比島他族ト同一デアリ只、宗教ノミガ違フノデアル。

彼等ハ何レモ海上生活ヲ營ミ漁業ヲ基トシテ生活スルテハ今日尙ホ五、六百萬ノ土民ヲ支配シテ居ル。「マホメット」教ハ前述ノ如ク東印度ノ移民ニヨッテ傳ヘラレ、「キリスト」教ハ土民ト離レテ「コーカシアン」人ニヨリテ紹介サレタ。卽チ「キリスト」教ト「スペイン」ノ占領トハ經濟關係ニ立ッテ居タノデアル。ソシテ之等二宗教ノ對立ノ背後ニ比島ノ原始生活ニ決定的ナモノガアッタ。ソレハ印度カラノ「ヒンヅー」ノ影響デアッタ。此レハ特ニ宗教的ナル儀式ハ齋ラサナカッタノデアルガ宗教觀念、實踐「サンスクリット」ノ文字、書體、鑄金及ビ產業上ノ知識ニ深ク喰ヒ入ッタ。

此ノ影響ハ「マホメット」教ノソレヨリモ蔓延的デヨリ古ク永續性ガアッタ。海岸及ビ平地ニ多ク今日比島ノ人種中如何ニ疎隔デ原始的デモ其ノ生活ニ印度的ナ要素ノ見出サレナイモノハナイ。只社會ノ構造上ニ於テノミ「マ

ホメット人ハ王ノ觀念、及ビ「サルタン」、「ダトス」ノ觀念及ビ其ノ國家觀念ヲ有シテ居ル。「ヒンヅー」ハ王制ニ長ク親シンデ來タガ王制ヲ建設スル事モ「カスト」ノ組織ヲ紹介スル事モ出來ナカツタ。シカルニ比島回教徒ハ此ノ獨特ナル政治組織ニ於テ常ニ西歐人ヘノ從屬ニ反抗シテ來タノデアツテ此ノ點ハ考フルベキデアル。

兎ニ角「マホメッド」人ハ彼等ノ宗教ト共ニ「サルタン」王ノ觀念ヲ採入レタノデアツテ最モ重要ナル國家ハ「マギンダナオ」又ハ「コタバト」又ハ「スルー」ノソレデアル。他ノ中心ハ「ラナオ」湖地方デアル。海岸ニ居ル「モロ」族ハ「サマール」人（海ノ人々）トシテ區別サレル。

「スルー」人ハ「スルー」群島ニ住ム「モロ」族デ「スルー」ノ「サルタン」ハ「アメリカ」ト比島人トノ承認ノ下ニ政治ヲ行ツタ。「サルタン」ハ絶對獨裁政府ヲ有シ其ノ權力ハ「スルー」全島ニワタツテ及ビ「バレラン」及ビ「バラワン」島ノ諸部分及ビ北「ボルネオ」ニモ及ンダ。現在此ノ方面ノ「モロ」ハ指導者ナク、日本人、「アメリカ」人、比島人ニヨツテ追放サレツツアル。此ノ方面ノ富源ノ開拓ガ進ムト共ニ「モロ」族ノ抵抗ハ無力ニナルノモ餘リ遠クハナイト考ヘラレル。

「モロ」ノ風俗ハ他ノ比島人ト異ナル點多ク先ヅ衣類ハ美シク豪奢デアル。時ニハ「サロン」（腰布）即チ長布ヲ終リデ合セテ腰ノ廻リニ結ブモノノミノ事ガアル。併シ男子ハ屢〻「ズボン」ヲ着シ腰カラ踵ニ至ル。マタピツタリ合ツタ「ジャケツ」ヲ着ス。頭ノ周リニ緩ク、「ハンカチ」ヲ卷キ（「ターバン」）腰ノ周リニ襞ニナツタ「サロン」ヲ着ケ常ニ其處ニ檳榔樹ヲ入レル眞鑄ノ箱ト短劍トヲ持ツ。婦人モ「ジャケツ」ヲ着テ居ルガ支那婦人ト似タ廣ク緩キ「ズボン」ヲ着ケル。婦人ハ名譽ヲ重ンジ其ノ暴行ハ往々困惑ヲ招ク。

結婚ハ男女十五歲ニテ行ハレル事ガ少ナクナイ、宗教ニ從ツテ多妻デアル。「モロ」族ハ農漁業ノ外織人及ビ銀細工師トシテモ優レテ居ル。彼等ハ狂信的回教徒デアリ、血ニ狂フ。彼等ハ「クリスチャン」ヲ殺シテ自分モ死ネバ回教王國ニ行ケルト信ジテ居ル。

彼等ハ數多クノダトスニヨツテ治メラレ「ダトス」ノ漠然タル管轄ノ下ニ Cotta ト云フ要塞ヲ作リ其ノ內部及ビ周リニ彼及ビ彼ノ從者ガ住ム。

「ダトス」ノ命令ハ絶對デアル。彼等ノ神ハクリスデアリ「マホメット」ハ豫言者デアル。クリス（kris creese）トハ「マレイ」人ノ短劍（波狀刃）ヲ意味スル。「モロ」族ハ「マレイン」トノ長期ノ爭ハ彼等ガ自己ノ領土ト思フ「ルソン」其他ヲ西歐人ガ占領シテ侵シタノデ奪回ニ來ルノデアツテ根本デハ信仰ノ爭デアツタ。

比島ノ土人ノ中文字ヲ有スルノハ彼等ノミデアル。即チ彼等ハ「アラビック」ノ文字ヲ有シ「コーラン」ヲ讀ム。亦タ彼等ノ有スル法律ハ主ニ民事ニ關スル詳細ナルモノデアル。

彼等ハ比島政府ニ反對シ武器ヲ取上ゲラレテハ居ルガ槍、刀ヲ以テ仕事ヲナシ、水道ノ鐵管ヲ盜ンデ銃身ヲ作リ鐵砲トスル。

「サルタン」ハ「ホロモロ」ト「ミンダナオ、モロ」ノ兩方ニアル。昔ハ「モロ」ハ「スルー」ニ多ク住ンデ居タ。「ミンダナオ」及ビ「スルー」ニハ「スルー・モロ」族ガ約十六萬位居ル。「ボルネオ」ニ近イシタンカイ島ニ居ルバッヂャオト稱スル種族（漁業ヲ主トスル）及ビ漁業ヲ同ジク主トシヴイアンタト稱スル獨木船ニ生活シ海上ヲ住處トス

ルロアーント云フ種族ガ居ル。何レモ「スルー・モロ」ノ輩下デアル。

「ミンダナオ・モロ」ハ「ザムボアンガ」及ビ附近ノ島ニ居ルサマール・モロ族ガ十一、二萬、「コタバト」附近ニ居ルマギンダナオ——コタバト・モロガ、十一、二萬、「ラナオ」湖中ノラナオ・モロガ八萬位、「ダバオ」ニ近イ「サラガニ」灣ノ東ニ居ルサンギル・モロガ五千位、「ザンボアンガ」ノ前ノ「バレラン」島ニ居ルヤカン・モロ、マウンテイン・モロート云フノガ九千人位、全部デ四十八萬位デアル。

此他ニ「ミンタナオ」ニハ「マノボ」、「マンダヤ」、「ビラアン」、「バコボ」、「テイルライ」、「タガカウロ」、「ブキツドノン」、「アタ」、「クラマン」、「サマール」、「ネグリト・マ・ヌア」、「マンギヤンガン」等三十萬近イ蠻族ガ住ム。「スバノ」族ハ文化社會トノ交渉モアル。彼等ハ「モロ」族ノ影響ヲ最モ多ク受ケ、「マホメット」教徒ニ金品ヲ貢グ。

「モロ」族ハ毎年數百名ヲ「メッカ」巡拜ニ送ルノヲ常トシテ居ル。「モロ」族ハ一人ノ「キリスト」教徒ヲ殺シ乍ラ自分モ殺サレル時ニハ直チニ未來ノ世界デ幸福ノ機會ヲ一ツ多ク持ツト信ジテ居タ。卽チ第七天國ニ行ケルト信ジタ。

彼等モ同ジク生活ニ怠慢デ早ク簡單ニ幸福ニナラントシテ神聖ナ泉デ沐浴シ長髮ヲ切斷シ白衣ヲ纏ヒ信仰ノ敵ヲ切ル事ニヨッテ死スベキ誓ヲナス。彼等ガ「キリスト」教徒ノ街ヲ襲ッテ殺戮ヲ行ヒ遂ニ死去スレバ彼ノ親戚ハ集ッテ彼ノタメニ祝ヒ、祭ツルノヲ常トスル。

(四)「マレイ」人種

「マレイ」人種ノ最初ノ史的存在ハ「スマトラ」ノ「メナンカバウ」ニ見出サレル。其處カラ東印度諸島ニ擴ガッタモノデ有能ナル人種デアリ鑄造紡績等ヲ「ヒンヅー」移民カラ學ンダト思ハレル。

比島ノ「マレイ」人種ハ「ボルネオ」又ハ「マレイ」ノ「ペニンスラ」カラ移住シテ來タト云ハレ、北部「ボルネオ」カラ「スルー」島ヲ橋渡シトシテ「ミンダナオ」マデ來タト考ヘラレル。「タガログ」語ガ最モ純粹ナ「マレー」方言ノ一ツデアリ、「サンスクリット」ヲ極ク少シク含ンデ居ル。梵語ハ「スペイン」ノ來島當時多ク用キラレ、其レハ旣ニ西曆ノ始メニ「マレイ」ノ「ペニンスラ」、「ジヤバ」及ビ其他ノ島ヲ通ッテ來タラシイ。現在「マレイ」及ビ日本人ノ混血ノ子孫ニヨッテ居住サレタラシイ。

比群島ノ「マレイ」人種ノ代表的タル「タガログ」、「ヴイサヤン」人ハ「マラバール」及ビ「マラッカ」ノ海岸カラ押流サレタモノト考ヘラレル。傳說ノ云フ處ニヨルト彼等ハバランガヤント云フ小船デ「ダトス」又ハ「マグィノー」(主長ノ意)ノ指揮ノ下ニ達シタト云ハレル。其レガ古代ノ比島ノ社會組織ノ基礎トナッテ彼等ハ主長制ヲ保持シバランゲイナル約五十家族ノ各部落ヲ形成シタ。

彼等ハ定住ト共ニ土着ノ「ネグリトス」(「タガログ」語デ Aieta ト云フ)ヲ低地諸方カラ山岳ヘト追込ンダ。「ソ

シテ中部「ルソン」及ビ湖ノ周リハ既ニ殖民サレテ居タノデ附近ノ空地及ビ「ルソン」ノ南部ニ移住シタ。併シ多クノ岳陵人種ヲ征服スル事ハ出來ズニ現在マデ兩者ハ獨立的ニ殘存シテ居ル。「スペイン」政府ハ之等山岳人ト開化人種トノ交涉ヲ禁ジタノデ其ノ結果野蠻ナ非農耕民ヲ保存スルト云フ事ニナツタノデアル。

「マレイ」人種ノ移住ハ「スペイン」到來數世紀前既ニ完成サレテ居タ。「レガスピ」將軍ガ一五六五年—七〇年ノ間ニ「マニラ」ニ到着シタ時既ニ彼ハ「マレイ」人ノ二人ノ酋長(又ハ小王)ト交涉セネバナラナカツタ。兩者共 Rajàh ト云フ「インデイアン」稱號ヲ得テ居リ他方一人ノ酋長ハ「マホメット」ノ「アラビア」名 Sliman ヲ有シテ居タ。ソシテ彼等ノ「レガスピ」將軍ニ對スル儀式ガ「マホメット」敎ノソレト同樣ダツタノデ彼ハ之等ノ人々ヲモ人トシテ語ツテ居ル事ガ記錄ニ見エル。

傳說ニヨレバ當時日本人モ常ニ「ルソン」ノ東海岸ヲ渡リ「ラモン」灣ノ近隣マデ來リ其處ニ着陸シテベイ湖ニ注グ小河ヲ下リ其ノ地方ニ殖民シタト考ヘラレル。其ノ地方ヲ到來シタ「スペイン」人ハ「バガサンヤン」洲ト呼ンダ。(現在ノ「タヤバス」洲ノ一部及ビ「ラグナ」洲ヲ含ム)

當時日本人ガ來島シテ自己ノ領域ヲ「ベイ」湖カラ擴ゲタノカ又ハ附近航行中難船シテ「バンシピット」河ヲ渡リ「ボムホン」湖ニ達シタカデアルガ何レニシテモ記錄ニヨレバ「タール」地方ハ「ボムホン」湖沿岸ト共ニ日本人ノ殖民地デアリ現在マデ「ターレノス」ハ純粹「マレイ」殖民ノ子孫ノ者ト異ナル性格ヲ有スルト云フ。比島ノ愛國者トシテ史上ニ輝ヤク「ホセ・リサール」ハ日本ニ「マレイ」型ノ典型デアル。

「ルソン」島ノ一小部分ヲ占領シタ「タガログ」ハ(主ニ「バタンガス」、「ラグナ」、「リサール」及ビ「ブラカン」洲)

之等日本ノ移住者ノ混血ノ子孫ト考ヘラレテ居ル。

「スペイン」征服ノ時代「タガログ」ハ (Tao-ilog 卽チ河ニ沿フテ來タモノ)斯ク「スペイン」人ニ呼バレタガ、ベイ湖ノ南岸カラ南方ニ土地ヲ有シテ居テ他ノ「マレイ」人ト「マイニラ」(「バング」河岸ノ町)デ取引ヲナシ漸次「サムバロク」、「サンタクルー」等ニ根城ヲ得タ。

其ノ時代ニ低地方ノ居住民ハ既ニ異ナル方言ヲ語ル集團ニ分レ彼等ノ居住地ト類似ノ名ヲ自己ノ集團ニ附シテ居タ。例ヘバ「パンパンガ」、「イロコス」、「カガヤン」等デ之等ノ名稱ハ Pámpang (河岸) Ilog (河川) Canáyan (竹) ヲ意味スル。

前述ノ如ク多種ノ「マレイ」人種中主要ナノハ「ルソン」ノタガログ」ハ最モ多數デ且ツ半開化デアル。

「ヴィサヤン」ハピンタトスト呼バレル。又ハ "Painted ones" 卽チ彼等ハ身體ヲ裝飾シテ居ルノデ「スペイン」人ガ斯ク呼ンダノデアル。

此等人種ガ方言、慣習、衣食、性格ノ違ヒヲ有スルノハ彼等ノ異民族トノ混血ヲ意味スル。

比島ノ「マレイ」土人ハ中背デ均整ガトレ、銅褐色ノ皮膚ヲ有シ長キ黑髮ヲ後頭部デ丸メ、油ヲツケル。婦人ハ寶石デ頭ヲ飾リ金ノ指輪、耳輪ヲナス。男ハ髭ガ殆ンドナク、兩性共目ガ大キイ。

ザムバレス人ハ前頭部ヲ剃リ髮ヲ束ネテ居ル。此ノ風習ハ古代ノ「チヤモロ」ニモ見ラレル。人種ノ多クハ齒ヲ磨キオ齒黑ヲナス。(「ココ」椰子ノ殼デ)「ヴィサヤン」人ハ上部ノ齒ヲ穿チ金ヲ詰メル。之ハ「エヂプト」ニモ見ラ

レル。此ノ人種ノ多クハ知的才能ヲ有シ模倣力ヲ有スル。

「タガログ」ハ一言デ云ヘバ大キナ子供ノ如ク惡ト德トノ單純ナル結合體デアルト云ハレル。着物ハ木綿ノ「キュニック」（青又ハ黑）ヲ腰マデ着テ色木綿ノ「チョッキ」又ハ「キルト」（短袴）ヲ着、其ノ上ニ手ノ巾位ノ絹ノ帶又ハ Sash ヲ捲ク。ソレニハ二ツノ金ノ房ガアル。

右方ノ肩ニハ「バララオ」ト云フ短刀ヲ掛ケ（九吋程）兩尖端ヲ有スル。刀柄ハ金又ハ象牙ヨリ成リ「カラバオ」ノ皮ノ鞘ヲ持ツ。「ターバン」（「ボトング」）ヲ被リ「ニューギニヤ」「ハブアン」間ニ見ラレル如キ黑キ蔓草ノ脛紐ヲナス。其他金鎖ノ腕輪等少シデモ金ノ裝飾ヲセヌ者ハ余程ノ貧乏人デアル。金及ビ銅ノ鑛山ハ早期カラアッテ精錬シテ種々ノ器具ヲ作ル。山部地方民ハ山奥カラ金、銅ヲ掘出シ低地方ノ物資ト交換シ亦タ裝飾品ヲ作ッタ。

之等マレイ人種ノ社會ハ三種ニ分レル。首領—「タガログデ」ハマギノート云ヒ「マノボス」デハ「バガニ」「ヴイサヤン」デハダトスト云フ。軍事、政治、法律上ノ權威ヲ有スル。——及ビ貴族「イルストラドー」又ハ「カキーク」及ビ平民（「ティマグア」・「タガログデ」ハ「マバールリカ」）ト奴隷デアル。「ホセ・リサール」ハ其ノ名著 "noli-me tangere" ニ於テ之等ノ人々ノ生活ヲ述ベテ居ル。「スペイン」統治後ハ貴族ハ往々「スペイン」人トノ混血デアッタ。

首領ハ軍事、政治、法律上ノ權威ヲ有スル事ハ以上ノ如クデ彼ハ世襲デアリ各收獲時ニ貢物ヲ受ケ、何時デモ奴隷ノ財產及ビ子供ヲ處理シ得ル。

思フニ彼等ハ比島ニ移住シ來ッタ際、群ヲナシテ小船ニ乘ッテ來島シ定住シテ耕作ニ從事シ各群凡テ親戚ダッタノデ共同生活ヲナシ、最古老ノ者ガ首領トナッタト考ヘラレル。彼等ハ各群毎ニ一國家ヲ形成シタラシイ。

一五七〇年ニオケル「マニラ」ノ首領ハ Raja Matando デ「パシグ」河ノ南岸カラ、南方ヘノ領域ノ權限ヲ有シテ居タ。亦タ、Raja Soliman ハ「ボルネオ」ノ土人デアリ、其ノ地ノ「サルタン」ノ甥デアッタト云ハレル。

更ニ、「パネイ」ニ於テハ一四三三年ニ「カランテイアオ」ト云フ一首領ガ自己ヲ第三ノ首領ト云ッタト云フ。第一、第二、第三ノ首領間ニハアル種ノ聯關ガアッタラシイ。兎ニ角彼等ノ社會ハ家族ヲ單位トスル。家族ノ關係ハ父子ニ限ラレズ、離レタ親戚ニモ及ンデ居タ。

貴族ガ「ダトス」ト呼バレル時モアル。之等ノ稱號ハ世襲デアルガ個人ノ富、才高キ道德的德ニヨッテ與ヘラレル時モアッタ。之等ノ特權ハ界系ニノミ繼ガレタ。父子、及ビ其ノ子孫、及ビ傍系親戚ガ繼グ。「ダトス」ト云フ語ハ「マレイ」語ノ Datak カラ來タ。「カウィー」ニ於テハダトウク又ハダトウアリ王（「プリンス」）ヲ意味シ「スンダ」地方デハダタデアッテ首領ヲ意味シタ。シカルニ「バタク」地方デハダトウデアリ、ヤハリ首領ヲ意味シタ。

Favre ト云フ學者ニヨレバ梵語ノ Ratu ガ同一意味デ有德婦人ヲ意味シソレハ「ジャバ」ノラトウトモ同一デ女王ヲ意味スルト云フ。「マレイ」ニ於テハソレハ首領、「モナーク」ヲ意味シ男女兩性ニ用キラレタ。

平民ハ首領ノ子孫デ親戚デアル。彼等ハ王位ヲ繼グ事ガナイ。「ローマ」法ノ自由民ト似テ居ル。卽チ主人ガ解放シタ奴隷及ビ其ノ子孫デアル。

Timagwa ハ「マレイ」ノ Dyeniawa ニアタリ "誇" ヲ意味スル。

「カトリック」信仰ガ比島ニ入ッテカラ奴隷ハ禁ゼラレ解放サレタ。併シ貴族トハナラズニ單ニ「プリビノアン」

卽チ自由民デアツタ。「レイテ」島ノ「ブラウオン」ノ町ニ此ノ名ハ現存シテ居ル。

マタ平民ハ Maharlika トモ云ハレ「マレイ」ノ Mardahika (Mardhika) ニアタリ自由ヲ意味スル。「バタク」ニ於テハ Mardaekik「マカツサル」・「ブギス」及ビ「ダヤク」デハ「マラデイカ」デアル。此ノ語ト「タガログ」ノ Maadhika（勤勉注意深キ）デハ同意味ニ用キラレル。

「ヴイサヤン」ノ間ニハ三種ノ奴隷ガアル。ソレハ Ayney, Tumarampuk 及ビ tumataban ガ之デアル。「タガログデ」ハ二種アル。Aliping-Namama-hayes 及ビ Aliping-Sagnibnileyes ガ之デアル。傳說ニヨレバ奴隷ハ二千年前ニ始メテ Siduma-guer ト呼バレル一人ノ人ニヨツテ紹介サレタト云ハレル。

奴隷 Ayney ハ主人ノタメニ三日間、彼自身ノタメニ一日働カネバナラナイ。彼ノ妻モ主人ニ仕ヘル。賣買又ハ辨償ノ場合ニハ金「ニテール」又ハ十二比支拂ヒ、彼ノ主人ハ彼ニ食物及ビ衣服ヲ用意セネバナラナイ。

Ayney ハ「ヴィサヤン」語カラ來タモノデ、「セブー」及ビ「バネイ」ノ Ayu「レイテ」ノ Aru ヨリ來リ、要求スルモノト云フ意味デアルト云フ。奴隷ハ單ニ極ク小部分ノミ自己ノ分トシテ要求スルト云フ意味デアル。

Tumarampuk ト云フ奴隷ハ自己ノタメニ三日働ラキ一日ダケ主人ノタメニ働ラク。妻子モ働ラキ其ノ報酬ハ十二比ダツタ。Tampuk トハ「レイテ」デハ Tampa-to join デアリ主人ノ家ニ住ム奴隷デアル。

Tumataban ハ主人ガ祭デ家ニ居ル時ノミ主人ノタメニ働ラキ、主人ノ死ノ場合ニハ主人ノ子ニ交ツテ主人ヲ繼グ。主人ノタメニ一ケ月十五日働ラク。又ハ毎年米ヲ六比分ダケ納メル。

Tumataban ハ Tumata-bang, Tahang=to help ニデアツテ Taban ハ歯ノ間ニ犬又ハ猫ノ如ク何カヲ持ツト云フ意味デアル。

Aliping-namamabey ハ自己ノ家ニ住ミ收獲時ノミ主人ヲ手傳フ。自己ノ所有ヲ隨意ニシ得ル。又ハ自己ノ息子ヲ賣ラズニ濟ム。「タガログ」語ヲ源トスル。

Aliping-Sagnibuileyes ハ主人ノ家ニ住ミ主人ノタメニ働ラク。其ノ勤勉ニヨツテ奴隷ノヨリ高キ階級ニ入レラレ賣ラレナイノデアル。

自由民ガ奴隷ト結婚スル時ニハ其ノ子ガ唯一人デ男子ナラ半奴隷デアル。一ケ月自己ノタメニ一ケ月ハ主人ノタメニト云フ樣ニ働ラク。若シ子供ガ二人以上ノ時ハ最初ニ生レタモノハ父ノ條件ニ從ヒ第二番目ノ子ハ母ノソレニト云フ風ニナル。子供ノ數ガ奇數ノ時ニハ最後ニ生レタ子ハ半自由半奴隷デアル。

奴隷ハ賣買サレ商品トサレル目上ノ人ヲ三人稱デ呼ビ各文章ニ po ト云フ語ヲ加ヘル。英語ノ Sir ニアタル。之等土人ノ間ニハ絶對ノ王ハナク、民主主義デモ「モナーキー」デモナク、貴族政體ニ近イ。古代「ローマ」地方ニ額似シタバランゲイニ分タレ各群ガダトス又ハラハーニ治メラレルノデアル。最高ノ首領ガ三杈ヲ掌中ニ有スル。

貴族ガ彼ノ代理ヲナスノデ特ニ法律的ニサウデアル。訴訟關係人ハ調停者ヲ指令シ得ル。首領ハ貴族ノ忠告ヲ得テ法ヲ制定スル。

之等各「バランゲイ」間ニハ聯盟ガ作ラレ領土的及ビ海事裁判權ヲ分割スル。戰ヒハ一「バランゲイ」ノ臣民ガ他ノ法律ニヨツテ正當ノ理由ナシニ殺サレタ時及ビ一「バランゲイ」ニ屬スル誰カガ他ノ「バランゲイ」ノ婦人ヲ掠奪

シタ時及ビ一臣民ガ他ノ裁判權ニヨッテ欺カレタリ虐待サレタ時、又ハ異ナル二「バランゲイ」ノ男女ガ結婚シテ納稅セヌ時等ニ生起スル。子供及ビ奴隷ハ二「バランゲイ」間ニ分タレル。

法律上ノ事件ハスベテ其地方ノ「バランゲイ」ノ「ダトス」ノ下ニ運バレル。

彼等ハ成文法ヲ持タナイガ確乎タル規則及ビ慣習ヲ有シ首領ハ罪人ノ財產及ビ其ノ證人ノ財產ヲ沒收スル。試練ハ沸湯ノ中ニ腕マデ入レ、湯ノ底ノ石ヲ探ラセル事ヤ、犯人ノ手ノ中ニ焚松ヲ持タセ焰ガ彼ノ方ニ向ッテ輝ケバ有罪トサレル事等ヲ以テ常トスル。

盜人ハ往々槍デッキ殺サレル。其他奴隷ニスル事ニヨッテ罰スルト云フ事モ往々用キラレル方法デアル。債務ハ父子奴隷トナル事ニヨッテ辨償サレル。

道德的ノ罪ハ嚴格デアル。例ヘバ睡眠中ノ人ヲ起ス事、言語ノ侮辱等ハ大イニ罰セラレル。彼等ノ間デハ人ガ眠ッテ居ル時ニハ靈魂ハ身體ヲ離レテ居ルカラ急ニ睡眠ヲ覺マセバ靈魂ガ歷所ヲ失フト云フ迷信ガ行ハレテ居ルノデアル。最惡ノ呪文ハ "may thou die sleeping" ト云フノデアル。

比島土人ノ主タル職業ハ農耕デアル。山部地方デハ段階式耕作モヤル。支那、「ペルー」及ビ北部「メキシコ」ニモ古代ニ存シタ。之ハマタ「ジャバ」地方ニモ見ラレル。彼等ハマタ狩獵モヤリ、椰子油等ヲ作ル。食物ハ特殊ノ家ニ貯ヘラレル。

收獲サレタ最初ノ果物ハ祖先ノ靈ニ捧ゲラレル。「ヴィサヤン」デハ種蒔キノ時、種ノ一部ヲ畑ノ四隅ニ犧ヘトシテ捧ゲル。

彼等ハ竹製ノ家ニ住ミ大體地上カラ六呎位ノ高サニ居ル。移動式ノ梯ニヨッテ室ニ昇降スル。彼等ハ此ノ中デ銅線ノ二本ノ絲ヲ持ツ「ギター」ノ音樂 (cud) ヲ樂シム。

「タガログ」族ノ外部トノ商取引ハ主ニ支那トデアリ、其他日本、「ボルネオ」、「シヤム」トモ交涉ガアッタ。彼等ハ鑄貨ヲ持タズニ金地金ノ砂金及ビ塊ノ形ノ儘通貨トナシ重サデ評價シタ。

彼等ハマタ、航海ガ巧ミデアル。「ヴイサヤン」ハ海賊トシテ諸小島ヲ廻ッタ。「キヤヌー」ハ大キナ木デ作ラレ、船ニハ杙モ「マスト」ヤ帆スラモアッタ。往々龍骨ヤ甲板ヲモ有スル。其他大船 (「ヴイレイ」及ビ「バランガヤン」ト云ハレルモノ) ハ木釘デ固メラレタ厚キ板デ作ラレル。漕手ハ杙 (「ブセイ」) 又ハ「オール」(「ガヨング」) ヲ以テ歌ニ合セル。「レイブ」トカ、「タバク」ト云フノハ最大種ニ屬スル船デアル。一回ニ二百五十人モ運搬出來ル。「バランガヤン」ト云フ船ハ「ホーマー」ノ詩ニモ傳ヘラレル如キ古キ形ヲ有ッ。

彼等ハ非常ニ丁重ナ態度デ人ト交ハリ、「ルソン」地方デハ殊ニサウデアッテ上位ノ者ニ話ス時ニハ「ターバン」ヲ取去ル。片方ノ膝ヲ折リ手ヲ頰ノ上ニ置キ上位ノ者ノ語ルノヲ待ッテカラ口ヲ開ク。ホンギー又ハ鼻ヲ押合フ挨拶 (「ポリネシア」人ノ) ハ比島ニ於テハ古代ノ習慣デアリ、「テイモール」島デモサウデアル。之ハマタ「チヤモロ」デモ行ハレル。(tsho-miko ト云フ。)

戰時ニハ彼等ハ弓矢、槍、短刀ヲ、南方デハ Sarbakan ト云フ吹竹ヲ用キル。其レ等ハ鐵及ビ骨デ作リ先端ヲ尖ラシテアル。又ハ火デ固メテアル。竹ノ胸甲ヲ用キマタ土囊ヲ作リ大砲ヲ有スル。

マノボス及ビザムバルスハ最モ野蠻デ敵ヲ殺スト先ヅ僧侶ガ其ノ心臟ヲ食フ。奴隷ヲ戰神ニ犧ヘトシテ捧ゲ

ル。首狩モヤリ屋根ニ並ベル。マタ、敵ノ腦ヲ食ベル。「イフガオデ」ハ投繩ガ武器トシテ用キラレル。

婚姻ノ時ハ豫ジメ妻ニ欲シイト思フ女ノ家ニ住ミ數年間ニモ及ブ。或時ニハ共住スル家族ガ不滿ニ思ヘバ彼ハ犂タル事ニ失敗スル。逆ニ男ノ方ガ意ヲ飜ヘス時ニハ母乳代ト云フモノヲ支拂フ。若シ婚約ガ成就スレバ婚禮マデノ男ハバゴンタオ女ハダラガト呼バレ婚禮ノ祝ハ數日ニ及ブ。多妻ハナイガ蓄妾ハ普通デアリ最初ノ妻ノミガ正當デ他ハ家ノ勞働ニ從事スル。婦人等ハ常ニ奴隷及ビ使用人ニ附キ從ハレテ外出スル。彼等ノ間ニハ assuan ト云フ惡魔ガ姙娠中ノ婦人ニ惡戯ヲナスト云フ迷信ガ行ハレテキル。ソレデ夫ハ屋根ニ上リ又ハ「ドア」ノ前ニ立チ槍ヲ以テ空中ヲ搔キ廻ス。マタ、彼等ノ間ニハ Convade ト云フ習慣ガアツテ支那、「アフリカ」、「エヂプト」南部「アメリカ」等ノ人種間ニ此レニ類似ノ母權制ガ獨立ニ行ハレテ居ル。マタ、彼等ノ間デハ血族結婚ガ多イ。

彼等ノ言語ハ「タガログ」、「ヴイサヤン」ガ主デアル。「ジヤバ」デハ千語中百十語ガ「サンスクリット」デ、「マレイ」デハ五十、「ダガログ」デハ一・五ガ「サンスクリット」デアル。

南西カラ、六世紀前ニ「タガログ」、「ヴイサヤン」移民ガ行ハレ其ノ頃「ヒンヅー」宗教ガ東印度ニ入ツテ多クノ梵語ヲ齎ラシタモノト考ヘラレル。土人ノ語ハ現今モ比島ニ保存サレテ居ル。

「ダガログ」語ハ「ルソン」ノ主要語デアル。一般ニハ奥地デ行ハレル Le Yobien ノ說ニヨルト「カロリンノ」語、「スマトラ」ノ「バタク」語等ハ「タガログ」ニ似ルト云フ。

彼等ノ宗教ハ自然崇拜カラ超人的ナル存在ノ崇拜ニ行ク。勸善懲惡主義デアル。「ヴイサヤン」ニ於テハ Ologan、Solad ガ天神及ビ地獄神ヲ意味スル。死人ノ魂ハ「メデアス」山ニ行クト云ハレル。テイグバランハ森林ノ神デアル。（特ニ北方人種間ニ）森林ヲ過ギル時 "Tavit, po" ト云フ。卽チ "By your leave, my Lord" ト云フ意味デアル。拜火拜物モナス。天體崇拜、自然物崇拜、鳥ハバタラト云フ小靑鳥及ビメイルーバト云フ鳶又ハ鳥ノ一種ヲ限ツテ崇拜スル。之等ノ崇拜祈禱ニ當ル僧ハ北方デハカタロナ、「ヴイサヤン」人間デハバイラント呼バレル。

彼等土人ハ地球ガ空ト鳶ト海トカラ生ジタト考ヘル。鳥ガ何度モ海ヲ渡ツテ飛ンデモ着陸スベキ何モノヲモ見出サナカツタノデ、空ト海トガ戰ツテ鳥ニ大キナ岩ヲ投ゲサセ之ヲ耕ヤサシメントシタ。之等ノ岩ガ島ヤ地球トナツタノデアルト。

人間ノ起源ハ竹ノ二ツノ丸太ガ波ニ押サレテ海ニ投込マレ鳶ノ足ノ許ニ來タ。鳶ハソレヲ銜ヘタ。スルト一方ノ丸太カラ男ガ他カラ女ガ生レ玆ニ一夫一婦制ガ生ジタト考ヘルノデアル。一家族ノ喧嘩ニヨツテ人種ノ世界擴大ガ生ジタ。父母ハ子ヲ家カラ追出シ、アルモノハ家ノ中ニ隱レテ居リ其處カラ主長制ガ生レタ。或ルモノハ外出シテ自由民ノ祖トナリ他ハ奴隷トナツタ。追放サレテ歸ツテ來ナカツタモノハ他民族ノ祖トナツタト考ヘル。ソレ故彼等ハ「スペイン」人ガ來島シタ時ニモ之等ノ者ノ子孫ダト考ヘタ。更ニ人間ノミデナク、他ノ動物ノ起源モ他ノ竹ノ丸太ニアルト考ヘルノデアル。

彼等ハ神ニ供物ヲ捧ゲ又ハ前デ矢ヲ射ル。其他鰐ヲ尊ビノノ（nono）ト呼ブ、又ハ祖父トモ云フ、僧侶ガ之ヲ大切ニスル。水浴ノ時ハ園ヒヲシテ鰐ヲ防グ。マノボスハ光ヲ尊敬シ雷ヲ信ズル。雷鳴ハ稻妻ノ聲トスル。「ヴィサヤン」ハ戰爭デ又ハ鰐ニ殺サレタルモノハ divata（守護神）ニナルトスル。耕作、子供、家庭等ノ各守護神ヲ

考へ祖先ヲモ崇拜スル。其他、虹ニナルト云フ信仰モアル。

彼等ハ亦タ原罪ヲ信ジ未來ノ罰及ビ報ヒヲ考ヘル。死ハ夜ニ「ラオン」神ガ美シキ魚ヲ有シ又果實多キ木ヲ有シテ居ル處ニ犯罪者ガ其ノ魚ヲ殺シ木實ヲ盜ンダタメニ人間ニ與ヘラレタルモノト考ヘル。「マホメット」教及ビ「スペイン」ノ到來セル時土人ハ徐々ニ拜物教カラ人格神崇拜ニ移リツツアツタ。

比島ノ住民ハ必ズシモ蠻人デハナイ。「スペイン」ガ十六世紀到來スルマデニ蠻性ヲ除イテ居ル。彼等ハ自身ノ文化ヲ有スル。「スペイン」前ノ文明ニ於テ日本ノ移住民ハ殆ド農耕者、鑛山勞働者、製造工業者、採金者、鍛冶屋及ビ一般ニ工業ノ匠デアツタ。「マロロス」ハ日本ノ重要ナル取引根據デアツタ。「イロコス」ノ鑛山ニ働イテ居ル中ニソノ勤勉サハ「イロカース」ノ性格ニ大イニ影響スル處ガアツタ。「カマリネス」ノ「ビコール」國ニ於テ彼等ハ自己ノ貿易ヲ押進メ「タール」ノ定住地カラ全州ニワタツテ取引ヲナシタ。

「マレイ」土人等ハ日本人カラ武器製造ヲ習得シタ。「イロゴット」人ハ精神的ナ仕事ノ技術ヲ習ツタ。

支那人ハ此ノ島ノ海岸地方ヲ仲買人及ビ商人トシテ旅行シ強盜ノ危險ヲ犯シテ取引シタ。土人ノ產物ト「バーター」式ニ取引ヲナシタ、ソレハ主ニ Sinamay cloth, Shark-fin, balate (trepang) Signey Shells 食用ノ鳥ノ巢、金飾等、貝殼ハ「シヤム」デ貨幣ニスルタメニ用ヒラレタ。北東ノ「モンスーン」ガ吹クト「ジャンク」船ガ來、南西ノ「モンスーン」ガ其レヲ吹キ返シタ。支那人モ日本人モ島ヲ征服スルトカ土人ヲ從ヘル等ノ要求ハ有シナカツタノデ比島土人等ハ無意識ニ之等人種ノ優レタ影響ヲ受ケル事ガ出來タ樣デアル。

「バタンガス」ノ敎區僧（「フランシスカン」修道僧）ハ半生ヲ此ノ殖民地デ送リ、比島土人ノ（殊ニ「マレイ」土人）性格ニ就テ述ベテ居ルガソレニヨレバ比島ノ土人トヨーロッパ人トノ推理ハ非常ニ異ルノデ二人種ハ何時モ衝突スル。土人ハ往々滿足シテ長年歐人ノ主人ニ仕ヘルガ其ノ後突然犯罪ニヨッテ盜賊トグルニナリ家族ヲ殺シ家ヲ奪略スル。以前忠實ダッタ下僕デ犯罪ヲ行ヒ咎メラレルト興奮シテ居タ事ヲ口實トスルモノガ少クナイ。路上ノ殺人、盜ミデ捕ツタ時ニハ自ラ惡漢デハナクテ只其ノ「グループ」ニ招カレタノデアルト云フ者モ居ル。

主人ハ賭博ヲ好ミ約束ヲ破リ亦タ行爲怠慢ガ甚ダシイ。如何ナル偶然ノ事故ヲモ隱サントスル。多クノ他ノ非歐人種ト共通ニ寬大ヤ正義ノ謙讓ハ弱サノ結果デアルト考ヘル。

若シ人ガ土人ニ二十仙ノ禮ヲナシテモソレガ普通ノ相場ナラ何モ云ハナイガ若シ三十仙拂ヘバモット支拂ヘト主張スル。「ルソン」デハ土人ハ有難ウト云フ（Salámat-pó）ガ「バネイ」及ビ「ネグロス」デハ有難ウト云フ言葉ガナイ。若シ土人ガツマラヌモノデモ欲スル時ニハ彼等ハアル時ニハ嘘ヲ交ヘテ長々話ス。例ヘバ籾ノ欲シイタメニ馬ヲ殺シタリ又ハ母ガ死ンダト云ツテ埋葬費ヲ數回ネダル。母ガ數回モ死ンダト云フ事ヲ平氣デ云フ。

他ノ中流、下流階級ノ土人ノ家ニ入ル前ニハ彼等ハ三度モ云ヒ譯シテカラ入ルガ歐人ノ家ニ來ルト先ヅ周圍ヲ見廻シ私室ニデモ頭ヲ突込ンデ後入室ノ許可ヲ乞フ。マタ下層ノ土人ハ一回呼ンデモ決シテ直グニハ來ズ、五、六回呼ブノガ普通デアル。

盜ヲスル時ニハ欲シイモノダケ盜ム。最モ野卑ナ行爲トサレルノハ就寢中ノ人ヲ股グ事デアル。ソレハ前述ノ如ク睡眠ヲ神聖トスル迷信カラ來ル。「スペイン」時代ニハ母ハ其ノ子孫ニ歐人ヲ惡魔又ハ敵ト思ハセル樣ニ到ル

處デ教ヘタ。泣ク子ヲ默ラスニハ「歐人ガ來ル」ト云フ。

比島人ハ特殊職業ニ執着シテ居ル事ガ出來ナイ。創造的天才モナイ。土人ハ一般ニ家庭的デアルガ妻ヲ必要以上ニ嫉妬スル。マタ彼等ノ特有ナ軍鷄ヲ非常ニ大切ニシテ火事ノ時軍鷄ヲ救ツテモ妻子ヲ省ミヌ等ト云フ事モアル。訴訟事ニハ男女共ニ大ゲサニ興ズル。

「ネグロス」、「パネイ」デハ婦人モ冷淡デアリ、極端ニ裝飾ヲ好ム。若シ歐人ガ「ネグロス」又ハ「パネイ」ノ「ヴイサヨ」ヲ呼ビ出ス時ニハ家族ノ婦人等ハ他室ニ隱レル。又ハ會ツテモ微笑モ會話モシナイ。加之彼女等ハ性格的ニモ興味ガ持テナイ。

「ルソン」土人ノ婦人ハ、ヨリ明朗デハアルガ全島ニワタツテ男ヨリモ貪欲デアル。併シ賢明デ勤勉、家庭的デアル。女中トシテハ役ニ立タナイガ乳母ニハヨイ。

一般ニ比島土人ハ諦觀強クマタ極端ニ忍耐ヅヨイ時モアル。魚、米、煙草ガ主タル要求品デアル。飲酒ハ殆ンド未知デアリ（「ニパ」酒ハ豐富ニ產スルノニ）ヒドク壓迫シナケレバ概シテ忠僕デアル。

彼等ハ臆病ヲ輕蔑スル故ニ勇敢ナ危險ナ大膽ヲ好ミ、支那人ヲ嘲笑スル。海賊、破壞的行爲、血ヲ見ル事ヲ好ム。一度喧嘩ヲスレバ其ノ殘忍性ハ限リガナイ。

一般ニ男女共硬毛デ皮膚毛深ク、兎口ガ普通デアル。女ハ射利的デ金デ雇ハレル。婦人ノ結婚年齡ハ十一歲位カラデ、結婚後モ自己ノ姓ヲ名乘リ時ニハ男ノ苗字ヲ de……トシ附加スル。

夫婦ハ普通何レカノ兩親ト位ニ親戚モ共ニ住ム。歐人ガ土人ノ女ト婚スル時デスラ女ハ宿ナシノ親類ヲ必ラズ連レテ來ル。乳兒ノ死亡ハ多ク夜寢ル時ニハ窓ヲ皆閉デテ惡魔除ケノ短刀ヲ屋根ヤ窓ニ置ク習慣ガ今デモ殘ル。女ハ「スペイン」統治時代其ノ僧侶ノ子ヲ持ツ事ヲ名譽トシタ。彼等ハ資本ガアルト豚ヲ飼ヒ潔癖デ屢々入浴スル。

彼等ガ異國人ト混血スルニ到ルト黑色ノ兄弟ヲ見下シ「キリスト」敎ニ改宗シタ。彼等ハ主ニ支那人、「スペイン」人、「アメリカ」人及ビ他ノ外人トノ混血デ、比島ニハ此ノメスティゾスト純血ノ「フィリッピノス」ガ存在スル。混血者ノ數ハ人口ノ十分ノ一ニ近イ。支那人トノ混血ハ學生、商人ニ多イ。指導的ノ地位ヲ占メ易イ。支那姓名ガ多ク「フィリッピン」姓名ニ結合サレテ居ル。

有名ナ「ホセ・リサール」ハ「スペイン」、支那、日本及ビ「フィリッピン」人ノ祖先ノ名前トナリ、「ケソン」ハ「スペイン」＝「フィリッピン」ノ子孫、「アギナルド」及「オスメナ」ハ支那人トノ混血デアル。「アメリカ」混血ニハ未ダ指導者ガ出ナイ。

二、比島人ノ經濟生活（古代ヨリ「スペイン」統治時代ニ到ルマデ）

比島土人ハ「スペイン」到來以前既ニ早期ヨリ或ル程度ノ自己ノ文明ヲ有シ、農業、漁業、織物、鑛業等ハ一般ノ職業トナツテ居タ。物的財產モ相當アリ、標準度量衡モ行ハレタ。陰曆ヲ有シ或ル程度ノ文字モ用ヒラレ、マタ、成文法、及ビ不文法ガ存シタ。

「スペイン」人ガ到來シタ時既ニ比島土人ハ五十萬ニ達シ、「バランゲイ」トト云フ「グループ」ヲナシテ散在シテ

居タ。其ノ各「グループ」ハ各首領ヲ有シ、相互ニ同盟ヲ結ンデ居タ。

土人ハ早クカラ農耕ヲ生活ノ中心トナシ既ニ甘蔗、「ココ」、椰子、藍、甘藷及「バナナ」種、「タマリンド」、莢豆、麻、木棉等ガ栽培サレテ居タ。果實モ多產デ、「オレンヂ」、「シトロン」、「レモン」及ビ十數種ノ「バナナ」及ビ「パオス」ト云フ「クルミ」ノ如キ青果及ビ生薑モアツタ。

動物等ハ犬、猫、豚、山羊等ガ飼養サレタ。馬ヤ驢馬ハ「スペイン」人ガ支那人其他カラ持ツテ來タモノデアル。家禽モ支那カラ持參サレタ。

農耕ハ「スペイン」ノ比島殖民ノ主要目的デハナカツタニモ拘ラズ「スペイン」人ハ之ニ從事シナカツタノハ不思議デアル。

比島人ハ「スペイン」人カラ物質的方面ヨリ寧ロ精神的方面デ多ク影響サレタ。農耕生活上ニハ「スペイン」當時モ百年後モ大シタ變リハナイ。

比島土人ハ既ニ古代木製ノ「モーター」及ビ杵ヲ有シ、白米精製ヲナシテ居タ。此ノ農業ニ主トシテ從事シタノハ婦人デアル。（現在デハ男子ガナス）、マタ、既ニ灌漑モ發達シテ居リ殆ンド今日ノソレト變リナイ位ノ知識ヲ有シテ居タ。彼等ノ「バランゲイ」ハ此ノ灌漑地ニヨツテ各ニ分配サレテ居タ。土地ノ私有制モ認メラレタ。之ニツイテハ「ロバートソン」ノ「比島」ナル著書ニ及ビ「ロッシャー」ノ「スペイン殖民政策」（一九〇四年出版）ナル著書ニ詳細ニ述ベテアル。

他人ノ土地ハ彼等ニアツテハ、相續、賦與、購入以外ニハ得ラレナカツタ。或ル「バランゲイ」デハ土地ハ原始

所有者カラノ購入ニヨツテ首領ニ屬シテ居タシマタ、他ノ地方デハ首領又ハ幾分カノ首領ガ水產業ヲ獨占シ其ノ權利ハ部下カラ尊重サレテ居タ。山邊ノ土地ハ分割サレズニ「バランゲイ」ノ共有トナツテ居タ。其レ故來收穫ノ時、如何ナル特殊ノ「バランゲイ」ノ個人モ假令他部落カラ來タ者デモ、隨意ニ土地ニ播種シ得タノデアツテ誰モソレヲ抑止スル者ハナカツタ。例ヘバ「ラグナ」等ノ村ニ於テハ貴族ハ首領ニ米ノ百「ガンタス」ヲ支拂フ。其ノ理由ハ彼等ガ其處ニ定住シタ時他ノ肯領ガ其處ヲ占有シテ居タ。ソレヲ新首領ガ買收シタ。ソレデ「バランゲイ」ノ成員ハ彼ニ耕地トシテ支拂ヒ、彼ハ其レヲ分割シテ報酬ヲ得ラレル人々ニ與ヘルノデアル。「スペイン」ノ到來後此ノ風習ハ止ンダ。

更ニ、アル部落デハ首領ハ一定ノ制限內デ漁場ヲ有シ、諸河ノ各部分ヲ市場トスル。其レ故支拂ナシニハ誰モ此ノ區域デ漁業ヤ取引ガ出來ナイノデアル。サモナケレバ其ノ部落ノ首領ノ輩下デモナケレバナラナカツタノデアル。

「スペイン」到來ト共ニ土地ハ殖民者ニ歸セシメラレタ。四年ノ住居後各自ソレヲ私有シ得ルノデアル。印度人ノエンコミエンダスハ此レト似テ居ルガ只、發見者及ビ征服者ニノミ許サレルノデアル。

エンコミエンダスノ起源ハ「レパルテイミエントー」（Repartimiento）ニアツテ初メハ征服サレタ國ノ土地ニ關シテ認容サレタモノデアツタ。

其ノ後其處ニ住ム土人ハ征服者ノ利益ノタメニ、其ノ土地ヲ耕ヤス樣ニ强ヒラレタノデアル。其ノ結果ハ土地及ビ其處ニ住ム土人ヲモ含ムニ到ツタ。

エンコミエンダスノ制度ハ軍ノ秩序ニ屬スル言葉デアツタ。卽チ殖民地ニ任ゼラレル多クノ將校達ノ位階カラ來タモノデ、語源的ニハ指揮者ノ如キ意味デアル。學者ニヨツテハ此ノ語ハ王ノ保護金ニヨツテ容認サレタ、權利ヲ指ス意味カラ來タ卽チ自己ニ歸セラルベキ土人ノ貢物ヲ自ラ樂シミ得テ其處ニ住ム人々ニ與ヘラレル權利ヲ指ス語カラ來タト云フ。

エンコンメデロハ彼ノ土人ニ軍事的保護ヲ與ヘ彼等ヲ政治的、宗教的ニ文明ニ歸依スル事ヲ促ガスト云フ目的ヲ以テ指定サレタ。之ニ反スル者ハ「エンコミエンダ」ヲ失フノデアル。「スペイン」人ノ此ノ機能ニヨツテ比島土人ハ開化サレタ。「エンコミエンダス」ニ於テハ生產設備ヲ持ツ事ハ出來ナカツタ。又「エンコンメデロ」ハ自己ノ家ニ如何ナル住民ヲモ引入レル事ハ出來ナイ。土人ハ自由民デアリ「エンコンメデロ」ニヨツテハ賣買出來ナイ事ガ法律ニ定メラレタ。一五四二年ノ法律デ或ル土人ハ王ニ直接ニ從屬シ他ハ「エンコミエンダス」ニ附屬サレル事ニナツタ。前者ハ稅金ノ三分ノ二ヲ國庫ニ拂ヒ、後者ハ同額ヲ地主ニ支拂フ。

「エンコミエンダス」ハ一人ガ二代ノ間有スル事ガ許サレタ。併シ此ノ組織ハ種々ノ弊害ヲ生ム當局ハ土人保護ノ名ニ於テ自身ヲ肥シタノデ十八世紀ニ至ツテ「エンコミエンダス」ハ排棄サレタ。土地所有者ノ問題ニ關シテハ早期カラ宗教的秩序ト法的秩序ノ間ニ爭ガ續イタ。

「スペイン」到着後此ノ農地ノ組織ニツイテハ後述スル事ニシテ次ニ同シク比島ノ產業ノ重要部分ヲナス水產業ニツイテ少シク述ベルト比島土人ハ早クカラ既ニ此ノ業ニ從事シタ。「マヂエラン」ノ到着當時漁船ガ既ニ多クノ「サラムバオ」及ビ微妙ナ網ヲ用キタ。網ノ目ハ正確ニサレ、魚ノ供給ハ過剩ニナラヌ樣ニ注意サレテ居ル。夜漁

モサレル。「スペイン」到着前日本カラ漁業文化ノ技術ガ渡來シタ樣ニ思ハレル。日本人ハ彼等ニ鴨及ビ輸出用ノ魚類ヲ養殖スル事ヲ敎ヘタ。比島ノ河及ビ海ハ之ニ適シタ樣デアル。今日ノ水產業ハ日本人ノ啓蒙ニヨル點ガ多イ。

小魚ノ養育ニハ「タンク」ヲ用ヒル、其他鯆（「ハララゴ」）土人ハ圍ヒヲ作ツテ魚ヲ其ノ中デ取ル。標木ヲ用キテ包圍ヲ作ル。（「ベシユコス」ト云フモノニヨツテ作ラレタ）魚ハ小枝デ編ンダ「バスケット」ノ中ニ採入レ多クハ attarrayas ヲ用キル。esparaveles（丸網、之ハ河其他狹イ所デ用キル）及ビ barrederas（小魚ヲ取ル網ノ目ノ細カイモノ）及ビ鉤針ト繩ヲ用キル。

眞珠貝養殖モ古クカラアリ、他國ニ輸出サレル。主ニ「カラミアンス」ニ於テ行ハレタ。小型ノ楯程ノ眞珠モアツタ。土人ハ眞珠デ工藝モナシタ。其他到ル處ニ海龜ガ居リ其ノ甲ヲ利用シテ支那ヤ「ポルトガル」其他ニ輸出シタ。

其他渦卷貝ガ處々ニ見出サレタ。(Signei. ト云フ）之ハ「シヤム」、「カムボヂヤ」、「パンタンス」及ビ他ノ大陸ニ輸出サレタ。マタ之ヲ貨幣トナシ之ヲ用キテ取引ヲナシタ。「メキシコ」デハ椰子ノ實ヲ用キタ。

鑛山ニ關シテハ多クノ地方ニ虎帕及ビ麝香ヲ產シタ。マタ金山ガ多ク、主ニ「パンガシナン」及ビ「バラカル」、「パンパンガ」等ニ存シ含有金鑛山ガ最モ多カツタ。土人ハ古昔カラ之ヲ發掘シテ居タ。併シ「スペイン」ノ到來以來土人ト祖先傳來ノ金塊ヤ寶石ニ滿足シテ發掘ニ熱ヲ有タナクナツタ。土人等ハ金ノ鎖ヤ腕輪ヲ有スル事ヲ誇トシテ居タ。

「カマリネスノ」地方「バラカール」ニ於テ金鑛ガ發掘サレタ。銅ト金トガ混合サレテ居タ。之等ノ製品ガ「イロコス」ニ於テ取引サレタ、此ノ地方ノ山地ニハ多クノ土人ガ住ミ後年迄モ侵入サレズ、從ツテ服從モ行ハレナカツタ。之等ノ土人ハ富メル鑛山ヲ有シ多クノ金銀ヲ含有シタ。彼等「イロゴット」ハ此ノ金ヲ「イロコス」ト取引スルタメニ山ヲ下リ米ヤ豚、「カラバオ」、布及ビ他ノ商品ト交換シタ。「イロコス」ハ此ノ交換品ヲ修正シテ一般ニ用キタ。「イロゴット」ノ此ノ發掘ノ仕方ニツイテハ明瞭デハナイ。何故ナラ「イロゴット」ハ「スペイン」人ガ之ヲ探シニ來テ取去ル事ヲ極度ニ恐レタタメ祕シテ居タノデアル。

「ミンダナオ」ニモ多クノ金鑛ガアル。「セブー」ニモアリ、「タリボン」ト云フ良質ノ金鑛ガ發掘サレタ。若シ「スペイン」人ノ勤勉及ビ努力ガ之ニ注ガレレバ生產ハ著ルシカツタカモ知レナイガ彼等ノ注意ハ多ク他ノモノニ注ガレタノデ進歩ガナカツタ。

比島土人ハ腰ニ短刀ヲ持チ尖ツタ刃ヲ有シ長サハヴァラノ三分ノ一位デアツタ。束ニハ金又ハ象牙ヲ用キタ。鞘ハ開キ二ツノ交錯セル突出ヲナシ此ノ短刀ハバラオス bararaos ト呼バレテ居タ。兩端ガ切レ木又ハ象牙ノ鞘ガ付イテ居タ。現在デハ全ク失ハレ名前モ忘レラレタラレテ居タ。

彼等ハマタ火繩銃ヤ「マスク」ヲ巧ミニ用キタ。青銅ノ長砲ヲ用キテ要塞ヲ守ル事ハ「スペイン」到來前既ニ用キラレテ居タ。

土人ノ首領及ビ「ダトス」ハ絹ヲ纏ヒ豪華ナ生活ヲナシタ。海岸地方ノ人種ノ多クハ綴字法ニヨツテ交通シタ。彼等ガ早クカラ外部民族トノ交通ニヨツテ高キ文化ヲ有シテ居タ事ハ彼等ガ發火武器ヲ有シタ事ニヨツテ推定サレル。彼等ハ大砲ヤ火藥ヲ作ル事ヲモ知ツテ居タト思ハレル。最初ノ大砲工場ハ「パンバンガ」カラ比島土人ガ監督ニ來テ「スペイン」人ガ製造シタ。

彼等ハマタ椰子木カラ多量ノ酒ヲ作ツタ。其他「ブランデイ」ヤ酢ヤ蜜ヲ採ツタ。彼等ハ「ココ」椰子ヲ代用食トシ殻デ皿ヲ作リ葉デ「バスケット」ヲ作ツタ。

織物モ「スペイン」到來前早クカラ行ハレタ。殊ニ木棉ハ支那其他ニ賣ラレタ。更ニ「バナナ」ノ葉カラハ Medrinaques ト云フ衣ヲ作ツタ、其他帆ヲ木棉布デ編ム。木棉ハ「スペイン」ノモノヨリモ品質ガヨカツタ。其他 Matntsa ト云フ布モ「イロコス」カラ產シ王ヘノ貢物トシテ居タ。

木棉ノ外ニ「アバカ」又ハ麻ノ纖維デ織物ヲナシタ、Piña 及ビ支那カラ輸入サレタ絹デモ衣服ヲ織ツタ。婦人ハ「レース」及ビ刺繡ヲ知ツテ之ヲ職業トナシテ居リ、器用ナ手藝ヲナシタ。

「フイリッピン」土人ガ流浪民デナイ事ハ今日ノ樣式ニ類似ノ家ヲ建テル事ニヨツテモ知ラレル。彼等ノ家ハ木造デアリ原板及ビ竹デ作リ地上カラ高ク丸太デ支ヘテ居ル。室ハ小サク屋根ハ低ク低イ部分ニ棒竹デ垣ヲ作リ禽鳥ヤ家畜ガ養ハレ米ガ搗カレル。

室ニハ二本ノ竹製ノ梯ヲ上ツテ室ニ入リ棧敷ガアリ (batalanes) 父子共ニ此處ニ住ム。室內裝飾ハ少ナイ。首領ノ家ハ木ノ上ニ立テラレ、多クノ室及ビ夜具ヲ有スル。材木及ビ厚板カラ成ル。屋根ハ「ニパ」ヲ以テ葺ク。

土人ノ家ハ海岸ヤ河ノ間ニ作ラレ土人ハ集合シテ住ミ米ヲ作リ椰子木、「ニパ」、「バナナ」等ヲ共有シ漁リ、漕

舟等ヲナス。

以上ノ外、火藥ヲ製造スル事モ行ハレ食鳥ヲ獲テ之ヲ支那方面ニ輸出シ鹿ヲ獲リ日本ニモ輸出スル。

此ノ古代ノ勤勉ガ「キリスト」教ノ侵入ト共ニ怠惰ニ忘レラレテ了ツタ。其ノ第一ノ理由ト多クノ戰ニヨッテ國內秩序ノ亂レタル事デアル。

第二ニ造船ノ影響、更ニ「エンコンメデロス」ニヨル虐待ニモヨルノデアル。

併シ「スペイン」ノ到來ニヨッテ人種間及ビ各町間ノ爭、紊亂及弱少貧窮ノ者ガ權力者ノ掌中ニ左右サレル事ガナクナツタ。

次ニ比島ノ製船業ニツイテ少シク述ベルト比島ノ土人ハ既ニ早クカラ海國民トシテ北方ニ航海シ太平洋ノ此等諸島ノ部分ヲ互ヒニ所有シテ居タノデアッテ其處カラ船舶ニ適スル諸材ヲ豐富ニ供給シ得タノデアル。

「モルガ」(Antonio de Morga; „Sucesos de las Islas Filipinas") ハ「フイリッピン」人ニヨッテ用キラレタ船舶ノ多クノ種類ニツイテ書イテ居ル。

彼等ノ船舶及ビ「ボート」(丸太ノ「カヌー」) ハ種類ガ多イ。彼等ハ Virey 及ビ barangays ヲ有シタ。ソレハ水中ニ低ク横ハリ速ク輕快ナ船デアリ、小サナ木ノ釘ノ裝置ガナシテアル、兩側面ニ漕手ガ居リ bucceys 又ハ Paddles ニヨッテ船ヲ推進サセル。又ハ games ヲ用キル。

漕手ノ傍ニハ歌手ガ居テ漕方ノ遲速ヲ調節スル漕手ノ上部ニハ「プラットフォーム」ガアッテソレハ竹製デアリ其ノ上ニ漕手ノ邪魔ニナラヌ樣ニ兵士ガ立ツ。船舶ノ包容量ニ從ツテ此ノ「プラットフォーム」ニ立ツ人ノ數ガ定マツテ居ル。此ノ場所カラ彼等ハ帆ヲ處理スル。

帆ハ四角デ「リンネル」製デアリ、二ツノ厚キ竹ノ「マスト」ノ上ニ揭グラレル。船ガ大キイ時ニハ同形ノ前帆ヲ持ツ。風ノ荒イ時ニハ兩帆ガ下グラレル。船尾ニハ舵手ガ立ツ。暑イ時及ビ雨ノ時ニハ椰子ノ葉デ編ンダ日除、雨除ケヲナス。(Cayanes ト云フ) 大型ノ部厚ノモノデアル。

更ニ船ノ兩側ニハ竹ノ緣作リガナサレテ居リ水ヲ掠ル船ノ平衡ヲ保ツ。ソレハ水ガ船體ニ充チテモ (甲板ハナイ) 沈マナイ樣ニ防禦トナル。以上ノ船ハ古代カラ用キラレタ。彼等ハ此ノ他 lapis 及ビ tapagnes ト云フ船ヲ有シタ。彼等ハソレヲ用キテ商品ヲ運ビ河及ビ「クリーク」ヲ渡ツタ。

普通ニ用キラレル船ハ前述ノ barangay 及ビ Virey デアリ乘組員ヤ戰士ハ少ナイ。今デハ木釘ノ代リニ鐵釘ヲ用キル。舵及ビ機首ハ「キカスティリアンボート」ノ如キ舳先ヲ有スル。

「フイリッピン」人ハ航海ニ巧ミナ「マリアナ」ノ住民ノ如ク退行的デアル。現在デハ總テ歐式ヲ倣フ。百人ノ漕手ヲ一側面ニ持チ三十人ノ兵士ヲ有スル事ハ中止サレタ。古代原始的ノ方法デ二千噸ノ船ヲ作ツタノニ「スペイン」到來後無用ノ巡洋艦ト交換サレテ了ツタ。

河ハ防止サレ島內部ノ航海ハ政府ノ內氣ナ疑深キヤリ方ニヨッテ作ラレタ妨害物ノタメニ減少シ現在デハ過去ノ航海的建築ノ名殘ガ殆ンドナイ。

「スペイン」人ハ素材ノ豐富ナノヲ利用シテ大船舶ヲ作リ造船所モ方々ニ設ケタ。「フイリッピン」人ハ勞役ヲ强ヒラレタ。「スペイン」ノ世界最大ノ船舶モ比島內デ造ラレタ。「ガレオン」船製造ニハ相當ノ壓政モ行ハレタ。船

船製作ニ於テ支拂ハレタ「フイリッピン」人ノ犧牲ハ直接間接ニ莫大デアッテ之等ニ從事シタノハ主ニ「インドネシア」土人デアッタ。彼等ノ語デカガラネス又ハバンデュイスト呼バレル大工トナッタ。マタハ木樵トナリ一ケ月七・八比現金デ支拂ハレタ。「マスト」ヤ帆桁ヲ作ル者ハ一ケ月八比支拂ハレタ。食糧ハ二回分給與ダッタ。

一「ギャレオン」ガ作ラレルノニ大工ガ一千四百人使用サレタ。他方ニ多數ノ過激勞働ニヨッテ犧牲トナッタモノガアル。五年間何ノ補助モ與ヘラレナカッタノデ多數ノ逃亡者ガ出タ例モアル。最後ニハ「キャビテ」ノ造船所ニハ二百人以下ノ大工シカ殘存シナカッタト云フ。之ハマタ國庫ニ財政ガ赤字ダッタタメ支拂ノナサレナカッタ事ニヨル時モアッタ。マタ首領ガ支拂ヲ受取リソレヲ土人ニ與ヘズ自分デ握ッテ居タ事モアッタ。

此等ノタメ一七世紀ニ至ッテハ「バンバンガ」地方ニ大暴動ガ起ッタ事ガアル。之等ノ史實ニツイテハ Sebastian de Pineda : Philippine Ships and Shipbuilding 一六一九ニ詳述サレテアル。

三、「スペイン」統治時代ノ比島及ビ比島人

イ、內　政

前述ノ如ク一五一九年「スペイン」ハ「マヂェラン」ヲ長トスル大規模ナル「アジア」遠征艦隊ヲ組織シテ「サン・ルカル」ヲ解纜シ一五二一年人類史上最初ノ世界一週ヲナシ得タ。卽チ彼等ハ西進シテ南米ヲ經、其ノ南端「マヂェラン」海峽ヲ迂回シテ一五一三年「バルボア」ノ發見セル太平洋ニ出テ更ニ西航シテ南太平洋群島ノ一島嶼ニ寄港シ島民ノ襲撃ニ會ッタソデ其ノ島ヲ「ラドロン」島（海賊島）（現在「マリアナ」群島）ト命名シ（尤モ比島ハ初メ Islas de las Velas＝「スペイン」語デ Sails ノ意味ト名付ケラレタノデアルガ後年「レガスピ」將軍ガ「ラトロン」ト呼ンダノデアルト云ハレル）更ニ西進シテ比律賓群島ニ到達シタ。

彼等ハ「ヴイサヤン」群島ノ「サマル」ニ到リ「セブ」ニ上陸シ更ニ「マクタン」島ニ行キ此處ニテ「マヂエラン」ガ戰死シタ事ハ周知ノ如クデアル。

一五六五年當時「メキシコ」ノ行政委員長ダッタ有名ナルレガスピ（Miguel lopez de hegazpi）ガ比島大遠征艦隊司令官ニ任命サレ、「セブ」ニ來リ其處ニテ「ポルトガル」ノ東洋艦隊ト戰ッテ破リ爾後比島總督トシテ經營ニ當リ一五七一年「マニラ」ヲ行政中心トナシタ。カクテ一六〇〇年以前ニ、「モロ」族ノ「ミンダナオ」ヲ除イテ「スル」島、「バラワン」等ハ平和裡ニ「スペイン」ニ歸シタノデアル。

「レガスピ」ト共ニ五人ノ「オーガスティン」派ノ僧ガ來タ。其後一五七七年「フランシスカン」ノ僧ガ、次イデ一五八〇年ニハ「ジェスウィット」派ガ、一五八七年ニハ「ドミニカン」派ノ僧ガ續イテ來タ。當時ノ比島ハ非常ニ貧シク產物ハ前述ノ如ク、米、「ココ」椰子、甘蔗及ビ豚、家禽デアッタ。「スペイン」人ハ到來ト共ニ土人ニ火ヲ教ヘタ。彼等ハ好戰的デ武器ヲ各自、常ニ持チ歩イタ。土人ハ「スペイン」占有後百年間ハ減少シタ。

婦人ハ故意ニ不姙トナッタ。或ル者ハ生レタ子ヲ海ニ棄テ、歎キノ世カラ解放サセヨウトシタ。十七世紀ニ到ッテハ惡疫ノ流行ニヨッテ更ニ減少スルニ至ッタ。ソレデ「スペイン」統治ノ初メ政府ハ貢物ノ支拂ヲ課スル事ガ出來ナカッタ程デアル。當時敎區僧侶ヲ有スル市街ハ九ッ有シ敎會ハ石造デ若干ノ屋根ヲ有チ六ッノ市街ニハ竹ト葦デ葺イタ公會堂ガ存シタ。

兎ニ角以上ノ如ク「レガスピ」ガ統治ノ中心ヲ「マニラ」ニ移シ權力ノ擴大强化ヲ圖ツテ以來三百三十年間ニ及ビ「スペイン」ノ比島統治ノ基礎ガ確定シタノデアツテ七年戰爭ノ間、英國ガ比島ヲ占據シタ以外ニハ全ク「スペイン」ノ掌中ニアツタ。「スペイン」ノ盛時ニハ比島ハ其ノ帝國ノ一部トシテ「スペイン」ノ威力ハ南北「アメリカ」ノ大部ニ及ンダノデアル。

「スペイン」統治ハ宗教ニヨル偉大ナル成功ヲ獲得スルト共ニ之等僧侶ト官吏トノ反目、僧侶間ノ勢力爭ヒ、墮落腐敗ノタメニ人心ヲ失ヒ最後ニハ比島其ノモノヲモ失フニ至ツタノデアルガ、比島ニ於ケル僧侶ノ勢力ハ其ノ本國デ、「カトリック」敎ノ强大ナルタメニ其ノ影響ヲ受ケタ一方、行政長官タル歷代總督ハ屢々更迭ヲ見、其ノ勢力ヲ張ル機會ガ少ナカツタノニ反シ其ノ大僧正ノ地位ハ變化ガ極メテ稀デ土民間ノ事情ニモ精通シ政府ト人民間ノ中間ニアツテ問題アル毎ニ和解ノ勞ヲ取ルト云フ有樣デアツタカラ信望ハ日ニ加ハツタ。

カカル宗敎全盛時代ニ更迭甚ダシキ總督ハ誅求ヲ事トシ部下ノ官吏ガ土民ニ對スル態度ハ愈〻露骨トナリ更ニ地方僧侶ノ橫暴ハ大僧正、總督スラ手ノ付ケラレヌ有樣デアツタ。「レガスピ」カラ一八九八年「パリ」條約ニ至ル三百二十八年間、總督更迭ハ實ニ百十五回ニ及ビ官吏ト僧侶ノ墮落橫暴ニヨツテ自滅スルニ至ツタノデアル。

偖テ「レガスピ」ハ其ノ統治ノ始メニハ「ニュースペイン」卽チ「メキシコ」ノ副王 Vice Roy ヲシテ比島行政ヲ管理セシメ總督ノ任免權モ之ニ屬セシメラレタ。「レガスピ」ハ更ニ最高顧問トシテ Andres Urdaneta（僧將校）ヲ伴ツタ。總督ハ事實上比島ニ於テ「スペイン」王冠ヲ意味シ「ローマカトリック」敎會ノ僧正ハヨリ以上ノ權威ヲ有シテ「ローマ」ノ宗敎使命ヲ實現シタ。僧侶ト兵士トノ勢力ガ「スペイン」統治時代如何ニ大キイモノデアツタカハ

史上ニ明ラカデアル。總督及ビ他ノ將校ヲ拘束スル唯一ノ制度ハレジデンシアト云ヒ「スペイン」人ノ考案ニヨル比島官吏任期間ノ監督機關デアツタ。

比島ハ「スペイン」ノ殖民地トシテ「フイリツピン」人ハ極ク僅少ノ公設ノ限度ニ於テノミ公職ニ就ク事ヲ許サレタ。要スルニ比島政府ハ「スペイン」人ノ爲ノ「スペイン」ニ變リナク一時、政府ノ內亂ニヨツテ比島人ハ「スペイン」法廷ニ名義上ノ代表權ヲ許サレタ。更ニ土人ノ保護法モアツタガ總テノ法律ハ「スペイン」人ニヨツテ作ラレタノデアル。

「スペイン」人ハ比島人ヲ「インデイオス」ト「メスティゾス」ニ分ケ「スペイン」トノ混血（メスティゾス）ノミ「スペイン」官吏ト同一視セントシタノデアル。併シ刑法上ノミナラズ凡テ法律、習慣上爭ヒガ絕エナカツタ。

比島總督トシテ三年間比島ニ居タ「ワイラー」ナル者ハ歸國ニ際シ二百五十萬弗乃至三百萬弗ノ私財ヲ作ツタト云ハレル。

「レガスピ」總督ハ土人ノ「バランゲイ」ノ政治社會組織ヲ基礎トシテ軍政ヲ布イタ。先ヅ諸州及ビ軍事的地方ヲ分チ此ノ各々ヲ前述ノ如ク「エンコミエンダス」ト名付ケタ。卽チ封建制ノ一種デアリ、「マホメット」敎族ノ侵入ニモ備ヘルタメデアツタ。「エンコミエンダス」ハ「スペイン」人ノ功勞者ニモ與ヘラレタ。十八世紀ニハ三十四州ト二軍事指揮官トヲ有スルニ至ツタ。

時ノ經過ト共ニ此ノ軍政ハ法的政府ニ代ヘラレアルカルド、ト呼バレルニ至ツタ。「アルカルド（Alcaldes）ハ裁判官デ貿易權ヲ有シ年六十磅以上ノ小額ヲ給與サレタ。「アルカルド」ハ徐々ニ貿易ヲ獨占シ不當利得ヲ得タ。彼

等ハ賣買値ヲ勝手ニ定メ時價デ賣ル。併シ十九世紀ニ至ツテ漸ク官吏ノ貿易ガ禁止サレタ。裁判權ト民政權ガ同一人ニ歸サレタタメニ失政ガ行ハレタノデ、「マリヤクリスチナ」女王時代之ガ排サレ「アルカルド」ノ權限ハ裁判權ノミトナツタ。

一八八六年ニ至ツテ十八人ノ民政府ガ創設サレ、「アルカルド」ノ機能ハ著ルシク制限サレ更ニ民政府ハ顧問ヲ置キ各州ニ配置サレタ。全島ハ七十區劃及ビ其ノ副區劃ニ分タレタ。

地方各民政官ハ總督ノ代表トシテ其ノ命令及ビ條令ヲ自己ノ判斷ニ於テ公表シ施行シ亦タ、許可ナシニ自己ノ州ヲ留守ニスル事ハ出來ナカツタ。更ニ港灣ノ取締、土人ノ統治モナシ地方財政、產業、衞生ニ關與シタ。併シ自己ノ地方ノ修道僧トノ折合ハ最モ必要デアツタ。彼ハ租稅ヲモ司ドリ特民政官ハ三十歲以上ノ「スペイン」人ニ限ラレ「スペイン」議會ノ一期間ノ成員デアツタ。

ニ Cayà de Comunidad ト云フ共同生活ノ緊急ニ充テル稅ハ大抵私消シタ。

道路ハ一般ニ六十%マデハ惡カツタノデ男子成年者ハ一年ニ十五日間、必ズ道路工事ノ勞役ニ從ハネバナラナカツタ。之ニ就カヌ者ハ一定ノ支拂ヲ要求サレタ。十九世紀ニ於ケル之等道路ノ費用ハ百二十萬比デアツタト云ハレル。

要スルニ各州ノ長ハ土人ノ「サルタン」制ト同一デ其ノ呼稱「ダトス」ガ其儘用ヒラレテ居ル處モアツタ。彼等ハ普通十ケ年位勤務スル習慣デアツタ。

地方ノ納稅ニ於ケル失政（部落ノ人民ガ支拂ヘヌ事）ニヨツテ彼ハ入獄モサレタ。各地方ニ罪人ヲ捕ヘ治安ニ努メル設備及ビ告訴ノ機關 Cuadrilleros 等ガアツタガ盜賊ノ罪等ハ時々看過サレタ事モアツタ。

十九世紀ニ至ツテ初メテ行政組織ガ完備シ土人ハ一年一比十仙ノ貢物ヲ要求サレ勤勞奉仕ヲ一年ニ四十日セヌ者ハ年三比支拂ハサレタ。

Governadorcillo 及ビ Directorcillo ノ稱號ハ Capitan Municipal 及ビ Secretario ニ變ヘラレタ。マタ、地方判事ノ機能ガ擴大サレ平和ノ維持者ヨリモ寧ロ刑罰ノ創造者ノ如クニスラナツタ。マタ、地方旅行者ニ對シテ供給サレル種々ノ義務モ放棄サレタ。

比島ノ軍組織ハ一五九〇年「マニラ」ニ城壁ガ築カレテ以來組織的ナモノトナツタ。以前各兵士及ビ將官ハ隨意ナ場所ニ住ミ隨時召集サレタ。

十六世紀ノ終リニ兵營（「バラック」）ガ設ケラレ十九世紀ノ半バマデ土人軍隊ハ支給ガ少ナカツタノデ彼等ハ乞食ヲシテ歩イタ程デアツタ。

十七世紀間ニ於テ、「ミガダナオ」ノ「イリガン」要塞デ困苦缺乏ノタメニ死亡セル土人兵ガ多カツタノデ以後將校ハ月二比ヲ土人兵ハ一比ヲ受ケル樣ニナツタ。（「マホメット」教族ノ攻擊ニ備ヘル事ヲ中心トシタ）。

「バラワン」島ニオケル要塞デノ兵士ノ生活ハ最モ悲慘デアツタ。「メキシコ」ノ兵士ハ殊ニ生活ノ規則モナク將校ニモ定給ナク、盜ミモ許サレタ。

正規ノ軍隊ガ完全構成サレタニノハ一七五四年總督 Pedro manuel de Anandia ノ時デアツタ。一聯隊ニ土人兵ノ五中隊、及ビ騎兵四中隊ガ屬シ、二大隊十中隊ニ分レタ。

二十中隊ニハ一陸軍大尉一中隊、少尉、四兵曹、二皷手、六第一伍長、六第二伍長、八十八下士卒ガ屬シタ。

一七五四年以來兵站部將校モ任命サレ各將校ハ定給ヲ受ケタ。

併シ住々兵士等ハ支拂ハレナカツタノデ脫走兵ガ出ル事モアツタ。

森林ノ視察ニハ六十四人ノ技術者、五十二人ノ非技術者ガ屬シ消費全額ハ十六萬五千九百六十比ニ及ンダ。木材供給契約ヲナス商人ハ取引ノ利ヲ考ヘズニ課稅サレタノデ一定期間ニ利益ヲ得ラレルカドウカハ疑問デアツタ。海軍主力ハ「キヤビテ」ニアツテ設備ノ將校ガ提督トナリ、十九艦隊ガ防備ニ二百四十四艦隊ガ豫備ニ用キラレタ。

將校ハ凡テ九年後ニハ引退スル事ヲ常トサレタ。歸國旅費ハ無償デアツタ。ソレ以前ニ止メレバ通行稅ヲ拂ハネバナラナカツタ。

ロ、商業及ビ貿易

比島ハ前述ノ如ク量初「マヂェラン」ニヨツテ歐人ニ知ラレタノデアルガ既ニ「スペイン」ノ到來前早期カラ、支那日本、「ボルネオ」共ノ他ト交涉ガアツタノデアリ、十三世紀ノ頃支那ノ文獻ニヨレバ支那ト「ルソン」間ノ通商ガ行ハレ、生蠟、眞珠、龜ノ甲殼、呉服、蔴醬(サンマ)等ヲ輸出シタ事ガ見エテ居ル。支那ノ地理學者趙如活ノ著作ニモ(十三世紀頃)比島貿易ヲ取扱ツタ部分ガアル。

外國ノ貿易者ガ陶器、金製品、鐵花瓶、鉛製品、ガラス製品、眞珠、鐵針、黑緞子及ビ他ノ絹製品、魚網及ビ錫、籐杖ヲ持參シタ事ヲ書イテ居ル。併シ取引ハ十三世紀ヨリ遙カ以前ニ溯リ得ル。前述ノ如ク「ヒンヅー」ノ影響ガ「マレイ」ノ「ペニンスラ」カラ「ジヤバ」及ビ其他ノ島々ヲ通ツテ來タ。「ヒンヅー」ガ就中影響ノ深カツタ事ハ「スペイン」ノ到來當時用キラレタ多クノ梵語ニヨツテモ證明サレル。

比島人ハ前記ノ物資ト交換ニ木綿(「カボク」)、黃蠟、「アバカ」カラ作ラレル「シナメイ」布ノ織物「ココ」椰子、玉葱、及ビ精製セル莚、眞珠貝、黃麻等ヲ送ツタ。

支那ノ商品ガ到來シタ時「マンダリン」ト云フ場所ニ投錨シ其處ガ市場トサレタ。貿易ノタメニ他國貿易者ガ集メラレタ。支那人ハ日本人、朝鮮人、及ビ安南人以外ノ外國ノ未開人ヲ呼集メ商品ヲ「バスケット」ニ入レテ置イテモ紛失ノ恐レガナカツタ。彼等ハ之等ノ商品ヲ他島ニ輸送シ支那カラ同價値ノ商品ヲ運ビ來ツタ。交換ノ主タル方法ハ「バーター」制ニヨツタ。時ニハ金屑モ用キラレタ。

「スペイン」到來ト共ニ內國貿易ハ破ラレ貿易ニ制限ガ加ヘラレ村落間ノ交通モ抑止サレタ。土人ハ一島カラ他島ニ自由ニ移住出來タガ一方貿易ノタメニ島ヲ去ルニハ政府ノ許可ヲ要シタ。其他「アルカルド」ノ首領及ビ判事ノ許可又ハ宗教者ノ許可ヲ要シタ。後ニ之ハ緩和サレタガ制限ハ最近世マデ解カレナカツタ。政府ノ官吏ハ多クノ條令ヲ設ケテ貿易ニ關スル事ヲ禁ジタガ彼等ノ地位ヲ利用シテ自身デハ私利ヲ得タ。卽チ卸賣ニヨツテ島ノ產物ヲ賣リ就中米及ビ他ノ食物ヲ供給シタ。

總督「ロンキル」Don Gonzalo Ronquill ノ來ル以前ニハ全島デ三、四人ノ「アルカルド・マジョール」ガ居タノデアツタ。彼等ハ貧シク安俸給ダツタノデ收獲時ニ土人ヲ提ヘ亦タ他ノ食糧ヲ買ツテ高ク賣ル事ニヨツテ利ヲ得

タ。ソレデ土人ニハ取引ヲ禁ジタタメ彼等ハ自己ノ望ム備デ賣ル事ガ出來タ。

以前ニハ土人ハ產物ヲ門前デ安ク賣リ其レハ外國人ニハ想像モ付カヌ安値デ容易ニ滿足サレタ。「スペイン」ノ到來ト共ニ新ラシイ市場ガ東洋產物ニ對シテ開ケ、「マニラ」ハ間モナク東洋ノ中心トナツタ。商人ハ此處ニ集マリ、更ニ支那、日本、「マラッカ」、「シヤム」、「カムボヂヤ」、「ボルネオ」其他ニ分配サレタ。

支那カラハ三、四十隻ノ船ガ毎年三月ニ十五日乃至二十日ガカリデ「マニラ」ニ來ツタ。ソレデ五月ニハ嵐ノ來ル前ニ歸リ行クノヲ常トシタ。「モルガ」ハ支那カラ輸入サレタ。商品ノ詳細ナ「リスト」ヲ作ツテ居ル。之等ノ船ハ商品及ビ船舶所有ノ富メル商人及ビ在留支那人ノ仲買人ヲ乘セテ支那官吏ノ許可ノ下ニ來ルノヲ常トシタ。

「スペイン」人ニ賣ル商品ハ主ニ生絹、及ビ低質ノ絹、及ビ「ビロード」刺繡織物、及ビ錦、緞子、綸子、琥珀、羊毛製品、交織(「ゴルゴラン」)、「リンネル」(「ピニヤ」)デアツタ。其他白木棉、麝香、安息香、象牙、寢具、帷帳、敷物、耳飾、金屬ノ盤、銅釜、鑄鐵製品、鉛錫、硝石、火藥等デアツタ。

「スペイン」人モ支那商人モ他國人モ共ニ船上デ商品ヲ買フ事ハ禁ゼラレタ。購賣ノ値ハ銀及ビ不動產デナサレタ。何故ナラ支那商人ハ金又ハ他ノ商品ヲ望マズ、亦タ他ノモノヲ支那ニ持行カントモシナカツタ。

長崎カラ日本人及ビ「ポルトガル」人商人ガ來リ小麥粉、鹽、肉、其他針、食用禽鳥、日用家具及ビ果實鑵詰ヲ持來リ、生絹、金、木材、「チベット」猫等ヲ日本ニ持歸ツタ。亦タ「モルッカ」ニ米、酒、他ノ器物等ヲ仕入レタ。

「スペイン」人ハ東洋商人カラ商品ヲ購入シ固有ノ「ガレオン」船ニヨツテ毎年七月「メキシコ」ノ「アカプルコ」港ニ持行キ「メキシコ」ニ賣リ比島ヲ根城ニ巨利ヲ得タ。之等ノ船ハ大砲ヲ備ヘ一千五百噸位デ、總督僧侶市役人、

軍人、私人モ乘セ此ノ船ニヨル貿易ハ「スペイン」統治ノ終、數年前迄續キ、比島ノ商業發展ニ貢献スル處多カツタガ國庫負擔及ビ「メキシコ」分農等ノ政治的事件等デ杜絕エタ。

「マニラ」市ノ商業擴大ニヨツテ東京「カムホヂヤ」、「シヤム」等及ビ「ペルシヤ」、「ベンガル」、「セイロン」等ト交涉ガアリ、集マル人種モ伊、佛、獨、瑞西、東西兩邦印度人、土耳古、希臘、「モロ」、「ペルシヤ」、アフリカ」等ノ廣大範圍ニ及ブニ至ツタ。

併シ征服後最初ノ年間新ラシキ市場ノ中心「マニラ」ノ迅速ナル發展ヲ嫉視シタ「カディス」及ビ「セヴィラ」ノ商人等ハ「アメリカ」トノ貿易ヲ獨占スル事ニ落シテ制限政策ヲ採ツタタメ、從來ノ商業生產ハ殆ンド發展シナカツタ。十八世紀ニハ支那比島間ノ織物、陶器、胡椒等ノ貿易ハ禁止サレタ。支那カラノ木棉及ビ絹布ハ「メキシコ」ニ於テ「スペイン」及ビ「ペルー」カラ來ルモノヨリ安價ニ賣ラレ多クノ銀ガ「スペイン」ニデナク極東ニ流シツツアツタノデ一方「マニラ」及ビ他方「カディス・セヴィラ」ト「アメリカ」トノ間ノ長期ニ亙ル敵對ガ自己ノ利ヲ得ルタメニ活動ヲ續ケ此ノ商業的活潑ハ二世紀以上モ比島ニ於テ繼續シ其ノ經濟的發展ニ影響シタ。

一五九五年七月ニハ支那貿易ガ禁ゼラレタガ、一五九三年ニハ「メキシコ」及ビ比島間ノ貿易ハ既ニ年二十五萬比ニ限ラレタノデアル。(輸出)「メキシコ」カラノ輸入ハ五十萬比ニ限定サレタ。船舶ハ三百噸ノ船荷ヲ越エ又二隻ノ船ニ限定サレ何人モ地ノ國及ビ支那ノ何處ニ於テモ取引出來ズ、如何ナル商品モ其ノ王國カラ比島ニ取引サレズ、支那人ハ自ラノ危險ニ於テノミ商品ヲ送リ得タ。次イデ一七五五年非「キリスト」教支那人ヲ追放シテカラ貿易ハ沈滯シタ。

十七世紀ノ終リニハ「マニラ」ニハ「スペイン」商人トノ商業上ノ論爭ガ絶エナカツタ。

「スペイン」ノ到來カラ一八五七年迄ハ比島ノ通貨ハナク「メキシコ」ノ「ドラー」（「ペソ」比）ノミデアツタ。其他小サナ「スペイン」ノ銀貨及ビ銅貨ガ用キラレタ。其後金貨ガ來リ一七九九年ニハ貨幣ノ輸出ガ禁ゼラレタ。一八三七年ニハ他ノ銅貨ガ「スペイン」カラ來リ一八五七年ニハマニラ・ミントガ定メラレテペセタスガ紹介サレタ。

其後金ハ徐々ニ植民地カラ消失シ多量ニ支那ニ輸出サレタ。

輸入貿易ノ多クハ補助金ヲ下附サレタ「スペイン」ノ船舶所有者ノ手ニアツタ。

輸出ノ大部分ハ外國船ニ運バレ底荷トシテ東部諸港カラ達シタ。

一九〇九年ニハ英國ノ商館ガ「マニラ」ニ設ケラレ一八一四年同ジ特權ガ外人ニモ擴ゲラレタガ原則トシテ「スペイン」人ハ他國人ヲ妬ミ一八二八―四〇年ニ商業禁止令ヲ出シ一八三七年ニハ從來カラノ七港ヲ閉鎖シタガイロイロ及ビセビ兩港ハ一八五五年及ビ六三年再ビ開カシタ。一八八六年ニハ貿易ガ比島ノ物質的利益ニ偏頗的ノモノデアル事ガ宣言サレ、比島ニハ二千―五千ノ「スペイン」ノ商人ガ殘存シテ居タノミデアツタ。

四十七代總督「ヴァルガス José Basco y Vargas ノ比島到來ト共ニ比島ノ經濟史上劃期的ナル事件ガ生ジタ。一ハ一七八一年ニオケル Sociedad Economica de Amigos del Pais デアリ他ハ Real Compañia de Filipinas（一七八五年）デアル。此ノ兩者ハ比島ノ天然資源ノ發展ノ最モ重要ナル試ミデアル。

「ヴァルガス」ハ比島到來ト共ニ此ノ國ヲ從來ノ「メキシコ」依存カラ完全ニ解放シテ經濟的ニ自給自足タラシメントシタノデアル。彼ハ其レ故、木棉、香料、砂糖、及ビ絹ノ耕作ニ優秀ナ成果ヲ得タモノニ賞與ヲ與ヘ更ニ鑛山ヲ掘リ當テタ者ニモソレヲ奬勵シ更ニ、異ナルハ比島收獲ヲ增ス方法ヲ敎授シタ。彼ノ之等ノ經濟計劃ヲ實現スルタメニ彼ハ王ニ經濟的協會ノ建設ヲ勅令ニヨツテ命ズル樣ニ懇願シタ。之ガ一七八二年ニ設立サレタノデアル。併シ之ハ時期尙早ノタメ一八二二年迄ハ沈滯シテ居タ。併シ一八九〇年迄存續シタ。彼ハ更ニ「コーヒ」、砂糖、絹、麻、「カカオ」及ビ他ノ植物ノ栽培ニ關スル「バンフレット」ヲ公ケニシタ。

以上ノ外ニ彼ハ「メキシコ」カラ獨立方法トシテ煙草ノ栽培ヲ考ヘタ。併シ統制ニ關スル政府官吏ノ惡用及ビ貪欲ガアツタ。卽チ密輸出、贈賄等之ニ引變ヘ百姓ノ貧弱等ニヨツテ成功ヲ見ナカツタ。

「ヴァスコ」ノ統治間ノ第二ノ建設（前記）ニヨル會社ノ資本ハ八百萬比ニ定メラレソレガ三十二萬株ニ分タレタ。（各二百五十比）王ハ四千株持チ「マニラ」市民ハ三千株マデ許サレタ。會社ノ主タル目的ハ異ナレル植民地間ニ於ケル商業的關係ヲ建設スル事デアツタ。「マニラ」ニ歐洲ノ產物ヲ供給シ其ノ代リニ「スペイン」ニ比島ノ產物及ビ東洋諸國カラ來ル商品ヲモ持ツテ來ルト云フ組織ト、更ニ第二ノ重要ナ目的ハ比島ノ農業發展ヲ期スル事デアツタ。

會社ヲ補助スルタメ東洋ノ布ヲ「スペイン」ニ輸入スル事ヲ禁ズルト云フ法令ガ廢止サレタ。ソレデ比島ノ產物ハ「マニラ」及ビ「スペイン」ニ於テ凡テノ種類ノ關稅ヲ免レル事トナツタ。

亦、「マニラ」商人ハ「アジア」ノ港ニ取引ニ行キ「マニラ」ニ來タ支那人ハ無制限ニ取引スル事ガ出來タ。併シ古キ「マニラ」ノ「アカプルコ」貿易ハ妨ゲラレナカツタ。何故ナラ此ノ會社ハ船ヲ「アカプルコ」ニ送リ得ナカツタカ

ラデアル。

會社ハ前記ノ諸產物ヲ奬勵スルタメニ特ニ「イロコス」、「バターン」、「キヤビデ」、「カマリネス」等ニ土地ヲ買ヒ受ケ賞與ヲ與ヘタ。

外國人ハ株ヲ有ツ事ヲ許サレ、船ハ直接ニ「アジア」ノ港カラ「マニラ」ニ立寄リ「アジア」ノ商品ヲ輸入シ國ノ產物ヲ輸出シタ。併シ此ノ會社ハ結局比島住民ノ無關心ニヨッテ不成功ニ終ッタ。

直接支那及ビ「インド」支那地方ト取引スル事ナシニ支那及ビ他ノ外國商人ニヨッテ其處ニ齎ラサレタ商品ヲ買フ事デモ依存スル樣ニナッタ結果、東洋商品ニ對シ、ヨリ高キ値ヲ支拂ハネバナラナカッタ。

「ヴァルガス」ノ來ル以前、一七六二年ノ英國ノ比島占領モ經濟的ニハヨキ結果ヲ齎ラシタ。英國ハ比島ノ天然資源ヲ知ッテ其ノ發展ノ可能性ヲ看破シタカラデアル。一八一四年ニハスベテノ植民地ノ港ガ外國貿易ニ對シテ開カレタ。

一八四二年ニ「マニラ」ニハ「スペイン」ノ商船ガ二十九隻存シ其他商館及ビ外人社宅、十二（中、八ッハ英人、二ッハ「アメリカ」人、一ッハ「フランス」人他ハ「オランダ」人ニヨッテ住居サレタ）アリ一八五九年ニハ「マニラ」ニ七人ノ英人三人ノアメリカ人二人ノ佛人「スイス」人一人ノ獨逸人ガ商店ヲ有シ其他イロ〳〵ノ地ニハ英國ノ副領事館ガアッタ。

「イロカノ」洲ノ產物、南部「ルソン」、「ヴイヤサン」、「ミンダナオ」等ノ產物ハ凡テ「マニラ」ニ集メラレ其處ニ輸出サレタタメニ不必要ナ危險ヤ時ノ浪費、費用增大ガ生起シ比島政府ノ要求ニハ一八五五年「イロ〳〵」、「サムボアンガ」ノ港ガ一八六〇年ニハ「セブ」港ガ開イタ。一八三九年ニオケル輸出總額ハ二百六十七萬四千二百二十比トナッタ。（一八一〇年ニハ五十萬ダッタノガ）「アバカ」ハ一八三四年初メテ輸出サレタ。諸港ノ開港ト共ニ「マニラ」デ各生產品ヲ賣ッテ居タ多クノ混血人ハ支那商人ト競爭出來ズ砂糖ノ栽培ニ從事シタ。

物質文明ノ發展ト共ニ獨立批判ノ氣運ガ比島人間ニ起リ更ニ中產階級ノ發展ヲ招イタ。カカル人々ガ政府ノ虐待ニ目ザメテ社會革命ヲ要求スルニ至ッタ。

ハ、日本トノ交涉

日本ト比島トノ早期ノ關係ニ付イテハ以前ニモ少シク述ベル處ガアッタガ、十三世紀末頃カラ所謂倭寇ノ南進策ガ實現サレタ事ハ周知ノ如クデアル。我ガ足利時代、琉球人ノ南洋ニ飛躍シタ記錄モアリ、一五一四年ニハ大友宗麟トノ通商交涉等史上ニ明ラカナル如クデアル。一五七四年ニハ庄公ト云フ日本人ガ支那海賊（「スペイン」人ハ斯ク呼ブ）林阿鳳ト共ニ「マニラ」征伐ヲナシタト云フ記錄ガアル。

卽チ比島ノ「スペイン」總督「レガスピ」ノ死ト共ニ「ラベザレス」Guido de Lavezares ガ第二代總督トナッタガ此ノ時代（一五七四年頃）比島ハ林阿鳳ノ率ユル海賊的探險ニヨッテ其ノ所有ヲ爭ハレタ。林阿鳳ハ天津ノ港ニ生レ早クカラ海賊ノ群ニ投ジ長イ間支那沿岸ノ恐怖トサレテ居タノデアッタガ彼ハ遂ニ比島征服ヲ企テ海ヲ荒シ、「マニラ」カラ船荷ヲ滿載シテ歸リ來レル貿易船ヲ捕ヘ更ニ六十二隻ノ「ジャンク」船ニ二千人ノ船員、兵士千五百人ノ婦人ヲ乘セテ「マニラ」方面ニ向ハシメタ。一五七四年十一月二十九日ニ彼等ハ「マニラ」ニ着キ、林阿鳳ハ副官庄公ヲ送ッテ「スペイン」人ヲ捕虜ニセントシタガ大嵐ノタメニ果セナカッタ。此ノ結果「スペイン」人ハ

「サンチヤゴ」ノ塞ニ逃ゲ林阿鳳ハ「キヤビテ」ノ碇泊所ニ居タ。

此ノ事件後數年ノ間殖民地ノ內政ニ關スル威信ノ問題ガ總督、大審院及ビ宗派間ニ爭論サレ總督ハ反對者カラ其ノ權威濫用ヲ難ゼラレ大審院ハ「メキシコ」ノ方式ニ基ヅイテ其ノ權限ヲ越エントシタ事ヲ難ゼラレタ。併シ此事ニヨツテ法廷ノ組織自身ノ欠陷ガ暴露サレタ。

兎ニ角林阿鳳ノ侵掠後ハ日本人及ビ支那人海寇ニ備ヘテ「イロコス」及ビ「カガヤン」ニ更ニ要塞ガ築カレタガ一五九二年ニハ日支人混成ノ海賊船ニヨツテ再タビ「イロコス」地方ガ襲ハレタ。

「マニラ」ニハ我ガ慶長年間ニ三千餘人ノ日本町ヲ作ツテ居タト云ハレル。明石ノ高山右近、丹波ノ內藤如安父子ハ共ニ「キリスト」教信者トシテ島流シニ遇ヒ「ルソン」ニ渡ツタ。其他支倉常右衞門一行ノ來島モアリ其後十年ニシテ有馬ノ領主松倉重政モ臣ヲ派シタ。

一方「ポルトガル」人ハ十六世紀ニ入ツテ「マカオ」ヲ根城ニ支那ト貿易ヲナシ次イデ我ガ長崎ニ日本町ヲ作ツテ謂ハバ「ポルトガル」商人ノ小植民地ヲ形成シテ居タタメ日本政府ハ「ポルトガル」人ヲ通シテ歐人ガ「ルソン」ニ植民地ヲ有シタト云フ事ヲ知ツタノデアル。一五九〇年ニハ時ノ關白、秀吉ガ比島總督 Gomez Perez Dasmariñas ニ「メツセーヂ」ヲ與ヘ臣下ノ盟ヲ强要シタ。

當時日本商人ハ「マニラ」ニ貿易ニ來テ「デイラオ」ノ村ニ居リ「フランシスカン」ノ修道僧ハ彼等ヲ「キリスト」教化セント努力シテ居タ。

秀吉ハ原田喜右衞門ヲ使節トシテ「マニラ」ニ送ツタガ「スペイン」政府ハ之ヲ丁重ニ待遇スルト共ニ親交以上ノ要求ハ拒絕シタ。此ノ時以來「マニラ」在住ノ日本人ハ武器ヲ沒收サレ市外ニ土地ヲ受ケテ移住ヲ要求サレタ。比島政府ハ一方 Juan coho ト云フ僧侶ト一船長ガ日本ニ送ツタ。彼等ハ秀吉ニ面會シ、日本船ニ乘ツテ日本ノ貴族ト共ニ「マニラ」ニ歸ラントシ難航シタ。

Fray Pedro Bautista ハ原田喜右衞門ニ紹介サレテ太閤秀吉ノ下ニ來リ彼ヲ通ジテ貿易上ノ交涉ヲ結ンダ。彼ハ秀吉ニ日本ニ一定期間住居スル事ヲ許サレ大阪近郊ニ教會ヲ作リ一五九四年ニ傳道ヲ開始シタ。

亦タ長崎ニハ「ジエスウイツト」教僧ノ住居モ許サレ「ポルトガル」商人及ビ其他ノ信者ニ宗教的儀式ヲ行ツタ。Bautista ハ「グレゴリー」十三世ニヨツテ彼ニ與ヘラレタ教團ノ專有權ヲ侵略サレル事ニ反對シタ。之ニ對シテ長崎ノ「ポルトガル」ノ商人ハ之ガ「スペイン」ノ領地征服ノ一ツノ序曲デアル事ニ直チニ感ヅキ長崎奉行ニ申シ出タ。

奉行ハ太閤ノ命令ニ反對シテ日本國內ニ「バウティスタ」ノ傳道ヲ廣メル事ヲ禁止シタ。併シ「バウティスタ」ハ此ノ奉行ノ禁止ニ反對シタノデ長崎カラ追放サレタ。太閤秀吉モ、「バウティスタ」ガ商業、政治上ノ取引ヲ結ブト見セカケテ日本ニ領土的野心ヲ有スルト云フ肚ヲ見透シタノデアル。ソレデ彼ハ他ノ外人ノ宗教施行ヲ禁ジモセズ、「ジエスウィツト」ガ自由ニ長崎其他何處ノ「カトリツク」者ノ住處ニ集マル事ヲモ許可シ更ニ他ノ寺院建築モ認メタ。

「バウティスタ」ハ自己ノ企圖ガ妨害サレタノデ日本船デ直チニ「マニラ」ニ歷航シタ。其頃勅命ニヨツテ日本臣民ニ外國宗教ヲ布教スル事ガ禁ゼラレタガ此ノ勅令ハ「バウティスタ」及ビ其派ノモノニ無視サレタ。其レ故彼等ノ或者ハ捕ヘラレ或ヒハ監禁サレタ。併シ長崎ノ「ジエスウィツト」派ニ對シテハ何等ノ拘束モナサレナカツタ。

但シ「フランスカン」僧侶ハ「ポルトガル」船ニ乗セテ日本帝國以外ニ連レ去ラレル樣ニ命ゼラレタ。

一方「バウティスタ」ハ「マニラ」ニ歷航後再タビ宗教探檢隊ヲ組織シテ日本ニ來航シ「フランスカン」修道僧ノ一員ト云フ名デ太閤ニ面會ヲ求メタ。

秀吉ハ全ク勘忍袋ノ緒ヲ切リ、凡テノ「フラシスカン」僧侶及ビ之ヲ信ズル日本人ヲ捕ヘ其ノ中、二十六人ガ死刑ニ處セラレタ。彼等ハ耳ヤ鼻ヲ切ラレ胸ニ死刑宣告文ヲ下ゲラレテ馬ニ乘セラレ長崎マデ運バレ「ジエスウィツト」教會ノ前デ十字架上ニ殺サレタノデアル。

「スペイン」政府ハ之ヲ傳ヘ聞キ太閤ノ下ニ使節ヲ遣ハシ死體ヲ自由ニ引取ル事ヲ申出タ。秀吉ハ之ヲ大イニ歡迎シテ許可シ使節代表 Luis de Navarrete ハ長崎ニ急行シタガ病ノタメ長崎ニ倒レタ。

次イデ太閤ハ「マニラ」ノ比島總督ニ丁重ナル文書及ビ贈物ヲ送リモハヤ異他ノ宗教ガ日本ニ送ラルベキデナイト云フ條件ノ下ニ自由ニ貿易セント申出タ。當時太閤ハ「スペイン」及ビ「ポルトガル」ノ王領ヲ示ス地圖ヲ見テ如何ニシテ一人ノ人間ガカカル廣大ナル領土ヲ征服シタカヲ「ポルトガル」教父ニ尋ネタ。彼ハ宗教人ヲ送ツテ教義ヲ廣メ次デ充分ノ人ヲ送リ其ノ援助ノ下ニ兵ヲ送ル事ニヨルト答ヘタ。之ガ太閤ヲ非常ニ反省セシメタノデアル。

十七世紀ノ最初ノ二十年間僧侶ハ貿易ヲ裝ツテ日本ニ來航スル事ニ成功シタ。多クノ「キリスト」教化シタ日本人ガ既ニ「マニラ」ニ居ヲ有シ之ガ太閤ニ恐怖ヲ與ヘ以後彼ニ比島トノ交通ヲ却ケル事ニ注意ヲ拂フ樣ニナツタ。

一六二二年ニハ長崎デ多クノ「スペイン」使節及ビ「キリスト」教徒日本人ガ處刑サレタ。一六三三年ニ最後ノ「キリスト」教ノ掃除ガ行ハレタ。德川家康ハ一五〇人ノ癩病患者ヲ船ニ乘セ「マニラ」ニ送リ「キリスト」教僧ニ之等不幸ナル人々ノ世話ヲ依賴シタ。「スペイン」政府ハ彼等ヲ「デイラオ」ニ住居セシメタ。之ガ「セントラザルス」病院ノ起源デアル。此ノ病院ハ現存シテ居ル。「スペンメンイ」政府ノ終リマデ「フランシスカン」僧侶ガ世話ヲシテ居タ。

德川氏ハ彼ノ諸臣ニ「キリスト」教ヲ禁ジ以後「マカオ」トノ凡テノ貿易モ失ハレタ。比島ノ總督モ又宗教團體ノ會議ニ於テ日本ニ僧ヲ送ルコトヲ中止シ「カトリック」傳遣ヲ放棄スル事ヲ決シタ。

內密ノ布教及ビ其ノ處罰ハ一六四二年迄行ハレ、一八六二年「ピオ」九世ハ日本デ十七世紀殉教シタ六二〇人ノ使節ヲ「ローマ」ニ於テ聖徒トスル事ヲ宣言シタ。「ルソン」方面ニ日本船ガ渡航シタノハ記錄ニ現ハレル迄デハ一五六七年頃迄遡ル事ガ出來ル。一五六七年「レガスピ」ガ土人カラ聞イタトシテ「セブー」島カラ國王「フィリツプ」ニ世ニ呈シタ報告中ニ「ルソン」及ビ「ピンドロナル」島々ニ支那人及ビ日本人ガ年々交易ニ來テ生糸、羊毛、鐘、陶磁器、香料、錫、色木棉布及ビ他ノ小雜貨ヲ持來リ歸航ニハ金ト蠟ヲ搬出スル。「モロー」人ガ主ニ日支人ノモノヲ「ミンドロ」方面ニモ搬出スルト書イテ居ル。

一五七〇年「マルチンデゴイチ」Martin de Goiti ノ率ヒル「イスパニヤ」船隊ガ「ルソン」ニ到來シ、占領ヲ宣言シタガ日本人ガ當時二十名、支那人ガ四十名先住シテ居タト云フ。

一五七三年「ディエコデアルチエダ」(Diego de Artieda)ハ國王ヘノ報告中ニ「ルソン」ニ最モ近キ北方ニ「シボン」(日本)ナル國ガアツテ銀鑛ガアリ支那カラ生糸其他ノ必需品ヲ銀デ購入シ男女共相當ノ風俗デレケスト云フ

短劍ヲ製作スル。「ポルトガル」人ガ傳道シテ居ルガ婦人ハ淑德、夫ニ忠實デ男子ハ頭ヲ剃ルト書イテアル。

一五七五年頃ノ「フィリツプ」二世ニ宛テタ「マルドナード」maldonado ト云フ人ノ書ニモ日本船ガ毎年銀ヲ以テ「ルソン」島ノ金ト交易スル目的デ來航シタ事ヲ傳ヘテ居ル。主ニ「カガヤン」「パンガシナン」地方及ビ「マニラ」灣近クニ來リ「カガヤン」地方ヲ根城ニ侵寇シタト云フ。「スペイン」側トノ激戰モアツタト云フ。其他鹿皮ヲ貿易ノ主要目的物トシ「モルガ」ハ一五九八年日支商人ガ鹿皮ヲ盛ニ日本ニ輸出セル事ヲ禁止シタト云ハレル。

「カガヤン」河口ニハ日本船ガ早クカラ入船シ一時同地ニハ渡航セル日本人ガ移住シタ程デアツタ。原田喜右衞門ハ一五九〇年「マニラ」ニ來リ軍備・地勢ヲ探査シ翌年四月平戸カラ長崎ノ小船ニ日本人二十二人支那人八人ヲ乘組マセテ鮪、豚肉、麥粉、銅、木棉、刀等ヲ入港ト共ニ賣却シタト云フ。同年日本船ガ「イロコス」地方ニ侵寇シ三十人ハ土人ニ殺サレ捕虜ニナツタ日本人二十人ハ「マニラ」ニ送ラレ「ガレオン」船ニ驅逐サレタ。

一五九六年七月ニハ「マニラ」「メキシコ」ノ「イスパニヤ」船ガ難破シ浦戸ニ避難シタノデ秀吉ハ增田長盛ニ命ジ船荷船體ヲ沒收シタ。亦タ內外人「キリスト」敎父、信徒等二十六人ヲ長崎ニ於テ殺シタ。ソレ以來比島デモ日本人ヲ送還シタ、秀吉死後ニハ加藤清正ガ親書ヲ送リ御朱印船保護ニ彼此政府間ノ諒解ガ成立シタ。

比島ノ日本町ニ就テハ「アルヘンソーラ」Leonardo de Argensola ノ「モルツカ」遠征誌中ニ（十七世紀初メ）書イテ居ルガ、大體支那ノ「バリアン」（後述）ト同樣ニ日本人モ「ルソン」、「カビテ」等ノ市外一地ニ一部落ヲ作ツテ在住シタト思ハレル。デイラオニハ「フランシスコ」派敎會堂モ建立サレタ。十八世ニ至ツテハ「デイラオ」ト並ンデサン・ミゲルノ地ニハ日本人町ガ出來テ江戸時代ニハ既ニ一千名程移住シタガ幕府ノ「キリスト」敎彈壓後ハ八百名以下ニ減少シタト云ハレル。

二、支那トノ交涉

一五七一年「レガスピ」miguel lopez de Legazpi ガ「マニラ」ヲ築クズツト以前ニ支那人ハ比島ト貿易シテ居タト推定サレル。記錄ニ見エル處デハ九世紀頃既ニ交涉ガ行ハレテ居リ十二、三世紀頃趙如活及ビ汪大淵ガ比島ノ貿易及ビ土人ノ習俗等ニ關シテ記錄シテ居ル。(chu-fan-chih（諸蕃誌）ト云フ著書一二二五年出版）シカモ支那ノ影響ハ常ニ物質ノミデ之ニ「ヒンヅー」ノ思想宗敎等ノ輸入ト興味アル對照ヲナシテ居ル。支那ハ印度ヨリ遙カニ高キ文化ヲ有シ乍ラ而モ其ノ國民性ノ故ニ比島ニ對シテハ精神的ニ何等與フル處ガナカツタノデアル。支那人ハ其ノ順應性ト忍耐强サニヨツテ平和的ニ比島ヲ侵略シタ。併シ其ノ激シキ競爭ト拔目ナキ圖太サニヨツテ遂ニハ嫌ハレタノデアル。支那人ノ特色ハ彼等ガ政治ニ關係ナク商賣ニ勵ム事デ比島貿易ノ半分ハ彼等ニヨツテ制禦サレタノデアル。マタ支那人ハ日本移民ト異ナリ容易ニ比島ニ於テ混血シ落着ク處何處ニデモ足掛リヲ得ント望ミ或時ハ權力ヅクデモ之ヲ獲得シタノデアル。兎ニ角數百年ノ間陶器ヲ積ンダ船ガ支那カラ比島ヤ「ボルネオ」ニ向ツタ。今日ゴングト云フ比島土人ノ用ヰル主ナル樂器及ビ靑銅器ハ支那カラ傳ハツタモノト思ハレル。十五、六世紀時代ニ南支那特ニ福建地方カラ支那人ノ南洋進出ガ行ハレタ。特ニ「ポルトガル」人、「イスパニヤ」人等ノ東洋發展ガ試ミラレ「スペイン」人ガ比島ヲ根城ニ東洋方面ニ伸張セントシタノニツレテ其ノ殖民事業ニ示シタ支那人ノ役割ハ重大ナルモノガアツタ。「マルティン、デ、ゴイチノルソン」遠征隊ガ「マニラ」ニ到着セル時ニハ「マニラ」在住ノ支那人ハ四十名以上デアツタト云ハレルガ「スペイン」人ノ來航以來著ルシク繁榮シタト思ハレル。

彼等ノ商取引ハ常ニ危險デ半未開ノ比島人トノ取引ハ有ヤ無ヤニサレル事ガ多ク時々彼等ノ船舶ハ土人ニ奪取サレタ。併シ支那人ハ其ノ危險ヲ犯シテ續行シ廣東ヲ主港トシテ居タ。「レガスピ」ニナッテカラ支那トノ商取引ノ利ヲ考ヘ暴行者ヲ處罰シ貿易ヲ奬勵シタ。

一五八八年ニハ支那人ハ既ニ租借地ヲ得タ。時々彼等ハ佛像ヲ持參シタガ「スペイン」人ノ如ク土人ヲ改宗センストスル意圖ハナカッタ。彼等ハ其ノ產業及ビ商取引ニヨッテ新ラシイ殖民地ヲ大イニ繁榮セシメ、其ノ貿易者數モ夥シイ數ニ上ッタノデ其ノ生活樣式ヲ統制スル要ガ生ズルニ至ッタ。

先ヅ彼等ハ惡天候ノ時ニハジャンク船カラ出ラレナカッタノデ商賣上大キナ損失ガ生ジタノデ、彼等ハ「アルカイセリア」Alcayceria ト云フ大建物ヲ一五八〇年ニ彼等ニ供給シタ。此ノアルカイセリアハ建築費及ビ其ノ年々ノ維持費及ビ支那借家人カラノ家賃ハ政府及ビ建設請負人ニヨッテ分割サレル規定トナッタガ後ニハ四萬八千比ノ全額ヲ政府ガ支拂ヒ家賃及ビ維持費ノ分配ノミガ保持サレタ。

最初アルカイセリアハ只四ツノ建物カラ成リ各區ニ高低ノ店、住宅ガアリ全部デ五百軒ニ近クナッタ。此ノ中ニ醫師、藥劑師モアリ其他低廉デ器用ナル支那人ノ食堂モ出來テ居タ。

後ニアルカイセリアハ廢家トナリ一八五六年ニ至ッテ同一場處ニ政府ノ市場ガ立テラレタガ之モ一八六三年ノ地震テ破壞シタ。支那人ハ此ノアルカイセリアノ限界以上ニ增加シマニラ市內ニ他ノ支那人街モ設ケラレル有樣トナッタ。之ガ所謂「バリアン」Parian デアル、「バリアン」トハ「市場」ノメキレコ語ト云ハレルガ不明デアル。之モ一八六〇年政府ニヨッテ破壞サレタ。併シ現今向ホ「市場」ト云フノハ此ノ場合支那人ノ住宅兼店舖ヲ綜合シテ便宜上アルカイセリアト云ッタモノデ其ノ取引ノ中心ガ生命ダッタカラデアルトモ云ハレテ居ル。

「バリアン」ニモアル程度ノ自治制ガ行ハレテ居タ。其處ニハ彼等ノ互選ニヨル頭領（アルカイド）ガアッテ裁判權ヲ有シテ居タ。一五八二年ニハ之ハ創設サレタガ、ドミニコ派敎師ノ渡來以後（一五八七年）彼等ハマニラ貿易ニモ關係ヲ有スルニ至リ頭領ハキリスト敎徒タル事ニ定メラレタ。亦タ「バリアン」ノ區知事ナルモノガ設ケラレテ「バリアン」ヲ監督スル事トナッタ。

「バリアン」ハ後ニ比島ノ政廳ニ對スル財政上ノ資源トナリ「バリアン」地代及ビ營業稅モ徵收サレタ。一五九六年以後「バリアン」カラ年四千比ノ收益ヲ得ルニ至ッタ。一八六〇年八月三十日「バリアン」ハ破壞サレ四世紀ニワタリマニラ貿易ノ中心ダッタ「バリアン」ハ消滅シ現今ハ「ガブリエル」ノ地ニ城門ノミガ殘ッテ居ル。

「アントニオモルガ」氏ハ其ノ著比島ノ三四九頁ニ（十六世紀出版）支那人ナシニハマニラナシト書イテ居ル。一六三八年ニハ支那人ノ數ハ三萬三千人デアッテ土人ニトッテ支那人ハ最上ノ福利デアッタト云ハレル。其レ故一六八六年ニ支那人ヲ六千人ニ限ラントスル說ガ出タガ商業上ノ便利カラ容認サレナカッタ。

一七五五年ニハ非キリスト敎支那人ヲ追放スル事ニ決定サレタガ其ノ淸算ニ關シテハ一定ノ期間ガ許サレタ。

一七五五年六月三十日「マニラ」ヲ追放スル事ニ「スペイン」政府ハ決定シ、五百十五人ノ支那人ガ「キリスト」敎徒ニ改宗シタ。

其他千百八人ノ支那人ハ「キリスト」敎研究ノ故ニ許サレ、二千七十人ノミ追放サレタ。

後ノ「タガログ」反亂ノ一ツノ理由ハ支那人ヲ比島カラ除外セントスル事デアルト云フモ過言デハナイ。

カクテ居殘ッタ支那商人ハ土人ニトッテ決シテ競爭相手デハナカッタ。支那人ナシニハ物質モ勞働モ少ナク輸出入モ混亂シタタメデアル。

支那人ハ彼等ニ甘蔗カラ砂糖ヲ取ル事、及ビ精鍊鐵ノ工場ヲ作ル事ヲ敎ヘタ。ソレニモ係ハラズ最近百五十年間ノ歷史ハ支那人ガ常ニ「スペイン」ノ殖民ニトッテ不快ナル人種トシテ迎ヘラレタ事ヲ告ゲテ居ル。

一七四五—五〇「ホアン、アルチエデラ」Juan Arechedera ノ總督ノ時ニモ大僧正ハ支那人ヲ比島カラ追放スル命令ヲ受取ッタガ併シ公ケノ利益ヲ重ンズルノデ彼ハ單ニ此ノ條令ヲ記錄シタノミニ過ギナカッタ。

「スペイン」統治ノ終リマデ當事者及ビ貿易ハ最モ寬大ナ方法ヲ採ッタ。

支那人ハ官吏ノ意志ニ兎ニ角從ッタノデ一八四三年カラ支那商店ハ他ノ外人ト同シ言語デ市場ヲ問ク事ヲ許サレタ。

比島在住ノ支那、苦力ト土人トノ間ニハ競爭ニナラヌ程ノ差ガアッタ。土人ノ日傭ヒハ二、三日働イテ突然逃亡スルモノガ多カッタノニ反シ活動的ナ支那人ハ毎日仕事ヲ持チ土人ガ賃銀ノ前拂ナシニハ働カナイノニ反シ支那苦力ハ仕事ヲ全部ナシテカラ支拂ヲ要求スル有樣デ實際支那人ナシニハ不可能ノ仕事モアッタ。「モンゴリア」人種タル支那人ト比島マレイ人トノ間ニハ習慣思想目的上悉ク反撥スルモノガアッテ支那苦力ガ充分ノ保護ナシニ農作ニ從事シタタメニ屢〻暗殺ヤ喧嘩ヲ生ジタ。更ニ土人ノ栽培者ハ支那人ノ勞働ニ滿足シナカッタ者モアル。支那人ハ本質的ニハ商人向キデアッテ比島ニ於テハ少クトモ獨立ノ投機ノ冒險ヲ冒シテモ平和ナ固定收入ノ勞働ヨリモ儲ケル事ヲ喜ンダ。支那人ノ此ノ殖民地ニ來ルモノハ大抵資本ヲ有セズ、政府モ又亦彼等ニ所有地ノ割當テヲ與ヘズ土地ノ讓渡ニ關スル法律 Terrenos baldios 及ビ Cochinas agricolas ガ存シタガ多クノ混亂ヲ含ミ、東洋人モ歐人モ此ノ法規ニヨッテ保護サレル事ハ殆ンド出來ナカッタノデアル。

記錄ノ告ゲル處ニヨルト一六〇三年ニ二人ノ支那官吏ガ「マニラ」ニ使節トシテ來リ一人ノ支那人ガ支那帝王ニ「キャビテ」（機易山）ニ金山ノアル事ヲ告ゲタノデソレヲ見タイト申出タ。彼等ハ「マニラ」ニ於テ歡迎サレ此ノ報告ガ僞リデアル事ヲ告ゲラレタ。此ノ事ガアッテカラ支那人ノ襲擊ヲ假想シテ比島ノ土民ハ常ニ武器ヲ持チ戰ヒノ用意ヲナシタノデアル。「スペイン」人ガ絕滅ノ日ヲ定メタ等ト云フデマモ飛ンダ。在住支那人ハ土人カラ若シ戰爭ニナレバ皆殺シト云フ公言ヲ受ケテ侮辱サレ虐待サレル事ヲ命ジ絕望シテ自殺シタ支那人モ多數ニ上ッタ。

聖フランシスノ日ニ支那人ハ反亂シ百人ノ「スペイン」兵士及ビ土人ノ軍隊ガ出動シ二萬四千人ノ支那人ハ殺サレ或ヒハ捕ハレタ。カクテ殖民地ニハ慣レタ商人ガ居ナクナッタノデ「スペイン」人ハ支那カラ「マニラ」ニ於テ食料ヲ持來ラレナクナル事及ビ「メキシコ」ノ輸出品ノ製造ガ出來ナクナルノヲ恐レテ支那商人ヲ保護スル事ニ再タビ決シタ。

同樣ノ紛爭ガ三十六年後ニモ起ッタ。一六三九年ニハ官吏ノ强盜及ビ「ラグナ」洲ノ總督ノ壓迫ニ激昂シテ彼等ハ反抗シ「カラバム」ニ於テ官吏ヲ殺害シタ。一六六〇年ニモ同樣ノ暴動ガ起ッタ。

一八八六年ニハ「スペイン」殖民地及ビ「マニラ」土人ニ關シ支那人ニ關シ支那人ニ關スル諸革命ガ宣言サレタ。卽チソレハ前述ノ如ク支那人ガ他ノ凡テノ商人ト同時ニ彼等ノ貿易ヲ「スペイン」語デ書ク事デアッタ。此

ノ要求ハ實際ニハ尤モラシカツタガ實際ニハ支那人ノ困難ヲ增ス事ヲ目的トシタ惡意ノ激發ニ過ギナカツタノデアル。

英國商人及ビ銀行家ハ支那人ニ最モ信用ヲ與ヘタ。「スペイン」人及ビ土人ノ債權者ハ少ナカツタ。ソレデ惡意ヲ以ツテ新ラシイ困難ヲ支那人ニ課スル代リニ彼等ト危險ナ取引ニ入ル事ヲ抑止シ得タ。凡テノ商人ハ支那人ノ貿易組織ニ氣付キ何人モ彼等ト關ハル事ヲ敢テシナカツタ。外國商店ハ支那人ニ歐洲ノ製造工業品ヲ一定高與ヘ而モ經驗カラ全價ハ決シテ恢復サレナイ事ヲ知ツテ居タ。支那人ハ之等ノ商品ヲ小賣リニシテ小額ノ現金ヲ商店ニ持行キ他ノ商品ヲ受取リ何年モ斯クノ如ク續ケタ。一八八五年以來此ノ組織ハ用キラレナクナリ現金ニヨル取引ガ一般ニ行ハレル樣ニナツタ。支那人ハオ互ヒノ保護ニ祕密クラブヲ有シ彼等ハ「スペイン」ノ當局ニ高價ナ支拂ヲセネバナラナカツタ。政府ノ風向キノ惡イ時ニハ多額ノ「コムミツシヨン」ヲ用キタ。之等ノ金額ハ本支那人ノ屬スル「ギルド」ノ頭領ニヨツテ彼等ニ課セラレタ稅ヲ集メタモノデアル。一八八〇—八三頃ニハ總督及ビ他ノ高等役員ハ支那人ノ厚遇ヲ受ケル事ヲ常トシタ。

一八八七年十二月ニ市民證ガ支那人ニ與ラレ一方公共事業ニ對スル奉仕ニ關シテ支那人トノ間ニ數年ノ契約ガ出來タ。多クノ支那人ハ洗禮ヲ受ケ或ヒハ社會的立場ヲヨクスルタメニ又ハソレニヨツテ土人ト婚スル事ガ出來ル樣ニ「キリスト」敎化シタ。一八八六年ノ統計デハ六六七四〇人ノ支那人ガ居タト云ハレル。

「スペイン」時代ニ支那人ハ「マカオ」又ハ「サングレイ」ト云ハレタ。前者ハ南支カラ來ル者ヲ云ヒ(「カントン、マカオ、アモイ」等)料理人又ハ下男等ガ多カツタ。後者ハ北支カラ來タ商人デアツタ。「スラングレイ」ハアモイノ方言 Siang-Lai=Who, Cemes, ヨリ來タトスル說ガアルガ異說モアツテ不明デアル。支那人一般ノ通稱ハ Suya デアツタ。「マニラ」及ビ他地方デハ支那人間ニ地方法廷(Tribunas, Courts)ヲ有シタ。彼等自身ノ總督ガ居テ土人ト同ジ仕方デ年二回選バレ小事件ハ凡テ彼ニ處理サレタ。

一八八八年ニ支那人ノ比島ニ於ケル領事ヲ許スト云フ問題ガ公ケデ問題トナツタ。ソレハ政府ガ支那人問題ヲ「スペイン」又ハ土人ノ商人階級ト同一視點カヲ見ル事ノ不可能ナルヲ示スモノデアル。

比島側カラ支那ニ輸出サレタノハ仲介貿易ニヨル第三國ノ物資及ビ「メキシコ」カラ送ラレル銀及ビ島內ニ產出スル金等デアツタ。後ニハ殆ンド銀ノミトナリ「メキシコ」銀ガ多量ニ流入サレタ。例ヘバ一五八六年ニハ例年ノ三十萬比ヲ突破シテ五十萬比以上ニ達シタト云ハレル。

一五八一年カラ繫船稅ガ支那商船ニ賦課サレ其レ以外ニ百分ノ三稅ガ課セラレ財源補充ノ一端トサレソレニヨツテ支那貿易統制ニ一步踏ミ出サレタ。其レ以後支那商品ヲ不法ニ抑制シ廉價デ買入レ又ハ暴力ヲ用キテ支那商品ヲ獨占セントシタ。

一五八四年「メキシコ」支那ニ對スル輸出入稅ハ六千比ニ上リ軍費支拂ノ爲三%稅ガ商品ニ課セラレタ。比島統治ノ初期ニハ莫大ナ遠征費ノタメニ財政ガ窮乏シ而モ悉ク失政多ク「メキシコ」ニ依ツテモ不足シタノデ支那商人ニヨツテ財源ノ補助ヲナサントシタノデアル。其ノ結果彼等ノ間ハ不和トナリ、垣ヲ廻ラシタ住地ニ離レ住ム事ヲ命ゼラレ支那人ニ對シテ刑罰其他ノ不正ガ加ヘラレルニ至ツタワケデアル。

四、和蘭及ビ英國ノ襲來ト比島ノ國民主義ノ擡頭

周知ノ如ク一五八〇年「フィリップ」二世下ノ「スペイン」ハ隣國ノ「ポルトガル」ヲ併シテ之ヲ合併シ「スペイン」ハ歐洲及ビ南洋ニ於ケル「ポルトガル」ノ勢力ヲ驅逐シ從來「モルツカ」島ヲ中心ニ敵對シテ居タ兩國ノ利害ハ消失シタ。シカルニ同年北方「スペイン」領「ネーデルランド」ノ富强ナル七洲ハ「ユトレヒト」同盟ヲ結成シテ英國ノ後援ノ下ニ叛旗ヲ飜ヘシ遂ニ「スペイン」軍ヲ破ツテ獨立シ「オランダ」共和國ヲ創立シタ。

カクテ「スペイン」モ和蘭ノ活躍ニヨツテ大西洋歐洲近海ヲ制シテ居タ有名ナ所謂「スペイン」ノ誇リ無敵艦隊モ一五九八年英艦隊ニ擊滅サレ海國トシテノ「スペイン」ノ基礎ガ崩シ英國ガ之ニ代リ十七世紀以後從來世界ニ擴ガツテ居タ「スペイン」覇權ハ沒落ニ向フニ至ツタ。カクテ「オランダ」及ビ英國ノ南洋ニ於ケル活躍ガ始マツタノデアル。「フランダース」ノ戰ノ結果和蘭人ハ從來「ペンシルバニヤ」カラ供給サレテ居タ商品ヲ極東ニ於テ求メル事ヲ餘儀ナクサレタ。「スペイン」ガ和蘭ニ對シテ「ポルトガル」ノ市場ヲ閉シタト云フ近視政策ハ「スペイン・ポルトガル」ノ同盟ニヨツテ得タ極東貿易ノ獨占ヲ破壞スルニ至ツタ。卽チ和蘭ハ「モルツカ」群島ニ於テ自己ノ取引ヲ建設シ母港ニ於テ禁ゼラレタ商品ヲ此處ニ於テ直接ニ得ル事ガ出來タ。ソシテソレ以後之等群島カラ「スペイン」ノ「ガレオン」船ニ會フ目的デ（此ノ船ハ「メキシコ」カラ銀及ビ製造品ヲ積ンデ來ル）時々、有力ナ和蘭ノ貿易會社ノ船ガ出帆シタ。

「フランダース」ノ戰ノ間ニ「オランダ」ノ海賊 Corsairs ガ「モルツカ」ノ近海ヲ彷徨シ屢々「スペイン」カラ報復サレタ。主ニ「サン・ベルナデイオ」岬ニ於テ衝突ガ起リ和蘭船ハ海賊ノ船ヲ停船セシメル事ヲ常トシテ懷ヲ肥シテ居タ。其ノ結果「メキシコ」貿易ノ「ガレオン」船ニ依存シテ居タ多クノ歐洲製造品ハ巨大ナル損失ヲ經驗シタ。和蘭船ハ「ガレオン」船ニ會ハヌ時ニハ改築中ノ港ヲ砲擊シタ。

「ダスマリニヤ」總督ノ時（一五九〇―九三）ニハ「シアオ Siao 島ノ土人ノ王ガ「マニラ」ニ來テ「スペイン」及ビ「ポルトガル」王ノ救ヲ乞ヒ和蘭人ノ侵入ニ保護ヲ得タ。總督ハ「モルツカ」ニ一大船・六「ガレオン」船・百小船ト兵士百人（「スペイン」）四百人ノ「バシバンガ」人及ビ「タガログ」ノ火繩銃者、千人ノ「ヴィサヤン」土人槍手、百人ノ支那人（「ガレオン」漕手）ヲ組織シテ事態探檢ノタメ出帆セシメタガ支那人漕手ハ途中反亂ヲ起シ兵士十八人及ビ千人ノ奴隷ハ海ニ入ツテ逃亡シ總督ハ支那人ニ殺サレタ。之ニヨツテモ「スペイン」當局ノ支那人ニ對スル壓制ガ知ラレル。

最モ有名ナル「スペイン」ノ探檢ハ十七世紀始メノモノデ十九人ノ兵士九隻ノ「ガレオン」船八隻ノ小船（全部デ乘組員二千人）ヨリ成レルモノデ之ニヨツテ和蘭ニ友好的ダツタ「サルタン」ヲ從ヘ要塞ヲ築イタ。一六〇七年頃ニハ和蘭船ガ「テルナート」Ternate ノ要塞デ捕ヘラレ五萬比ノ辨償ヲ餘儀ナクセシメラレタ。

ソレヨリ數年後（一六一〇年頃）和蘭艦隊ハ「マニラ」灣ノ入口ニアル「バターン」洲ノ南ニ投錨シ總督「シルバ」Juan de Silva ヲ驚カシタ。其處デ數ケ月間支那人及ビ日本人貿易者ノ商品ヲ「マニラ」市場ヘノ途上奪ハントシテ滯留シテ居タノデ「シルバ」ハ其間船ヲ用意シテ聖マルクノ日ニ宣戰シ和蘭ハ其ノ結果敗亡シテ三十萬比ノ商品ヲ取ラレタ。更ニ一六一一年ニハ總督ノ持揮ノ下ニ再タビ「モルツカス」ニ於テ和蘭船ヲ破ツタ。

之以後一六二六年迄數回ニワタッテ同樣ナル襲撃ガ行ハレ一六二六年ニハシルバ總督ノ紿リ「スペイン」ノ殖民地ハ臺灣ニモ築カレタガ一六四二年和蘭人ニ明渡サレ二十年後支那人鄭成功ニヨッテ追放サレル迄支持サレタ。

卽チ十七世紀ノ中頃ニ韃靼人ガ支那ニ侵入シテ明朝ヲ破ッタ史實ガアルガ其ノ當時支那ノ帝王永明王 Yunglic ハ韃靼ノ帝王康熙 Kungchi ニ後繼セラレ其ノ勢ニ殆ンド支那全體ガ服從シタ。其ノ當時淸朝ニ反感ヲ有セル「モンゴル」ノ首領ノ間ニ鄭成功ト云フ明朝官吏ガアッタガ彼ハ金門島ニ支那人ヲ招キ韃靼人ノ支那支配ニ反對シタ。之ニ對シ淸朝帝王ハ支那ノ沿岸四哩以內ニ何人モ住ム事ヲ禁ジ其ノタメ鄭成功ハ止ムヲ得ズ彼ノ注意ヲ臺灣ノ征服ニ向ケタ。

當時臺灣ハ和蘭ガ所有シ歐人ノ殖民者ハ六百人ヲ數ヘテ居タ。駐屯兵ハ二千二百人、和蘭商品ハ八百萬比ヲ數ヘタ。鄭成功ハ十萬ノ支那兵ヲ以テ島ヲ占領シ王トナッテ偶〻知遇ッタ Vittorio Riccio ト云フ伊太利ノ「ドミニカン」宣敎師ヲ支那官吏トシテ比島政府ニ送ッタ。

彼ハ一六六二年「マニラ」ニ着キ鄭成功ノ命令デ政府ニ貢物ヲ威嚇的ニ要求シタ。一方「マニラ」在住ノ支那人ニ激勵文ヲ發シタノデ比島政府ハ之等支那人ヲ反亂共謀者トシテ捕ヘタ。鄭成功ハ對比戰略ヲ練ッテ居ル中ニ病デ倒レ Riccio ハ「マニラ」ニ使節ヲ派シ支那トノ貿易ガ再タビ恢復シタ。鄭成功ノ死後ハ臺灣ニ反亂ガ起リ韃靼人ノ下ニ占領サレ淸朝ノ居國トナッタノデアル。

兎ニ角以上ノ如クニシテ一世紀半以上モ和蘭「スペイン」間ノ鬪爭ガ續キ和蘭ハ東方殖民地ノ開拓ニ注目シタガ「スペイン」ノ强大ニヨッテ侵入シ得ズニ居タ。一六六二年五月ニハ「ミンダナオ」ノ島ノ「ザンボアン」ガ要塞ハ和

蘭人ニヨッテ破壞サレ只、回敎徒族ノ住ム「スリガオ」ノ要塞ノミガ殘存シ「モルツカ」島ハ和蘭人ノ永久占領トナッタノデアル。

英國ニ於テハ一七六一年「ジョーヂ」三世ノ就位後間モナク大英帝國ノ勢力ガ消去シテ「フランス」ト「スペイン」トノ間ニ "Family Compact" ト云フモノガ結バレタガ一七六二年遂ニ歐洲ニ於ケル英國ト「スペイン」兩國トノ確執ハ比島ニ迄延長サレ此ノ年十月「マニラ」ハ「ドラペル」提督ノ持揮ニヨル一英艦ニ襲撃サレテ完全ニ英ノ手ニ落チタ。卽チ九月二十三日「ニマニラ」占據ノ目的デ千五百人ノ陸軍兵、三千人ノ水兵、八百人ノ歐式印度兵四人等全部デ六千八百二十人ヨリ成ル軍隊ガ組織サレ砲撃ガ開始サレタ。

當時比島ニハ總督ガ缺ケ大僧正「マヌエルアントニオ・ロジョー」ガ英側ノ指揮者ト會見シテ降伏ノ意ヲ示シタガ上院判事「サラザール」ノ主戰派ニ反對サレ、對英開戰ガナサレタガ效果ハ少ナカッタ。當時英船ハ「ガレオン」船「フイリッピノ」ガ「メキシコ」カラ「マニラ」ニ商品ヲ積ンデ歸船スル事ヲ知リ之ヲ捕ヘニ向フ途中更ニ他ノ「ガレオン」船「トリニダッド」號ヲ捕ヘ積荷約二百五十萬比ヲ「マニラ」ニ持歸ッタ。

此ノ戰爭ノ結果「スペイン」側カラ會議ガ要求サレ提督「ドラッペル」ハ大僧正ノ權威ヲ支持シタガ無條件降伏ヲ强ヒタノデ大僧正ハ宗敎ノ自由、私有財產ノ安全、自由貿易等ノ條件書ヲ提督ニ出シタ。提督ハ之等ノ條件ヲ容認シタガ四百萬比ノ償金ヲ要求シ此ノ半分ヲ現金及ビ貴重品デ他ノ半分ヲ國庫償券デ支拂フ事ヲ許シタ。提督ハ亦タ「キヤビテ」降伏ヲ要求シ大僧正ハ之ヲ承認シタ。英國側ハ次イデ百萬比ノ卽時支拂ヲ要求シ殘餘ハ「ガレオン」船「フイリッピ」ノ船荷カラ得ントシタガ既ニ船荷ハ「ラグナ」灣ノ一地方ニ隱サレ更ニ大僧正ノ命デ北「バンバ

ンガ」地方ニ送ラレタ。之ニヨリテ英艦ハ再タビ之ニ對抗シテ遂ニ島全體ガ英國ニ下ツタノデアル。カクテ一七六二―三年ノ間ハ英國ガ完全ニ比島ヲ占領シ後七年戰爭ノ終結條約デ再タビ「スペイン」ニ歸スル迄此ノ支配ハ續イタノデアル。

以上ノ如クシテ比島ハ「スペイン」統治下ニ於テ葡、蘭、英等ノ競爭國ヤ對岸支那ノ襲撃ヲ蒙ツタガ其他ハ兎モ角一八九八年迄ノ約三世紀餘ハ概ネ「スペイン」ニ隷屬シテ其ノ影響ガ現在ニ於テモ多分ニ見ラレルノデアル。併シ「スペイン」ノ殖民政策ハ前ニモ觸レタ如ク全ク本國本位ノ苛斂誅求ト「キリスト」教團僧侶ノ專横トデ知ラレ土民ハ長イ間物心兩方面ノ桎梏ヲ經驗シタノデアルガ其レガ一八六九年「スエズ」運河開通シ西歐トノ交通ガ著ルシクナリ其ノ自由思想ニ刺戟サレテ民族的自覺ガ擡頭シ反抗運動ガ暴動トナツテ現ハレテ來タノデアル。

一八六九年兼ネテ野心ヲ抱ク「フイリツピン」ノ青年等ハ「スペイン」其他ニ行キテ思想研究ヲ始メタ。最初ノ日刊新聞 "La Esperanza" モ發刊サレ其レニ次イデ "La Solidaridad" モ出來テ、「フイリツピン」人ノ「プロパガンダ」ニ用キラレタ、愛國ノ志士「ホセ・リザール」ハ最モ此ノ紙上ニ寄與シタノデアル。

一八七二年ニ「キヤビテ」ニ謀反ヲ旨トシタ騷動ガ起ツタノデ土人僧侶中ノ主領ト目サレタ「ブルゴス」・「サモラ」、「ゴメス」ノ三僧侶ガ「キヤビテ」暴動ノ張本人トシテ逮捕サレ死刑ノ宣告ヲ受ケテ法衣ノ儘銃殺サレタ。此ノ暴戻ナル事件ハ一般比島土人ヲ憤激セシメ過去三百餘年ノ比島人ノ眠ヲ目覺マスノニ充分デアツタ。

カクテ國民主義ノ徐々タル覺醒ガ青年「フイリツピノ」黨ノ指導者等ヲ起タセ殊ニ「ホセ・リサール」ハ一方僧侶ノ支配及ビ他方經濟的及ビ行政的大地主制ニ反對シ文書ニヨツテ比島人ニ訴ヘタガ修道僧ノ反對ニ會ツタ。

一八九一年彼ハ香港ニ "Liga Filipina" ト云フ組織ヲ作リ一八九二年ニ「マニラ」ニ其ノ支部ヲ置イタ。併シ彼ハ一八九六年「バルセロナ」デ捉ヘラレテ比島ニ歸リ一八九六年十一月三十日ニ處刑サレタ。

「リサール」ハ實際運動ヲ以テ革命ヲ誘發シタ「ボニファツレヨ」ヤ「アモナルド」將軍トハ其ノ使命ヲ異ニシタ消極的存在ダツタガ其ノ著「ノリ・メ・タンヘレ」ト「エル・フィリバステリスモ」等ヲ通シテ比島民族ニ呼ビカケタ其ノ偉業ニハ實際運動家ヲ遙カニ凌グモノガアル。

「リサール」ガ、「リガフイリツピナ」ト云フ黨ヲ作ツタ頃「カティブナン "Katipnan" ト呼バレル實際運動ノ團體ガ組織サレタ。「タガログ」人ガ主トナリ十萬乃至四十萬ノ成員ヲ數ヘタ。此ノ團體ガ一八九六年八月二十六日ニ反亂ヲ起シタノデアル。反亂ノ中心ハ「キヤビテ」デアリ有名ナル「アギナルド」將軍ガ加ハツタ。

「スペイン」ハ增兵ヲ送リ土民兵以外ニ二萬八千人カラ成ル軍隊ヲ組織シテ對抗シタ。五十二日ノ戰亂ノ後比島側ハ再タビ破レタガ反亂ハ「バンガシナン」地方及ビ「ザムバレス」及ビ「イロコス」地方ニモ及ビ「アキナルド」ハ香港ニ亡命シタ。

一八九八年ニ至リ「スペイン」ノ殖民地デアツタ西印度諸島ノ「キユーバ」ニ米國ノ使嗾ニヨル革命ガ勃發シ更ニ「ハバナ」停泊中ノ米艦「メーン」號ノ自然爆發事件ヲ契機トシテ米西戰爭ガ起ツタ。ソレデ比島ニモ米艦ガ派遣サレ「アキナルド」ハ米國ノ支援ニヨツテ再ビ比島革命軍ノ盟主トナツテ出馬シ米軍ノ「マニラ」占領ヲ大イニ助力シ更ニ全群島ヲ席卷シテ「スペイン」ノ勢力ヲ打破シ共和國宣言ヲ發シ「アキナルド」ヲ初代統領ニ選ビ革命內閣モ樹立サレタ。一八九八年九月九日ニハ「マロロス」ニ首府ヲ定メタ。

「ビサヤス」ニハ革命裁判所モ組織サレタガ同年十二月ノ巴里條約ノ結果米國ハ革命軍ノ武裝解除ト完全ナ服屬ヲ要求シタ。其ノ結果革命軍ハ「アギナルド」ノ指導ノ下ニ今度ハ米國ニ反旗ヲ飜シ爾後三ケ年間激烈ナル戰鬪ガ續ケラレタガ結局「アギナルド」ノ逮捕ニヨッテ革命軍ハ破滅鎭壓ヲ餘儀ナクサレ一九〇一年ニ至ッテ始メテ民政ガ布カレ總督ガ任命サレタノデアル。

以上ニ於テ「アメリカ」統治ニ至ルマデノ比島及ビ比島民族ノ過去ノ狀況ニツイテ概觀シ得タト思フ。現在ノ「アメリカ」統治及ビ比島獨立ニ關スル將來ニツイテノ諸問題ハ別ニ稿ヲ新タニシテ考ヘタイト思フ。以上

「附」比島民族ニ關スル主タル參考書名

(一) 邦　書（月刊諸雜誌中諸論文ハ除ク）

東亞經濟調査局　最近ノ比律賓

同　南洋叢書中ノ比律賓

河出書房　世界地理叢書中外南洋

外務省「アメリカ」局第一課　比島經濟事情

比島協會　比島情報

渡邊董　比島在留邦人商業發達史

大谷純一　比律賓年鑑

箭內健次　「マニラ」ノ所謂「バリヤン」ニ就テ

外務省歐亞局第三課　南洋史大系

岩生成一　南洋日本町ノ研究

(二) 洋　書

Bernard H. S. J.; Les Iles Philippines.

Keesing, F. M.: The Philippines.

Craig, A. Benitez: Philippine Progress prior to 1898.

Zoilo M. Galang: Encyclopedia of the Philippines.

Malcolm, Y. A.; The commonwealth of the Philippines.

Foreman J.; Philippine-Iselands.

Pio Duan: Philippine Independence and The far eastern Question.

B. Laufer: Relations of Chinese to the Philippines.

W. Roscher: The Spanish Colonial Policy.

Beyer: Census of the Philippine Iselands.

A. D. Morga: Sucesos de las Islas Philippinas.

D. Robertson: Philippine Islands.